

牧野八郎左衛門古文書

小諸藩家臣 牧野八郎左衛門に関する史料で、近世中後期から明治期にかけての家単位の武家文書、和深井家に伝来した史料群。小諸藩および同藩主家や藩士たち、小諸銀行の動向などの史料です。 また、G類は、主に、世中後期の日記です。

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1	1	明治15年	1882	7	24	豎半半 (折)	1	第七號 共励社積 金通帳 社員 中 山利三郎	年號月日 預り金高 主務者姓名	共励社積金通帳 自明治15 年7月24日 迄明治16年12 月25日	社員 中山利 三郎	-	要検討
牧野 八郎左衛門	2	1	明治4年	1874	3	吉	横長半半 (折目下)	1	頼金記	南	頼金記	牧野	-	要検討
牧野 八郎左衛門	3	1	不詳				包紙 状	1	包紙表書) 水戸前 中納言様賜 小田 先生 色紙 御詠 真筆之写		水戸前中納言より賜う(徳川 斉昭)色紙御詠真筆之写	小田先生	-	
牧野 八郎左衛門	4	1	明治3年	1873	3	14	豎半半 (折)	1	介錯切腹之心得	切腹人俟使之次第	介錯切腹之心得 本書牧野成 聖所有	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	5	1	不詳				豎半半 (折)	1	殿中年月行事故實 式法	一殿中年中行事御故 実式法	殿中年月行事古実式法(正月 元日より同晦日迄)	-	-	
牧野 八郎左衛門	6	1	不詳				豎半(折)	1		上藩執事書	上藩執事書(加藤三左衛門成 昭のこと)	-	-	
牧野 八郎左衛門	7	1	不詳				豎半(折)	1			幕末天下国下論下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	8	1	明治18年	1885	10	16	豎半(折)	1	布施銀行財産取調 物品目録	十月十六日午前十時 十五分	布施銀行財産取調物品目録	-	-	
牧野 八郎左衛門	9	1	明治13年	1880	12		豎半(折)	1	地価金高百圓以上 取調簿 旧貴屬地		旧貴屬地 地価金高百圓以上 取調簿	-	-	
牧野 八郎左衛門	10	1	明治13年	1880	12		豎半(折)	1	地価金高百圓以上 取調簿 旧市町		旧市町 地価金高百圓以上取 調簿	-	-	
牧野 八郎左衛門	11	1	明治13年	1880	12		豎半(折)	1	地価金高百圓以上 取調簿 旧本町		旧平町 地価金高百圓以上取 調簿	-	-	
牧野 八郎左衛門	12	1	明治13年	1880	12		豎半(折)	1	地価金高百圓以上 取調簿 旧與良町		旧与良町 地価金高百圓以上 取調簿	-	-	
牧野 八郎左衛門	13	1	明治13年	1880	12		豎半(折)	1	地価金高百圓以上 取調簿 旧荒町		旧荒町 地価金高百圓以上取 調簿	-	-	
牧野 八郎左衛門	14	1	不詳				豎半(折)	1	御人数割書拔	御製度	御人数割書拔	-	-	
牧野 八郎左衛門	15	1	享和3年	1803	7		豎半(折)	1	信濃國郡村仮名帳 牧野虎之丞家来 笠間兵之助	牧野虎之丞領分	信濃国郡村仮名付帳 牧野成 寿写	笠間兵之助	勘定所	
牧野 八郎左衛門	16	1	天明6年	1786	6		豎半(折)	1	平岡彦兵衛様御代 官所信州佐久郡 村々	平岡彦兵衛様御代官 所信州佐久郡村々	平岡彦兵衛様御代官所信州佐 久郡村々	牧野八郎左衛 門写	-	
牧野 八郎左衛門	17	1	不詳				豎半(折)	1	御具足着初の式法	御具足の餅かざる其 様之事	御具足着初之式法	-	-	
牧野 八郎左衛門	18	1	不詳				豎半(折)	1	御人数割	一番手御右備	御人数割	-	-	
牧野 八郎左衛門	19	1	宝暦9年	1759			横半半 (折目下)	1	諸覚	目録	諸覚	百茎	-	
牧野 八郎左衛門	20	1	享和2年	1802	3	3	横半半 (折目下)	1	在府中日暦		在府中暦鈔	稲垣正良	-	
牧野 八郎左衛門	21	1	不詳				横半半 (折目下)	1	見聞雜記	平日心得之事	見聞雜記(諸心得の事)	-	-	
牧野 八郎左衛門	22	1	元治元年	1864	11	1	横半半 (折目下)	1	総士高四ツ物也以 出拂二被成下候 被仰出御書取諸帳 面写		総士高四ツ物成以高出払に被 成下候 被仰出御書取諸帳面 写	-	-	
牧野 八郎左衛門	23	1	嘉永7年	1854			横半半半 (折目下)	1	東西村々 困穀取調 帳	河東組 町村困穀寛 市町	東西村々困穀取調帳	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	24	1	天保6年	1835	12		横半半 (折目下)	1	寛政度御書付写	天保四五月五日御取 締被仰出候二付総士 取外寛政度 量寿院 様被仰渡候御書付写 を以被仰渡候御書付 写	寛政度御書付写	牧野成澄写	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	25	1	不詳				横半半半 (折目下)	1	鳴物殺生停止触御 規定	鳴物殺生停止触御規 定 外	鳴物殺生停止触御規定外	-	-	
牧野 八郎左衛門	26	1	嘉永5年	1852	6		横半半半 (折目下)	1	両表部屋住御渡高	小諸部屋住	両表部屋住御渡高	-	-	
牧野 八郎左衛門	27	1	不詳				横半半半 (折目下)	1	御側ツキ用人扣白 抜（寿抜か）	御家老病氣御尋之事	側用人控自拔（寿抜か） 自 宝永5年9月2日 迄安政6年 11月10日	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	28	1	安政6年	1859	6		横半半半 (折目下)	1	碁不巳門より問合 二付答 附致候扣	御家老同士	碁不巳門殿より問合せに付答 附札致候控	-	-	
牧野 八郎左衛門	29	1	元治元年	1864	8	9	横半半半 (折目下)	1	要用備忘録	八月九日用	要用備忘録	-	-	
牧野 八郎左衛門	30	1	不詳				横半半半 (折目下)	1	奥方様（康済公室 お桶方）様御続書 写	□桶様御続	奥方様御続書写（康済公室お 桶方）	-	-	
牧野 八郎左衛門	31	1	安政元年	1854			横半半半 (折目下)	1	東西囲碁積立て高 并奇特者出殺高取 調帳写	安政元申寅年村ゝ囲 碁積立之覚	東西囲碁積立高並奇特社出殺 高取調帳写	-	-	
牧野 八郎左衛門	32	1	寛政13年	1801			横半半 (折目下)	1	文化之度正隅之次 第成寿様御書抜文 政十年の自分心覚 中御褒美被下者殊 二寄間違も可有之 成後年見均之為二 荒増記	寛政十三年	寛政13年より文化の度正隅 の次第成寿様控書抜文政10 年より自分心覚中褒美下さる は殊に寄り間違もこれうるべ き哉 後年見均の為に荒増記	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	33	1	安政4年	1857	6		横半半半 (折目下)	1	諸向御渡切取調帳	御取締取調覚	諸向御渡切取調帳	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	34	1	不詳				横半半 (折目下)	1		見出目録	故実式法諸願等雛形	-	-	
牧野 八郎左衛門	35	1	寛政元年	1789	8	22	横半半 (折目下)	1	寛政年中の御叱一 条	寛政元年の以来御叱 之事	寛政年中より御叱一条 自寛 政元年4月10日 迄安政6年8 月22日	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	36	1	享保4年	1719	9	12	横半半 (折目下)	1	公儀御三家御三郷 度家老中御家之部 御親類様之部御家 老の部 日記見出	公儀向 御三家 御 三郷 御逝去之部	公儀御三家御三郷御老中御家 之部御親類様之部御家老之部 日記見出 自享保4年9月12 日 迄万延元年8月26日	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	37	1	不詳				横半半 (折目下)	1	幡随院御法事心得	幡随院御法事心得	幡随院御法事心得	-	-	
牧野 八郎左衛門	38	1	嘉永7年	1854	9	20	横半半 (折目下)	1	御渡切年延被仰出 候節弘化二巳年供 連減被仰出候返文 被仰出候扣	御家老共連	御渡切年延被仰出候節弘化2 巳年供連減被仰出候返文被仰 出候控	-	-	
牧野 八郎左衛門	39	1	文久2年	1862	11	23	横半半 (折目下)	1	年中御規式御省略 之儀御側用人同士 之文通写	覚	年中御規式御省略之儀御側用 人同士之文通写	-	-	
牧野 八郎左衛門	40	1	安政6年	1859	8		横半半 (折目下)	1	太田道與子加藤成 徳子問答 予へも 問答有之写		太田道與子加藤成徳子へ問答 予へも問合有之写	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	41	1	慶應4年	1868	3		横半半 (折目下)	1	御状況手扣	出荷之覚	御上京手控	-	-	
牧野 八郎左衛門	42	1	弘化4年	1847			横半半 (切)	1	御刻増し被仰出候 一件帳		御割増被仰出候一件帳	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	43	1	不詳				横半半 (切)	1	御番頭席古法并御 徒頭勤法	御番頭席古法掟	御番頭席古法並御徒頭勤法	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	44	1	嘉永11年	1857	5	21	横半半 (切)	1	御用録書抜	寛永十一甲戌年五月 廿七日牧野諸河守忠 成公ヨリ古内膳康公 江	御用録書抜 自寛永11年5月 21日 迄寛政3年6月11日	-	-	
牧野 八郎左衛門	45	1	嘉永6年	1853	9	9	横半半 (切)	1	御取締筋被仰出留 目付江被成御渡候御 書付	嘉永六丑歳九月九日 御城於御用部屋三御 目付江被成御渡候御 書付	御家中古分限帳 写（一）	-	-	
牧野 八郎左衛門	46	1	不詳				横半半 (切)	1	年中衣服供連牧野 成政扣写 往古の 御家老名前写	年中衣服供連覚	年中衣服供連牧野成政控写 往古より御家老名前高 自寛 永頃 迄万延元年	牧野成澄	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	47	1	嘉永6年	1853	9	9	横半半 (切)	1	御取締筋被仰出留	嘉永六丑歳九月九日 御城於側用部屋	御取締筋被仰出留	牧野成道	-	
牧野 八郎左衛門	48	1	元治元年	1864	5		横半半 (切)	1	水戸様浪人留町迄 之先触差出候二付 御取扱一件扣		水戸様浪人当町迄之先触 差 遣候に付御取扱一件控	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	49	1	文化2年	1805	4		横半半 (切)	1	越後新潟の水戸浪 人囚人御差出二付 警護出張一件		越後新潟より水戸浪人囚人御 差出に付警固出張一件写	牧野十郎兵衛	-	
牧野 八郎左衛門	50	1	不詳				状 封筒	1	封筒表書) 職次略 禁売買		職次略(布衣以上、御目見以 下 宛行明細)	-	-	
牧野 八郎左衛門	51	1	宝暦12年	1762			状 封筒	1	封筒表書) 新撰 萬代寶鑑 両面 新撰 萬代寶鑑 両面	萬代寶鑑	新板増補 萬代宝鑑	日本橋着物町 松谷勝吉開板	-	
牧野 八郎左衛門	52	1	不詳				状 封筒	1	封筒表書) 三百部 限 懷中朱黄礎 全 禁売買		懷中朱基礎(江戸城周辺絵 図) 300部限	-	-	
牧野 八郎左衛門	53	1	不詳				状 封筒	1	封筒表書) 三百部 限 公侯便 完 禁売買		公侯便(完) 300部限	-	-	
牧野 八郎左衛門	54	1	安政3年				折本3 状1 封筒1	4	封筒表書) 三山絵 図面 牧野成道	上野絵図面 芝絵図 面 紅葉山絵図面	紅葉山、上野、芝 絵図面 原差貫木則道所蔵	牧野成道	-	
牧野 八郎左衛門	55	1	文久元年	1861	9	19	横長半 (折目下)	1		和田宿調写	和田宿調写(和宮通輿をひか えて写す)	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	56	1	宝永3年	1753			横長半 (折目下)	1	御暇御拝領二付間 合之扣	寛	御暇御拝領に付間合之控	牧野八郎左衛 門	-	
牧野 八郎左衛門	57	1	嘉永元年	1848	4	14	横長半 (折目下)	1	嘉永元年申御繰練 一軒帳	嘉永元年戌申歳夏四 月十四日於天地原御 繰練一件帳	嘉永元年申御繰練一件帳(於 天池原)	-	-	
牧野 八郎左衛門	58	1	天保10年	1839	2	21	横長半 (折目下)	1	御繰練附録	附録	御繰練附録	-	-	
牧野 八郎左衛門	59	1	不詳				横長半 (折目下)	1		御軍法帳	御軍法帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	60	1	不詳				横長半 (折目下)	1		御趣意書	御趣意書	御用部屋	-	
牧野 八郎左衛門	61	1	天保4年	1833			横長半 (折目下)	1		寅十月6卯九月上御 初積	一、寅十月より卯九月迄御初 積 一、天保4年余計米	-	-	
牧野 八郎左衛門	62	1	不詳				横長半 (折目下)	1		牧野置成軒殿 他	家老家命日控帳 自宝永4年 4月2日 迄文政13年6月21 日	-	-	
牧野 八郎左衛門	63	1	元治元年	1864	10		横長半 (折目下)	1	高役勤之定書	高役勤之定	高役勤之定帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	64	1	寛文12年	1672			横長半 (折目下)	1	從越後長岡同國与 板江御引越成 分 限帳		分限帳(從越後長岡同国与板 へ御引越也) 慶応元年乙丑年 9月東都宇田川町於陣屋西島 氏より借得て写之	脩敬堂	-	
牧野 八郎左衛門	65	1	不詳				横長半 (折目下)	1	越後三根山御封内 村名並御家士分限 帳		越後三根山御封内村名並御家 士分限帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	66	1	元治元年	1864	4		横長半 (折目下)	1	長岡 諸士分限帳	元治元子年四月(牧 野) 成道悠久山拝礼 親類対面相願罷越候 節候節新井氏二而認 眞持参	長岡諸士分限帳 元治元年4 月牧野成道悠久山拝礼親類対 面相願罷越候節新井氏にて認 眞い持参	-	-	
牧野 八郎左衛門	67	1	寛保3年	1743			状(巻)	1		寛保3年迄の分限帳	寛保3年迄 古分限帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	68	1	不詳				横長半 (折目下)	1	御人数割		御人数割	-	-	
牧野 八郎左衛門	69	1	元禄15年	1702			横長半 (折目下)	1	信州小諸 御城地 御加増御拝領之節 献上物 御目録御 着物寛帳	御城地御加増御拝領 之御禮被 仰上候節 御献上物	信州小諸 御城地御加増御拝 領之節献上物御目録御着物寛 帳	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	70	2	安政2年	1855			状	1		安政2卯年御収納 三万四百貳拾俵貳斗 六升四合	安政2年月別収納受払明細 書	-	-	
牧野 八郎左衛門	71	2	安政3年	1856			状	1		安政三辰年御収納 三万四拾七俵壹斗八 升貳合	安政3年収納受払明細	-	-	
牧野 八郎左衛門	72	2	元治元年	1864			状	1		元 弍万九千八拾 壹俵六斗 拂 弍万 八千七百七拾三俵六 斗弍升 残 弍万 八千八百八俵代金八千 七百九拾両	万延元年収納受払明細	-	-	
牧野 八郎左衛門	73	2	不詳				状	1		口上書取	口上書取 是迄度々取締者略 筋仰付けられたがまだ年に4 両不足故江戸表450両此の表 550両減じた故の申達し。下 書	-	-	
牧野 八郎左衛門	74	2	不詳				状	1		御勘定奉行 元ノ	此の度取締りのため五百五十 両減じ方の心得達し書 下書	-	勘定奉行、 元ノ	
牧野 八郎左衛門	75	2	不詳				状	1		御奉行 御代官 江	厳しき諸向取締り取計いの沙 汰ではあるが各役筋は収納を 始め領民撫育救助等等閑に毛 頭出来ず諸事入念詮議すべき 達し書下書。特に①子育て②改 心者③会所出頭遅参なきこと	-	奉行、代官	
牧野 八郎左衛門	76	2	不詳				1	1			城中渡切費用減じ方目論見下 書	-	-	
牧野 八郎左衛門	77	2	享保3年	1718	3		横長半半 (折目下)	1	御拝借金之内町助 郷江五ヶ年賦御貸 割合帳	覚	御拝借金之内町郷中之五ヶ年 賦御貸割合帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	78	2	明和4年	1767			横長半半 (折目下)	1	御領分人別書抜帳 写	古人別帳書抜	御領分人別書抜帳写 自明和 4年 迄元治2年	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	79	2	寛政5年	1793	12		横長半半 (折目下)	1	郷中江申渡候書付 写	申渡之覚	寛政5年12月郷中之申渡し候 書付写 文政10年4月中旬写	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	80	2	寛政6年	1794	春		横長半半 (折目下)	1	寛政六甲寅歳春申 渡ス 郷中江申渡 候書付	申渡之覚	寛政6甲寅歳春申渡 郷中之 申渡候書付下書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	81	2	天保2年	1831	1	13	横長半 (折目下)	1	平年御収納高御暮 方大積	覚	平年御収納高御暮方大積	-	-	
牧野 八郎左衛門	82	2	天保4年	1833			横長半半 (折目下)	1	凶作二付御取拂并 取扱一件		出作二付 御取締並取扱一件	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	83	2	天保5年	1834	9	21	横長半半 (折目下)	1	巳年凶作之上年年 春御類焼二付御割 引被仰付帳面	九月十九日	巳年凶作之上年年春御類焼二 付 御割引被仰付帳面	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	84	2	天保6年	1835			横長半半 (折目下)	1	天保六乙未歳 違 作二付御取締一条	八月廿九日	違作に付御取締一条	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	85	2	天保7年	1836			横長半半 (折目下)	1	天保七丙申年 凶 作二付被仰渡諸事 取扱一件		凶作に付被仰渡 諸事取扱一 件	-	-	
牧野 八郎左衛門	86	2	天保8年	1837			横長半半 (折目下)	1	御城詰米江戸浅草 御蔵納 御影御陣 屋御支配所御廻米 一件	四月廿二日	御城詰米 江戸浅草御蔵納 御 影御陣屋御支配所 御廻米一 件	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	87	2	天保8年	1837			横長半半 (折目下)	1		天保八酉年御領分鉄 砲改書上帳 御代官 山内利為	御領分鉄砲改書上帳 写	獺師目付年番 平原村七左衛 門外一名	役所	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	88	2	天保8年	1837	10	9	横長半半 (折目下)	1	御取締被仰出一件	天保八丁酉年十月九日御取 メ 二被仰出江戸表二而茂同日二仰出候写其渡延二仰出候座>記置 覚	御取締被仰出候一件	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	89	2	天保8年	1837	10		横長半半 (折目下)	1	御取締被仰出候御書付写	連年之候時御物入其上出作打続必至与御指手御差支二付寛政度被仰出二而御取締右之通	御取締被仰出候御書付写	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	90	2	天保11年	1840	9	9	横長半半 (折目下)	1	去る閏年嚴重之御取締総士席高割延被仰出之一件		去る酉年嚴重之御取締総士席高割年延被仰出候一件	-	-	
牧野 八郎左衛門	91	2	天保13年	1842	10	1	横長半半 (折目下)	1	御年限明二付御改革御割増一条扣	拾月朔日	御年限明に付御改革御割増一条控	-	-	
牧野 八郎左衛門	92	2	不詳				横長半半 (折目下)	1	御滞府増、両御丸ト相成候増 御新造様御合力増、御借財高	覚	御滞府増、両御丸と相成候増 御新造様御合力増、御借財高	-	-	
牧野 八郎左衛門	93	2	弘化2年	1805	2	25	横長半半 (折目下)	1	御破格御取締被仰出候一件	二月廿五日	御破格御取締被仰出候一件	-	-	
牧野 八郎左衛門	94	2	弘化3年	1806	3	25	横長半半 (折目下)	1	御領分町在寺院山號本寺附ケ	天台宗	御領分町在寺院山号本寺附ケ	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	95	2	嘉永5年	1852	9	9	横長半半 (折目下)	1	御年限明二付御割地に仰出候一件		御年限明に付御割地被仰出候一件帳	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	96	2	嘉永6年	1853	9	9	横長半半 (折目下)	1	御取締被仰出候扣		御取締被仰出候控	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	97	2	嘉永7年	1854	11		横長半半 (折目下)	1	御取締二付人減二付御手当被下扣	御廣間	御取締に付御人減に付御手当被下控	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	98	2	安政4年	1857	2	25	横長半半 (折目下)	1	当時御暮通積	平年御収納高を以当時御暮通大凡積	平年御収納高を以 当時御暮通大凡積	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	99	2	安政6年	1859	10		横長半半 (折目下)	1	中之条御代官様 6 立冬十日之内殺相場御問合由来候上田御役人衆取扱振問合之写		中之条御代官様より立冬十日の内殺相場御問合申来候上田御役人衆取扱振り問合の写	-	-	
牧野 八郎左衛門	100	2	安政6年	1859	10		横長半半 (折目下)	1	御取締御借米増被仰出候一件帳	御借米増被仰出候真意勤左之通	御取締御借米増被仰出候一件帳	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	101	2	文久元年	1861			横長半半 (折目下)	1	江戸兎角御暮通御不足二付権左衛門殿西岡五郎左衛門出府御取極二相成候書類写	御雑用	江戸兎角御暮通御不足に付権左衛門殿西岡五郎左衛門出府御取極に相成候書類写	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	102	2	文久3年	1863	12	4	横長半半 (折目下)	1	簡易之五趣意以御取締被仰出一件	口上書	(御勝手向諸事) 簡易之御趣意以御取締被仰出一件写	-	-	
牧野 八郎左衛門	103	2	慶応2年	1866	11	17	横長半半 (折目下)	1	凶作二付被仰出一件帳		凶作に付御仰せ出だされた内容	牧野一夢控	-	
牧野 八郎左衛門	104	2	不詳				横長半半 (折目下)	1	御領分御取付法		御領分の御取付法(例法外)	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	105	2	不詳				横長半半 (折目下)	1	修験道由来並御領分本山方当山方覚	修験道由来	修験道由来と領分村ごとの修験道と寺院名	-	-	
牧野 八郎左衛門	106	2	不詳				横長半半 (折目下)	1	御破格御取 メ 二付成澄控	覚	御破格御取締に付何事附礼写	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	107	2	不詳				横長半 (折目下)	1		御物成平均値段近例取調	自天保13年から安政2年の御物成平均値段近例取調	-	-	
牧野 八郎左衛門	108	2	不詳		8	25	包袋 包紙 状	1	包袋表書) 御内御書并密用書		里衛の薬礼につき依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	109	2	不詳		3	28	包紙 状	1	包紙表書) 御書		画図面について里衛へ見せた 処運込んでいて手狭で、勝手 元の者、女共方便にて内々に て其元へ申出る故其心得にて 申談じられ度い依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	110	2	不詳		2	10	包紙 状	1	包紙表書) 用事		(太田) 左治馬方にて先詰一 人に付いて口上書	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	111	2	不詳		4	25	包紙 状	1			明後朝常盤都、城より発足は 彼是不埒に付明夕(山内) 利 左衛門方へ落着き明後朝利左 衛門方より発足したらと申入 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	112	2	不詳		8	2	状	1			おりゑ出府に付在所と江戸志 との掛合い状	石(黒) 武兵 衛	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	113	2	不詳		7	23	包紙 状	1	包紙表書) 来		江府一列相替え存意もなけれ ば当人へ早速発足させ度いの で度々の懸合ではあるが遅延 なき様申し達し状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	114	2	不詳		4	23	包紙 状	1			常盤都帰府に付目録千疋遣度 いので評議依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	115	2	不詳		3	15	包紙 状	1			今度の内用一件に付厚き内談 の趣を謝すと共に六月出府の 節江戸一列共へ申聞し、評議 を遂げられる様依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	116	2	不詳				包紙 状	1	包紙表書) 御書候 請状案		密々に仰出されの一件御懇命 を蒙りたるにより、六月出府 以後篤と申し談ずるが、思召 しの通りには参らないかも分 らない旨の返事下書	牧野八郎左衛 門	上	
牧野 八郎左衛門	117	2	不詳		1	27	包紙 状	2			美代、富之亟出府の予定に 付、画図来次第春普請にも致 し度く、江府へも此の様に懸 け合い度い依頼状 追伸は豊 松(康陸公) 縁談(明和4年 頃)	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	118	2	不詳		7	24	包紙 状	1	包紙表書) 拝書		今度の便りにて評議一応済み たる由、風としたことで取も つれ手間どるもの。この一便 りにて落着する様にとの返書	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	119	2	不詳		8	2	包紙 状	2	包紙表書) 用吏		淑江戸之出立と極りたるに付 道中諸注意依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	120	2	不詳		8	6	状	1			里衛出府に付今般手判差越し 大慶の至り発足に付宜教く依 頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	121	2	不詳		6	23	包紙 状	1	包紙表書) 急用		里衛在所定居の了簡通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	122	2	不詳		8	12	状	1			里衛出府に付医師付添はれた く依頼状	遠州	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	123	2	不詳		5	21	包紙 状	1			先達て頼みの内用一件出府も 近寄りたるに付江府周到へ申 談ぜられたい依頼状	遠州	百葦(牧野 八郎左衛 門)	
牧野 八郎左衛門	124	2	不詳		1	14	包紙 状	1	包紙表書) 内用		次小姓里瀬の部屋を少し広げ たい件に付種々懸合い状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	125	2	不詳		6	21	包紙 状	1	包紙表書) 内用		竹治を召仕とした通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	126	2	不詳		2	5	包紙 状	1	包紙表書) 用吏		亥年納所残金の内入用に付三 両渡されたい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	127	2	不詳		8	26	包紙 状	1			手判の下書送達依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	128	2	不詳		9	15	包紙 状	1	包紙表書) 急用		内用一件に付江戸へ申越した るに付宜教く頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	129	2	不詳		3	17	包紙 状	1			貴庭にて観櫻催し度く打合せ 状	華紅 (遠州)	百葦 (牧野 八郎左衛 門)	
牧野 八郎左衛門	130	2	不詳		7	13	包紙 状	2	包紙表書) 急用		里衛出府一件聞届られ早速手 配にて医師道連れ依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	131	2	不詳		5	14	包紙 状	1	包紙表書) 用事		寿金の残り一両納戸掛へ渡さ れたい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	132	2	不詳		5	21	包紙 状	1	包紙表書) 急用		納戸金二丸 (二両) 渡され度 い依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	133	2	不詳		9	28	包紙 状	1			清水藤右衛門奥附の件承知、 安田幾左衛門の義は無用、山 上与一左衛門一件は後便にて 申遣す旨の返答書	(遠州)	一列	
牧野 八郎左衛門	134	2	不詳		5	26	包紙 状	1	包紙表書) 来		此の間申進じの七月分納戸金 繰越入用分納戸迄渡されたい 依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	135	2	不詳		5	5	包紙 状	1			太田仁兵衛出府内願に付自分 出府の節同道の心得る様左治 馬へ申達すべき通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	136	2	不詳		7	5	包紙 状	1	包紙表書) 急用		里衛出府請取纏れ一件穿鑿状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	137	2	不詳				包紙 状	1			近況報知状	久	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	138	2	不詳		2	5	包紙 状	1			武助、平治左衛門、藤之進、 忠左衛門の四名へ伽申付けの 通知状	遠州	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	139	2	不詳		4	5	包紙 状	1			お美代を小姓に取立てたい通 知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	140	2	不詳		4	5	包紙 状	1	包紙表書) 御請状 案		(139遠州手紙の返事) お美 代小姓の件は初めてのことに て両表へ掛合はなければ済ま ない故評議請け状草案	牧野八郎左衛 門	(上)	
牧野 八郎左衛門	141	2	不詳		4	5	包紙 状	1			先刻奉公人請書の趣承知。何 れにも六月前に召控間に合う 様依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	142	2	不詳		5	28	包紙 状	1			仁兵衛より明朝発賀の節唐松 辺迄見送り致したい旨申出た が返輪に任せたい故即答依頼 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	143	2	不詳		6	20	包紙 状	1			在所申出での太田方内用一件 は未之迄為にならぬ故相止め るに付通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	144	2	不詳		6	25	包紙 状	2	包紙表書) 用事		里衛事在所へ召連れお美代 (後柏枝と改名牧野外巻家初 代) 出生もある故是迄と vari 奥役人共初め言葉遣い等迄丁 寧に致し不都合なき様申し渡 すべき覚状	遠州	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	145	2	不詳		8	12	包紙 状	1			角田権太夫は近習勤申付けな い旨の通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	146	2	不詳		1	28	包紙 状	1	包紙表書) 急用		当初午稲荷へ燈籠等上げ 当 年は役儀も仰付けられた故格 別賑やかに祭り度いので世話 の者共へ申達する様指図状	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	147	2	不詳		2	14	包紙 状	1			雛人形鈴付指図状	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	148	2	不詳		2	20	包紙 状	1			金子五兩入用に付渡されたい 依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	149	2	不詳		4	3	包紙 状	1			お美代の小姓一人召抱えたい 故六月の間に合う様評議取極 められたい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	150	2	不詳		4	5	包紙 状	1			お美代の小姓召抱承知請書 外下書（149の返答書）	牧野八郎左衛 門 石黒武兵 衛	（上）	
牧野 八郎左衛門	151	2	不詳		12	26	包紙 状	1			秀弥箸揃（食い初め）祝式打 合せ状	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	152	2	不詳		12	28	包紙 状	1	端裏書）急用		里衛子秀弥、哥子政五郎箸揃 祝式外諸事口上の覚	遠州	郎左衛門 （石黒）武 兵衛	
牧野 八郎左衛門	153	2	不詳		12	29	包紙 状	1			昨夕の請書のヶ条の内特に申 達し事項 一、里衛年始中を 入れるに付心付かざる事を元 意迄一列より申達する様。 一、吉浦初め拝領物書面の通 り格式分け拝領の事	遠州	牧野八郎左 衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	154	2	不詳				包紙 状	2	包紙表書）急用		借入金返済申入れ状	神田橋より （女姓）	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	155	2	不詳		3	19	包紙 状	1	端裏書）急用		中段絵図披見 里衛、お美代 等女共部屋に付打合せ状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	156	2	明和4年	1767	9	14	包紙 状	2	包紙表書）用事		新召抱の者此の度請済まざる に決し、相手方へ扱金及他所 所持金夫々差遣され度し依頼 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	157	2	明和4年	1767	9	24	包紙 状	1	包紙表書）用事		此の間の（召抱取止めの奉公 人に対する）扱金遅くならな い様に取り計らはれたい依頼 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	158	2	明和4年	1767	9	19	包紙 状	1	包紙表書）用事		来三月里衛を召呼び度いので 談じられたく、又新抱取止め に付入金は手元金からでなく 支子料うわされたい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	159	2	不詳		9	12	包紙 状	1	包紙表書）用事		新抱の儀止めになりたる由。 両表評決前に其元の了簡承り 度く打割申聞かされ度く依頼 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	160	2	不詳		9	12	包紙 状	2			里衛とと瀬の取扱に付き協力 要請状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	161	2	不詳		8	13	包紙 状	1	包紙表書）用事		上田辺平次書付の一件@頼み 状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	162	2	不詳		9	22	状	1			寿金の内入用分前以て渡され たい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	163	2	不詳		9		状	1			新抱一件並お里衛暇に付一己 の考へ申述返書	（牧野八郎左 衛門）	（上）	
牧野 八郎左衛門	164	2	不詳		9	13	包紙 状	1	包紙表書）用事		里衛、と瀬の内一人暇出し、 新抱甲付たい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	165	2	不詳		8	29	包紙 状	1	包紙表書）用事		と瀬旅中御供に付配慮頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	166	2	不詳		9	24	包紙 状	1	包紙表書）用事		新抱一件に対する評議の次第 を待っている返書	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	167	2	不詳		3	8	包紙 状	1	包紙表書）用事		申越しの趣承知したが、祖母 へ話しては済みそうもない故 右の趣推察し、左様心得られ たい通知状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	168	2	不詳		4	24	包紙 状	1	包紙表書）用事		納戸金の内繰越分渡されたく 依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	169	2	不詳		5	24	包紙 状	1	包紙表書）急用		七月分納戸金繰越三丸（両 か）渡されたい頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	170	2	不詳		5	19	包紙 状	1	包紙表書）急用		したいので心得られたい頼み 状	遠州	牧野八郎左 衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	171	2	不詳		12	28	包紙 状	1			金子二両二分納戸共迄渡されたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	172	2	不詳		6	18	包紙 状	1	包紙表書) 用事		江戸納戸金の内五両渡されたい頼み状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	173	2	不詳		8	24	包紙 状	1			里衛下され金残り百両来月中旬迄に渡されたい依頼状	遠州	(石黒)武兵衛	
牧野 八郎左衛門	174	2	不詳		11	10	包紙 状	1	包紙表書) 内用		家中へ相越す一件評議の趣余儀ない事ではあるが、自分が在邑一ヶ年は誠に徒然にて迷惑である。其元より夢々申談げられ、相済むよう頼み状 追伸にて里衛、と瀬に小女一人雇いれたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	175	2	不詳		11	10	状	1			当地にて召仕へたる者は両様(江戸表共)申出での趣聞き置かれ給いたく頼み状	遠州	(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	176	2	不詳		11	21	状	1			当簀入用寿命金18両渡されたい依頼状	遠州	(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	177	2	不詳		12	8	包紙 状	1	包紙表書) 内用		来春の下され金調達多分に付武兵衛へ申請の件早々申聞かされたく、且又来春召仕の小姓家中に居なければ町家にも宜しい旨の内意通知状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	178	2	嘉永5年	1852	1		封筒 状	2			正月元日小書院に於て孟、流頂戴の節約並に同四日同所に於て寺社、山伏、用達共年始御礼御目見の節上物席旦大書院、縁座敷之着座の図	牧野成道	-	
牧野 八郎左衛門	179	2	文久元年	1861	4		状	1	東都下谷神田山幡院御廟之図		東都下谷神田山幡院御廟之図	牧野成道	-	
牧野 八郎左衛門	180	2	文政8年	1825	9		封筒 状	1	御番頭序古法 御徒頭勤法		御番頭席心得 御徒支配心得古法	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	181	2	天明5年	1785	12		包紙 状	1	包紙表書) 大阪城之圖		大阪城之図	牧野八郎左衛門	-	
牧野 八郎左衛門	182	2	延享元年	1744	4	20	状	1			拝借金配りの答書は出来兼ねるに付全権粉の高ばかり申進ずる故文言は其元にて詮議願ひ状(写)	牧野重治外3名	真木権左衛門外1名	
牧野 八郎左衛門	183	2	不詳				状	1		石高初適覚	石高初適り覚	牧野成澄控	-	
牧野 八郎左衛門	184	2	慶応3年	1867	10	13	横長半 (折目下)	1		御分度積	御分度積平年積積、御収納取扱方覚申達控	-	-	
牧野 八郎左衛門	185	2	慶応3年	1867	10		状	1			身分石高に応ずる初配分表(略)	-	-	
牧野 八郎左衛門	186	2	不詳				状	1			身分石高に応ずる初配分表(全)	-	-	
牧野 八郎左衛門	187	2	不詳				絵図	1			濱町御上屋鋪御殿地震後模様替之図	-	-	
牧野 八郎左衛門	188	2	天保3年	1832	5	15	絵図	1			濱町御屋敷御居間之図	-	-	
牧野 八郎左衛門	189	2	不詳				絵図	1			赤坂図面	-	-	
牧野 八郎左衛門	190	2	寛政6年	1794	1		状	1		牧野八左衛門	在勤中莫大の借金に付上役に不似合故隠居申付書 写	-	牧野八郎左衛門(載成)としなり	
牧野 八郎左衛門	191	2	慶応2年	1866	7	30	状	1			奥様時節柄江戸にて馬の稽古なさりたい由なれど先づ馬が手に入り難いことと、馬場が無いので篤と御覧考願いたい返答書	(牧野)要人	(牧野)十郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	192	2	不詳				状 包紙	2	包紙表書) 書取		両表幕通を建てられた御主法を仰せ出されたが切り詰められ、少しの不作引、禾価の下落、水害、火災、風損等に数えられない故方々諸々割縮め一ヶ年切にて不足埋められる様致し度い方法。附 小諸表…(画像下端切れにつき読み取れず)	-	-	
牧野 八郎左衛門	193	2	不詳				状 包紙	10	包紙表書) 御手札		御手札 宿坊上野規龍院芝雲晴院 牧野遠江守供頭刀番兼室賀治右衛門外5名	-	-	
牧野 八郎左衛門	194	2	不詳		8	1	状	1			江城日誌23冊目数一覧したいので遺されたい指図状	遠江	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	195	2	不詳				状	1			宮廷に於て政を行う専門用語解説(上卿、口宣、宣旨、倫旨、位記等)	-	-	
牧野 八郎左衛門	196	2	不詳				状	1			臨時出張一番手名前書 隊長牧野八郎左衛門外50名	-	-	
牧野 八郎左衛門	197	2	明治				横長半 (折目下)	1	記		勘定書 貨幣単位「円」	-	-	
牧野 八郎左衛門	198	2	不詳		7	9	状 包紙	1			「御尋付愚存申上候書付」藩財政立直し目論見下案 写	長沼宗右衛門	-	
牧野 八郎左衛門	199	3	-				状	1			牧野康重公と桂昌院との続柄書(桂昌院は父方のおば也。伯叔の処未詳とある)	-	-	
牧野 八郎左衛門	200	3	不詳		2		状	1			五ヶ年の内取締り条々の寛	-	御番頭共	
牧野 八郎左衛門	201	3	不詳		8	17	状 包紙	1			久し振りで御達いして咄し度く又信州の品類みたいのものもある故御待ちしている誘い状 註京極采女 康隆公二男京極近江守へ養子高正と名乗る。	京極采女	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	202	3	不詳		8		状 包紙	1	包紙表書) 御書		昨日申入れの儀大寮居るべくと待ち居る通知状(昨日面会をお願い聞いて下さることと存じます)	(京極) 采女	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	203	3	不詳		11	22	状 包紙	1	包紙表書) 内用事		先達て聞いた無尽は当月中に取当りになるのか通知依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	204	3	不詳		2	6	状 包紙	1			無尽のごとで「廻し金」のことを書付にて知らせられたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	205	3	不詳		5	18	状 包紙	1			金子一両二分納戸共へ渡されたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	206	3	不詳		5	26	状	1			菊善光寺へ参詣につき手当如何程取計らはれるか通知依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	207	3	不詳		9	20	状 包紙	1			頼母、又左衛門の書翰案文西久保の振合もある故認め方指図状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	208	3	不詳		5	6	状 包紙	1	包紙表書) 用事		金子一両納戸共へ渡されたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	209	3	不詳		11	27	状 包紙	1	包紙表書) 内用事		当暮の仕切金繰上用事并ずる様依頼状	牧(野) 遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	210	3	不詳		10	9	状 包紙	1	包紙表書) 用事		手元金宜教き様に取計はれ度頼みの処急に間に合なければ一両も直ぐ渡されたい依頼状	遠州	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	211	3	不詳		5	23	状 包紙	1	包紙表書) 用事		美野離縁の儀気の毒である、里衛の件本所御夫婦へ直書にて伺い、御目見室も仰付けられ風聞は色々あるが人の常のごと等諸事通知状	遠州	牧野八郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	212	3	不詳		6	26	状 包紙	1	包紙表書) 内用		当年は他所出会格別にて、氣 保養も無い故召仕一人召抱へ たいので早速取計い依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	213	3	不詳		8	11	状 包紙	2	包紙表書) 内用事		発駕前頼みの無尽の件、是迄 の遣込みの淀みがある故半包 では済まないで、二口加 入、二包入り、一包で当暮を 仕廻い、一包は其元へ預けお きたい依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	214	3	不詳		3	22	状 包紙	1	包紙表書) 内用		当地にて小女召抱られたい頼 み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	215	3	不詳		5	18	状 包紙	1	包紙表書) 用事		菊が此の秋善光寺参詣致した いので相応に手当て、参詣 させ度いので取計い頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	216	3	不詳		10	24	状 包紙	1			美野に暇を遣した由、手元入 用にて見有って来た千瀬に今 度表取計いとなりたる故向後 給金其外芝に並の通り取計は れたい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	217	3	不詳		4	14	状 包紙	1	包紙表書) 用事		初戸屋仕切金参府前に片付け られたい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	218	3	不詳		3	19	状 包紙	1	包紙表書) 用事		娘一人召抱られたい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	219	3	不詳		12	1	状 包紙	1			牧野頼母(長岡本家家老) 宛 の書翰宜教取計い差遣はれた い依頼状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	220	3	不詳		4	2	状 包紙	1	包紙表書) 用事		金子一両納戸共へ渡されたい 頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	221	3	不詳		5	22	状 包紙	1	包紙表書) 用事		先刻申進じ菊善光寺参詣につ き手当等相応に申付けられた い頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	222	3	不詳		6	6	状 包紙	1	包紙表書) 用事		去冬格別の損毛に付当年の衣 服類仕切金減じられたが来年 は極り通りになるのであら う。又納戸金六月より一両減 じとの事。此の分来帰城後七 両渡されたい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	223	3	不詳		11	29	状 包紙	1	包紙表書) 急用事		当入用一両納戸共へ渡されたい 頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	224	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御書		年甫嘉書	内膳康周	牧野庄左衛 門	
牧野 八郎左衛門	225	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	内膳康陸	牧野八郎左 衛門 牧野 勝兵衛	
牧野 八郎左衛門	226	3	不詳		1	1	状 包紙	2	包紙表書) 御書		年甫嘉書	虎之丞	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	227	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康哉	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	228	3	不詳		1	1	状 包紙	2	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 村井 平兵衛	
牧野 八郎左衛門	229	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 真木 権左衛門	
牧野 八郎左衛門	230	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 牧野 主鈴	
牧野 八郎左衛門	231	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康清	加藤六郎兵 衛 牧野八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	232	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫嘉書	遠江康清	牧野一夢 真木要久 太田宇忠太	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	233	3	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		新年賀状	真木権左衛門 則浚	牧野庄左衛 門	
牧野 八郎左衛門	234	3	不詳				状 包紙	1	包紙表書) 康命公 御筆	五韻杏 一章	漢詩 七言絶句 註牧野康命 公	鶯山愚艸	-	
牧野 八郎左衛門	235	3	不詳		7	6	状 包紙	2			諸稽古の日割決定に付差送り 状 (235~253一括)	遠江 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	236	3	不詳		9	25	状	1			関門警衛一件並に行政官の書 付二通見たいので遣されたい 依頼状	遠州 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	237	3	不詳				状	1			過日談じた書面認めた故可否 は象評の上決定されたい。又 門兵衛より差出しの風説書遣 されたい依頼状	遠州 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	238	3	不詳		11	19	状 包紙	1			軍令状並に下知状写借用依頼 状	遠江 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	239	3	不詳			14	状 包紙	1			京方の書付並に本家の風説写 一覽したいので遣されたい依 頼状	遠州 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	240	3	不詳		11	7	状 包紙	1			帳面七冊一覽して存寄もない 故返却通知状	遠江 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	241	3	不詳		9	5	状	1			太政日誌一部遣されたい依頼 状	遠州 (康)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	242	3	不詳			27	状	1			先刻見た書状中宿所並に地認 めて遣されたい依頼状	遠州 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	243	3	不詳		5	23	状 包紙	2	包紙表書) 書付式 通		別紙二通差遣す故談合された く、尚済み次第返す様に一通 は返却と心得る様通知状 註 別紙の内一通写あり。	遠江守	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	244	3	不詳		12	12	状 包紙	1	包紙表書) 萬紙沓 通		寒中見舞の品届け状 註 別 紙一通差進じとあるが別紙は ない。	遠江 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	245	3	不詳		閏 4	12	状 包紙	1	包紙表書) 沓通		碓氷新聞へ小納戸近習出張さ せる様手紙認められたい差図 状	遠州 (康哉)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	246	3	不詳		7	25	状	1			太政官日誌33冊目一覽した いので持参依頼状	遠州 (康清)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	247	3	寅年		2		状	1			手紙は届ける様達しておいた が、此節一円届かない故以後 必ず届ける様申達し状	遠江	(牧野) 十 郎兵衛 (木俣) 興 之進	
牧野 八郎左衛門	248	3	丑年		7	26	状 包紙	1			達候書付 7月19日より (加 藤) 六郎兵衛差控 同25日 有免のこと奥へは全く通知な きため、以後斯の様なことの ない用心付ける様注意書	-	-	
牧野 八郎左衛門	249	3	不詳		3	5	状 包紙	1	包紙表書) 御直書		先刻の書付残らず一覽した いので早々差出されたい依頼 状	遠江	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	250	3	不詳		5	20	状 包紙	1	包紙表書) 御直書		先達て見せた牧野備前守へ差 出す書付認めたいので持参依 頼状	遠江	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	251	3	不詳		10	2	状 包紙	1			銀杏並にしいの実差遣す添状	遠江	(牧野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	252	3	不詳		1	14	状 包紙	1	包紙表書) 用事		大津駅よりの到来の品差遣し 添状	遠江	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	253	3	不詳		2	30	状 包紙	1	包紙表書) 御直書		今宵六時前に其方屋敷へ行く むねの通知状	遠江	(牧野) 一 夢 (牧 野) 八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	254	3	安政6年	1859	2		状 包紙 包袋	1	包袋表書) 家譜取 調書 包紙表書) 上	差上申小作證文之事	小作証文 下畑二町歩 名所 并沢 (254~269一括)	荒町清五郎	牧野八郎左 衛門 若党	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	255	3	寅年		9		状 包紙	1			下畑6町2歩外2口転格に付増 畑として山目付より請取られ たい通知状	御勘定所	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	256	3	辰年		9		状 包紙	1			下畑6町2歩外1口右は割替に 付上畑山目付之渡されるべき 通知状	御勘定所	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	257	3	明治6年	1873	12	27	折紙	1			第426号 士族以下家禄賞典 禄百石未満の者願出次第奉還 聞届る旨の布告写	三條	-	
牧野 八郎左衛門	258	3	明治7年	1874	2	23	状	1		願	家禄奉還願書下書	牧野成行	長野県参事 檜崎寛道	
牧野 八郎左衛門	259	3	明治7年	1874	4	5	状	1		貸附金規則	□□社貸附金規則	闇竜花押	-	
牧野 八郎左衛門	260	3	不詳		3	15	折紙	1			家禄奉還に付財産を差出し、 衆力を以て維持する方法は不 朽の社に納め協同一和旧藩を 維持するが良策である旨の申 立書下書	牧野成行 牧 野正発	區戸長副	
牧野 八郎左衛門	261	3	明治8年	1875	4		状	1			小学訓導一等試補辞令	長野県	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	262	3	明治8年	1875	12		状	1			明倫学校辞令	長野県	小学訓導一 等試補 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	263	3	明治9年	1876	7		状	1			準五等訓導辞令	長野県	小学訓導一 等試補 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	264	3	明治9年	1876	11		状	1			上等小学師範学科講習証書	長野県師範学 校	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	265	3	明治10年	1877	5		状 封筒	1			依頼明倫学校在勤差免状	長野県	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	266	3	明治13年	1880	7	23	状	1			小諸町学校学務委員当選証書	北佐久郡役所	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	267	3	不詳				状	1			家禄奉還布告書並に県参事檜 崎寛直連署を読んで生活の方 途に関し腹臆なく認め差出さ れたい廻状下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	268	3	不詳				状	3			太政官布告写	-	-	
牧野 八郎左衛門	269	3	不詳				状	1			家禄奉還願書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	270	3	不詳		4	23	折紙 封筒	1	封筒表書) 要書		足軽大将申付書(270～ 276)	内膳正康成	小金井源□	
牧野 八郎左衛門	271	3	明治20年	1887	4	2	切紙 包紙	1		證	金190円也 受取証	小諸銀行	共報社 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	272	3	明治23年				状 包紙	1	包紙表書) 牧野様	善休院 歆照院 真解 院右御三方様御上屋 取替諸入費書上	金額・品目・支払先名	新町黒鉄 高 橋宇作	御掛 馬場 裏牧野 馬 場町牧野	
牧野 八郎左衛門	273	3	明治18年	1885	4	22	状	1		証券受取証	証券3点の受取証書	伝田□太郎	証券受取証	
牧野 八郎左衛門	274	3	明治21年	1888	1	20	状	1		借用証	金子450円借用証	借主 山本清 明 外2名	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	275	3	明治18年	1885	2	21	状	1		身代限対談書	請求金額の異議申立の件	布施村萩原金 五郎□	布施銀行頭 取支配人	
牧野 八郎左衛門	276	3	明治23年	1890	1	29	状	1		二拾二年度小作米代 金表	小作未上納覚書	小作人小林銀 次 外6名	牧野康強代 理 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	277	3	不詳		1	21	状 包紙 封筒	1			手元金につき無尽をたて三包 我等受取りその内一包を手元 へ請取二包は其元勘分、次第 預け、その利分虚暮に渡され る様取計い依頼状(277～ 279)	牧(野)遠江 康満	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	278	3	不詳		5	18	状 包紙	1	包紙表書) 急用事		手元金不足にてその上借金も 出来難渋に付無尽金にて二包 手取にして、一包を借金返し とし、一包の利分にて小諸小 遣に致したい頼み状	遠州	牧野八郎左 衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	279	3	不詳		8	29	状 包紙	1	包紙表書) 内用事		美野が弥ついた故地赤小袖、 地白小袖一ツ宛外に駕籠ぶと ん一ツ買ってやりたい故取計 い頼むが代金は先日依頼の無 尽手取金より差引いて勘定類 み状	遠州	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	280	3	明治15年	1882	10	8	状 封筒	1			家扶として雇いたい故速に出 立致されたい依頼状 (280～ 287一括)	牧野康民	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	281	3	不詳		9	7	状 包紙	1			約束の薬神発丸が参ったので 用人共へ送る故配分のこと猶 この薬、三奉行にても望みあ らば差遣す旨の通知状	遠江 (康民)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	282	3	不詳		5	2	状 包紙	1	包紙表書) 壇下		用事のない者は年始は休速に したいが此節柄用事が出来た ら早速出勤すべき通知状	檀下 遠州 (康民)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	283	3	不詳		閏4	28	状 包紙	1	包紙表書) 机下		退屈だろうから此絵図を見 るからゆっくり見られる様連 絡状	遠州 (康民)	(牧野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	284	3	不詳		1	28	状 包紙	1			静寛院宮様 (和宮) の影 (字 は顔に見えるが) 写 (写真の ことか) 廻す故信之助之も見 せる様連絡状	遠江 (康民)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	285	3	不詳		8	13	状 包紙	1	包紙表書) 平安		在勤中の礼状	牧野遠江 (康 民)	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	286	3	不詳		10	29	状 封筒	1			昨日宮様通行の節昼并当馳走 になりたる礼として軽少の品 呈贈挨拶状	牧 (野) 遠州 (康民)	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	287	3	不詳		6	22	状 包紙	1	包紙表書) 御真書		一夢殿病気見舞状	遠江 (康民)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	288	3	不詳				状 封筒	2	封筒表書) 弘化四 丁未歳 要用書付 留不相添分入置 十二月成澄		家格役職柄相動候者子孫御取 扱之事 (288～292一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	289	3	不詳				折紙	1			代々城代家老の記録 自元禄 15年9月27日 迄文化3年4 月15日	-	-	
牧野 八郎左衛門	290	3	安政6年				状	1			安政元年月別収納受払明細書	-	-	
牧野 八郎左衛門	291	3	不詳				状	1			御小人目付川島半兵衛小諸藩 調査14ヶ条報告書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	292	3	不詳				切紙	1		國之不可有十	国の不可なること十ヶ条	-	-	
牧野 八郎左衛門	293	3	不詳		2		状 包袋	1	包袋表書) 西澤流 御開一件書類		元込銃百挺これは国友伝右衛 門に頼んだ分、こちらで百挺 製造都合二百挺にて鉄砲隊編 成の目論見書 (293～296一 括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	294	3	不詳				状	1			鉄砲修行人御手当の寛	-	-	
牧野 八郎左衛門	295	3	不詳				状	1			鉄砲隊陳服の寛	-	-	
牧野 八郎左衛門	296	3	不詳				状	1			江戸にて惣士五十才以下の者 は来月二日より調練稽古仰付 け控	-	-	
牧野 八郎左衛門	297	3	不詳		1	24	状 封筒	1			おみよ方へ来ているが徒然故 話相手に誘い状 (297～300 一括)	内膳 (康陸)	(牧野) 八 郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	298	3	不詳		3	7	状 封筒	1			今晚七ツ半（午後5時）頃押 子掛けて行くが取持は迷惑 （山内）利左衛門魚釣に行っ ている故それで話し合い度く 通知状	内膳（康陸）	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	299	3	不詳		11	7	状 包紙	1			今朝打留めた野鶉一羽遣す故 酒肴は軽微の賄ではあるが海 岸は東武より来て居る故一盃 を楽しみにしている添状	内膳（康陸）	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	300	3	不詳				状 包紙	1			人事伺書に對し付札を以て返 答書	内膳（康陸）	一列	
牧野 八郎左衛門	301	3	不詳		10	28	状 包袋	1		記	回向料請取証（301～305一 括）	幡隨院役僧	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	302	3	不詳				折紙	1			計算書 註 明治21年の記録 あり	-	-	
牧野 八郎左衛門	303	3	亥年		2		状 包紙	1			振替畑として山目付より受取 られたい指圖書	御勘定所	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	304	3	明治14年	1881	12	9	状	1		記	回向料受取証	幡隨院内伊奈 □	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	305	3	明治21年	1946	9	10	状	1			町村制実施に付町村分合に付 県知事の質問に対する答議書 差出し依頼状	北佐久郡長 師 岡政学	戸長役場	
牧野 八郎左衛門	306	3	明治21年	1946	7	5	状 包紙	1		明治二十一年七月五 日小諸町光岳寺二於 テ有志大懇親會ヲ開 キ後藤伯並二 松本 鴨 大石正己 諸橋 淺三郎 末永方親 三戸政親ノ諸氏臨場 セリ	後藤伯來場有志大懇親會名簿 （306～331一括）	有志懇親會事 務所	-	
牧野 八郎左衛門	307	3	明治14年	1881	6		包袋	1	東京市街細見図		東京市街細見図（地図はな し、袋のみ）	東京万葉堂 板	-	
牧野 八郎左衛門	308	3	不詳					1			協和村松本栗吉貸付金利息計 算書 自明治16年10月27日 迄明治17年1月20日	-	-	
牧野 八郎左衛門	309	3	（明治24 年）	1891	10	30	状 封筒	1	封筒表書）要用		故康民公十年祭執行報告書	東京本所 佐野 常直	小諸 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	310	3	明治22年	1847	6	24	状 封筒	1	封筒表書）親展		召喚状送達状	上田 吉田三郎	小諸銀行 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	311	3	不詳		9		状	1		公儀御精進日之外	公儀精進日の外の精進日通知 状	-	-	
牧野 八郎左衛門	312	3	不詳				状	1		濟方御届	始審執行第75号一件入費授 受濟方届書（審）	長野始審裁判 所上田支庁 橋 本源之助	-	
牧野 八郎左衛門	313	3	不詳				状	2		小諸銀行日計表	小諸銀行日計表 一、明治 21年3月21日 一、明治21 年4月23日	-	-	
牧野 八郎左衛門	314	3	明治19年	1886			状	1		契約書	金円契約書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	315	3	不詳				豎半 （折）	1			小諸銀行貸付先控書 自明治 20年7月12日 迄明治24年 10月14日	-	-	
牧野 八郎左衛門	316	3	不詳				豎半 （折）	1			明治22年度（22年6月より 23年3月迄）小諸町収入役書 記給料額予算議案	-	-	
牧野 八郎左衛門	317	3	明治22年	1889	3	19	豎半 （折）	3		約定書	布施村春原国作が扶桑商会へ 差入れの抵当物一切の所有権 を共報社に移転すべき約定書	共報社幹事 牧 野成行 扶桑 商会代理人 石川正夫	-	要検討
牧野 八郎左衛門	318	3	明治15年	1882	5	25	状	1		陳述書	中嶋常右衛門外5名への貸付 金計510円の証書六葉引譲り 陳述書	牧野成行 高 橋平四郎	学務委員 角 田勝威	要検討

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	319	3	不詳				状	1		諸税代納届	今般望月町真山彦三郎より買 受けの望月町外2ヶ村にわた る田畑山林の諸税納め方望月 町大森久之助へ委託代納届書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	320	3	不詳				豎半 (折)	1		長野県信濃国国会議 員私撰投票下	長野県信濃国国会議員私撰投 票の下案	-	東京銀座公 論新報社	
牧野 八郎左衛門	321	3	明治21年	1888	12	7	状	1			布施村春原文太郎信用調査報 告書	牧野成功代理 人 前田吉忠	小笠原久吉	要検討
牧野 八郎左衛門	322	3	明治21年	1888	11	23	状	1	文頭) 拝啓		布施貯金銀行残務委員小林大 に関する照会状	吉田代言事務 所	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	323	3	明治21年	1888	12		状	3		委任状	春原文太郎に係る貸金取立一 切の事務を小笠原久吉に致さ せる委任状	共報社幹事 牧 野成行	-	要検討
牧野 八郎左衛門	324	3	明治13年	1880	11		豎半 (折)	1		信濃新報社株主連名 簿	頭取 滝沢 漸 信濃新報社株 主連名簿 (断翰)	信濃新報社	-	
牧野 八郎左衛門	325	3	不詳				状	1	明治七年五月期限		御牧原農牛貸付会社営業資金 借入願書下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	326	3	不詳				状	1		牧牛資金借用願	牧牛資金借用願書下書	太田道一 牧 野成行	長野県令 大 野誠	要検討
牧野 八郎左衛門	327	3	不詳				状	2		懇闘資金拝借願書	懇闘資金拝借願 断翰	小諸町士族 鳥 居義處 外21	-	要検討
牧野 八郎左衛門	328	3	明治22年	1889	3	15	状	1		委任状	望月町真山新七一件に付小林 三年へ代理委任状	共報社幹事 牧 野成行	-	要検討
牧野 八郎左衛門	329	3	不詳				豎半 (折)	4			会社営業資金借用証文	御牧原農牛貸 付会社 太田道 一 外4名	長野県令大 野誠	要検討
牧野 八郎左衛門	330	3	不詳				豎半 (折)	1		金禄公債証書書替願	金禄公債証書書替願	-	-	
牧野 八郎左衛門	331	3	明治16年	1883			豎半 (折)	1		会社規則及株主名簿	御牧原農牛馬貸付会社規則及 株主名簿	御牧原農牛馬 貸付会社	-	
牧野 八郎左衛門	332	3	明治23年	1890	1	15	切紙 包紙	1		証	金260円請取証 (332~333 一括)	小諸銀行	共報社 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	333	3	明治24年	1891	12	21	切紙	1			金670円別段預り金証	小諸銀行支配 人 小林石三郎 外1名	牧野康強	要検討
牧野 八郎左衛門	334	3	不詳				状	2		割増秘書	身分石高に応ずる租支給俵数 表 (334~337一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	335	3	不詳				状	1		両表御人高之積	両表御人高の見積書	-	-	
牧野 八郎左衛門	336	3	不詳				折紙	1		江戸惣士御渡方三ツ 二分物成績	江戸惣士御渡方三ツ二分物成 見績	-	-	
牧野 八郎左衛門	337	3	不詳				横長半 (折目下)	1		三ツ物成御割替に付 役高積り	三ツ物成御割替に付役高の見 積	-	-	
牧野 八郎左衛門	338	3	明治21年	1888	2	14	状 封筒 包袋	1	包袋表書) 鳥居義 處氏家屋貸與書類 牧野 封筒表書) 親展		金60円時借依頼状 (338~ 349一括)	上諏訪村 鳥居 義處	小諸 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	339	3	明治21年	1888	8	29	状 封筒	1	封筒表書) 親展		金10円時借依頼状	上諏訪村 鳥居 義處	小諸 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	340	3	明治21年	1888	2	25	切紙	2		受領證書	為替金60円並為替料領収証	小諸郵便局長 小山梅助	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	341	3	明治19年 明治21年	1886 1888	12 4	31 6	切紙	3		請書	鳥居義處へ時借金請取証 一 孔綴	牧野成功	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	342	3	明治21年	1888	7	17	切紙	2		追徴金受領証	電信料追徴金受領証	小諸電信局長 安田正之助	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内 容	認 人	宛 名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	343	3	明治21年	1888	12	15～ 19	切紙	6		計算書	中央陸運会社小諸外4組立所 貨物計算書 自明治21年12 月14日 迄明治21年12月19 日 一孔綴	-	-	
牧野 八郎左衛門	344	3	不詳		4	5	切紙	5		證	諸領収証 一孔綴	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	345	3	不詳		12	14	状	5		記	買物外支払覚 一孔綴	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	346	3	明治19年 ～明治25年	1886～ 1892			切紙	74		地方税地租割	納税領収証 自明治19年9月 24日 迄明治25年11月21日 一孔綴	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	347	3	明治18年	1885	8		横半半 (折目下)	1	上納おぼへ	おぼへ	上納おぼえ 自明治18年8月 8日 迄明治20年7月19日 一孔綴	鳥居	-	要検討
牧野 八郎左衛門	348	3	明治19年	1886	12		横半半 (折目下)	1	家賃領収證	證	家賃領収証	鳥居義處	小林石三郎	要検討
牧野 八郎左衛門	349	3	明治20年	1887	8		横半半 (折目下)	1	上納おぼへ		上納おぼえ 自明治20年8月 19日 迄明治24年6月17日	鳥居	-	要検討
牧野 八郎左衛門	350	3	明治22年	1889	6	25	状 封筒 包袋	1	包袋表書) 諸下案 類		現金遣り繰りの業務連絡状 (350～362一括)	小林石三郎	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	351	3	(明治24 年)	1891	6	4	状	1		明治24年6月3日当 座貸越金表	小諸銀行の明治24年6月3日 の当座貸越金表	小諸銀行上田 出張所 笠原茂 吉	小諸銀行 牧 野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	352	3												非収蔵
牧野 八郎左衛門	353	3	明治20年	1887	1		状	1		御納入御届	租税代納入届書下書	大塚宗助 外1 名	上田町戸長	要検討
牧野 八郎左衛門	354	3	不詳					1			用水堰筋役夫人夫名前届書 下書	太田道一	八重原村水 利係	
牧野 八郎左衛門	355	3	不詳				絵図	1			旗頭下図	-	-	
牧野 八郎左衛門	356	3	不詳				豎半 (折)	1		小諸町惣戸数	小諸町惣戸数、人員、地所反 別写書	-	-	
牧野 八郎左衛門	357	3	不詳				豎半 (折)	1		地券運物及付属品借 受証	地券運物及付属品借受証雛形	上田町借受人 誰	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	358	3	不詳				状	2		金券 蚕	明治8年何月何日佐々木道存 外6名の所有地所売却代金の 内延滞金悉皆精算致すべき書 状下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	359	3	不詳				状	1		金券	金220円貸借証文雛形	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	360	3	明治14年	1881	11	2	状	1		送籍願	妹千瀬 志賀村神津国助妻に 送籍願状	牧野成行	小諸町戸長 西岡信義	要検討
牧野 八郎左衛門	361	3	慶応4年	1868	7	7	状	1		牧野成功君冠髪京師	牧野成功君冠髪京師に学ぶを 賀す。漢詩七言絶句	-	-	
牧野 八郎左衛門	362	3	明治9年	1876	4		状	2		契約証書	八重原用水堰保護のため契約 証書下書	八重原村 誰 外何名	-	
牧野 八郎左衛門	363	3	不詳				状 包袋	1	包袋表書) 要文信	電信略語	電信略語 (363～384一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	364	3	明治22年	1889	5	11	切紙	1		証	印紙料請取証	吉田三郎	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	365	3	不詳				状	1	端裏書) 別紙 用 事		家捷のごとで話したい事がある ので来月中旬に御出で願います	楠 (康済公 室)	-	
牧野 八郎左衛門	366	3	不詳		12	23	状	1			金百円借用差返しの証文件と 連名にて送付すべき礼状	小林尚行	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	367	3	不詳		9	16	状	1			康強公健康に付意見申述べ状	角田勝威 牧 野正彦	太田道一 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	368	3	不詳		2	24	状 封筒	1			南條瀧次に係る貴老の返答次第 で訴訟の決心致したいので 宜しく懇談致したい願ひ状 (352を合併)	瀧沢	牧野 (成 行)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	369	3	明治20年	1887	7	10	状 封筒	1			歎願の情実採納になりたる礼 並びに鳥居左平次君学堂へ来 着されたら一方願状	佐野常直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	370	3	不詳		7	5	状 封筒	1	封筒表書) 御親展		病氣見舞並に三間一件に付善 処依頼状	中村敢改 小 土肥敢	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	371	3	不詳		10	18	状 封筒	1	封筒表書) 親展		金10円時借り依頼状	鳥居義處	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	372	3	不詳		12	29	状 封筒	1			使に預りたる全員御渡し申上 げの挨拶状	小山立三	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	373	3	不詳		1	20	状 封筒	2	封筒表書) 御親展		三間氏貸金一条に付意見具申 状	中村敢	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	374	3	明治20年	1887	6	80	状 封筒	1			恩借金を返済しない陳謝状	追分駅佐野常 直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	375	3	明治22年	1889	3	15	状 封筒	4			議員選挙資格に要する土地買 入依頼状 附 印鑑証明、委 任状	東京本八丁堀 丸山名政	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	376	3	不詳		6	24	状 封筒	1	封筒表書) 用事		衣笠氏一件早速談判に及びた る処依頼に応じ難い旨返答書	長野桜枝町 鳥 居義處	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	377	3	不詳		8	27	状 封筒	1	封筒表書) 要事		恩借金特別配慮を以て五、六 百円位にて済方依頼状	軽井沢新道 小 林宗義	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	378	3	不詳		4	10	状 封筒	1			布施、六十三、長野銀行 銀 行間金融に付打合せ状	依田仙右衛門	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	379	3	明治22年	1889	4	10	状 封筒	2			貸金取立裁判の判決謄本写送 付並に斯の執行に付伺状	東京麹町区代 言事務所 丸山 名政	小諸町 本村 保治	
牧野 八郎左衛門	380	3	不詳		7	25	状 封筒	1	封筒表書) 机下		本日午後4時頃より拙宅へお 出で下されたく、三間も参り 面語致す心得の旨通知状	牧野□□	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	381	3	不詳		3	23	状 封筒	1	封筒表書) 親展		今朝十時頃旅亭へ参る故在宿 下さる様通知状	三間正弘	小諸町奥州 屋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	382	3	不詳		4	12	状 封筒	1	封筒表書) 親展		御旅中の見舞の品届け挨拶状	三間正弘	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	383	3	不詳		7	19	状 封筒	1			三間、縣少□2名来21日軽井 沢へ来遊するとの知らせあり たる通知状	岩村田町 松原 清政	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	384の 1	3	11月6日					1			諸事件の成り行き、並に世話 になった礼状	太田道一	牧野成行	非収蔵
牧野 八郎左衛門	384の 2	3	不詳		8	30	状 封筒	1			木村氏病氣診断書至急送信依 頼状 (384~385一括)	東京亀沢町牧 野邸内 佐野常 直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	385	3	不詳		9	3	状	1		日本政府電信送達紙	電信 (診断書の催促)	東京亀沢町牧 野邸内 佐野常 直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	386	3	不詳				状	2			上田支店貸付書出 (386~ 402一括) 自明治21年7月 12日 迄明治24年9月30日	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	387	3	明治24年	1891	11	20	状	1		記	金18両預り証	沓掛源七	小諸銀行 上 田出張所	要検討
牧野 八郎左衛門	388	3	不詳				状	1			図二枚書出し (書入れのため か)		-	
牧野 八郎左衛門	389	3	明治17年	1884	1	19	状 封筒	1			佐々木道存貸付金300円十ヶ 年賦控 白地手形用紙 (印道 存)	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	390	3	明治24年	1891	6	12	状 封筒	1	封筒表書) 要事		貴行より振向の送金手形約定 為替戻限額に拘らず続々組越 し、既に限額以上に登り過剰 の分は支払拒絶にする故、尚 送金約定解約、貸越の分入金 なられたい通知状	第一国立銀行	信州 小諸銀 行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	391	3	明治24年	1891	6	18	状	1		第一國立銀行便箋	支払い委託約定本月限り解約する故承知の上貸越金支払通知状 於東京	第一国立銀行	小諸銀行	
牧野 八郎左衛門	392	3	不詳		12	3	状	1			耕地4反歩売買中間連絡状	大塚	牧野	
牧野 八郎左衛門	393	3	不詳				豎半 (折)	1		乱橋地籍長次郎分	東筑摩郡乱橋地籍小林長次郎分土地明細書	-	-	
牧野 八郎左衛門	394	3	不詳				豎半 (折)	1			沓掛源七所有上内町土地建物明細書	-	-	
牧野 八郎左衛門	395	3	不詳				豎半 (折)	2			小県郡上田町所在土地明細書	-	-	
牧野 八郎左衛門	396	3	不詳				状	1		記	康強外金子受取覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	397	3	不詳				状	1			漢詩（七言絶句）習作	-	-	
牧野 八郎左衛門	398	3	明治24年	1891	12	9	状 封筒	1			質物売却の様子報告状	東京下谷御徒町 太田道一	上田小諸銀行出張所 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	399	3	明治24年	1891	10	28	状 封筒	1			東京諸銀行との業務連絡状	東京下谷御徒町 太田道一	上田小諸銀行出張所 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	400	3	不詳		6	1	状 封筒	1			営務に付一、二申上げ執務を求めたる所、退職致し度い等申し居られたが、良い整理の手段を求めると云うだけで他意はないらしく、倒れ其元の上糸を待居る連絡状	太田道一	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	401	3	不詳		11	28	状 封筒	1			上田志の始末御苦勞感謝。何源の件困却。明後日篤と相談。佐野常直証書差上げ 以上業務連絡状	太田道一	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	402	3	不詳		10	5	状 封筒	1	封筒表書）要事		上田へ出張勤めの勞をねぎらい、何源外業務連絡状	太田道一	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	403	3	明治15年	1882	6	28	状	1			滞金催告状（403～438一括）	共報社幹事 牧野成行	小林平八	要検討
牧野 八郎左衛門	404	3	明治14年	1881	9	27	状	1			五、六月の約定ではあったが彼是にて遅くとも年内中に解雇願度依頼状	牧野正発	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	405	3	明治10年	1877	5	24	状	1			本月18日本署出発横浜にて名古屋丸乗組、1700人出版。19日神戸、23日肥後水俣着。本衛古賀屋甚告方宿営、十番小塚不足。以上到着報告状	肥後水俣村 岩田義知（小諸土族）	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	406	3	不詳		3	22	状	1			今般の事件大失策の届け状	中村敢	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	407	3	明治7年		2	20	状	1	封筒表書）御親展		近況伺い並に報知状	高崎にて 井出静	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	408	3	明治13年	1880	11	4	状 封筒	1			一、人物周旋依頼の件仲々困難。一、小諸電信分局開業を祝う。一、日本全国米商会社14ヶ所出来。等々連絡書状	東京日本橋 中村敢	小諸 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	409	3	不詳				状	1			明22日南條村にて逢いたい旨申越されたが多用に出席出来ない詫状下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	410	3	不詳				状	1			御牧原台地に土族有志にて農牛貸付会社を設立したいので結社資金一万円拝借願書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	411	3	不詳		5	20	状	1			本社仮局は長野町661番地におき、副頭取は返答無ければ瀧沢助三郎と決する故の通知状	近藤三九三 外2名	牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	412	3	不詳				状	2			小諸公立小学校教師一名（月給二、三十円位）周旋依頼状 下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	413	3	明治13年	1880	3	28	状 封筒	1	封筒表書）用事		漢文の書状	東京本所石原 町 角田忠雄	鹿島裏 牧野 正発	
牧野 八郎左衛門	414	3	不詳		4	22	状 封筒	1	封筒表書）用事		「物兪書」見当り次第授与依頼状	衣笠真	牧野成行 （成行の間 遣か）	
牧野 八郎左衛門	415	3	不詳		1	24	状	1			会社整理に関する決議書取	-	-	
牧野 八郎左衛門	416	3	明治13年	1880	10	12	状 封筒	1			去る10日本所屋敷より呼ばれ小言でも聞くものと心得の処あにはからんや小生前年の非を免じ是迄通り出入り致す様言はれ、久々にて旧君（康済公）に拝謁、威泣欣喜何か是に過ぎざる報告書	東京日本橋高 砂町 中村敢	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	417	3	不詳		12	7	状	1			学務課迄出頭通知状	曽根□卿	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	418	3	不詳		9	11	状 封筒	1	封筒表書）至急		出港の際の友誼謝礼並に業務上打合せ状	横浜 □上順太 郎	小諸銀行 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	419	3	不詳		4	14	状	1			公債公書利金本年は郡役所より請取次第書留便にて送封下さる様、又拝借金は返済出来ないのて年延に願いたい依頼状	衣笠弘	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	420	3	明治14年	1881	10	6	状	1			東京の御役年内に必ず解雇嘆願書	（牧野）正発	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	421	3	不詳		1	26	状 封筒	1	封筒表書）学事		長野師範校試験の噂があったので聞いた処他日勉業の上申出ても苦しからざる哉のことであった返答書	長野新道 衣 笠真	小諸明倫学 校 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	422	3	不詳		5		状 封筒	1			五位家（牧野公）より呼ばれ、二方様より家族とに牧野正発を是非頼み度い故若し差支があればその事情も申越され度い旨申して居られた連絡状	鳥居義行	太田道一 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	423	3	不詳		12	3	状 封筒	1			金250円借用依頼状	長野 衣笠弘	小諸 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	424	3	不詳				状	1			試験表持参なければ次の者へ遣されたい願い状	-	牧野林□□	
牧野 八郎左衛門	425	3	不詳		3	12	状	1			牧野欽一当地師範学校入学の心組にて滞在、持合せ金円乏しく金八円用立置いたが右金円返金親多門殿へ周旋依頼状	太田拡	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	426	3	不詳		7	7	状	1			近況伺廻状写	山本清明	高崎、安 田、高栗、 牧野、木俣	
牧野 八郎左衛門	427	3	不詳				状	1			出府中の勤務見舞状	勝手方三人	牧野旦那様	
牧野 八郎左衛門	428	3	不詳		5	3	状	1			五日来駕の節五円か三円持参下され、借用願い状	高崎	牧野	
牧野 八郎左衛門	429	3	不詳		12	14	状	1	端裏書）用事		相談があるので今日来駕願い状	高崎富六	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	430	3	（孟夏）年		4	11	状	1			過日御話の仏和辞書折角の頼みいまだ果せざる詫び並びに尚又心掛け周旋致すべき約束状	南校（湯島天 神下）高栗富 六	福地望 牧 野莊次郎 高栗誠人	
牧野 八郎左衛門	431	3	明治10年	1877	5	17	状	1			警視局徴募巡査拝命西丸下屯所出張報告状	西丸下屯所 岩 田義知	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	432	3	不詳		1	22	状	1			意の如く用立不能なれど金一兩小山生より受取られたい返信状	南校 高崎富六	日新舎 牧野 莊次郎	
牧野 八郎左衛門	433	3	不詳				状 封筒	1			病氣見舞状	天外	牧野学契	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	434	3	不詳		6	17	状 封筒	1	封筒表書) 机下		病気見舞状	佐野	牧野	
牧野 八郎左衛門	435	3	不詳		8	12	状 封筒	1	封筒表書) 平信		明治8年頃より三菱会社入社 以来東奔西走今は山陰の寓居 にて月を見る様な近況報告 状	島根県境港三 菱会社 高崎巖	宝寿院跡 牧 野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	436	3	不詳		8	28	状	1			依頼の教員漢籍の力有る者な く、唯郡長に問合せて知らす べき返答状	角田忠雄	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	437	3	(初夏)		4	13	状	1			近況並に心の動き通知状	尋知住出忠 井 出正思か	牧(野) 成 行	
牧野 八郎左衛門	438	3	明治13年	1880	12	20	状 封筒	1	封筒表書) 至急信 書		新報移転の約定なれど種々の 理由により会計維持法方必至 と困難を生ずべく至急商条方 に於て集会をするので出席依 頼状	上田町 滝沢漸 外2名	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	439	3	明治15年	1882	3	20	状	1綴 89			牧野五位家投票証 代理投票 あり	片山量平外95 名	精業社	
牧野 八郎左衛門	440	3	明治24年	1891	10	2	状 包袋	1	包袋表書) 受取 成行		寛保2年水死精霊百五十四忌 法会義捐金額収証	小諸町寺院有 志係	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	441	3	不詳				状	1綴 8			諸受取証 No440と包袋に収 納	瀧澤漸 外	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	442	3	明治20年	1887	10	10	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促のため前田吉忠を代 兼願書 (442～457一括)	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	443	3	明治20年	1887	11	28	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促のため前田吉忠を代 兼願書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	444	3	明治21年	1888	1	24	豎半 (折)	10		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	445	3	明治22年	1889	2	25	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	446	3	明治21年	1888	2	27	豎半 (折)	4		代兼願	貸金催促のため前田吉忠を代 兼願書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	447	3	明治21年	1888	3	24	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	448	3	明治21年	1888	5	16	豎半 (折)	5		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	449	3	明治21年	1888	5	29	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	450	3	明治21年	1888	6	20	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	451	3	明治21年	1888	7	7	豎半 (折)	5		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	452	3	明治21年	1888	7	7	豎半 (折)	6		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	453	3	明治21年	1888	9	17	豎半 (折)	2		代兼願	貸金催促につき前田吉忠を代 兼願書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	454	3	明治21年	1888	12	20	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促に前田吉忠を代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	455	3	明治22年	1889	1	23	豎半 (折)	4		代兼願	貸金催促につき前田吉忠を代 兼願書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	456	3	明治22年	1889	2	18	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	457	3	明治22年	1889	3	11	豎半 (折)	1		代兼願	貸金催促を前田吉忠に代兼願 書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	458	3	明治21年	1888			状	16			貸金催促願係官別届け書 自 明治21年9月25日迄明治 21年12月14日	共報社 前田吉 忠	山本係官外 1名	要検討
牧野 八郎左衛門	459	3	不詳		10	5	状 封筒	1			当町桜井藤右衛門目下在宅の 様子返答状	望月町小林左 一郎	小諸町 中嶋 金之助	
牧野 八郎左衛門	460	3	明治20年	1887			状	1			明治19年7月1日共報社投票 にて拙者副幹事に任じたる事 の届書 (460～486一括)	共報社 片山量 平	岩村田治安 裁判所	
牧野 八郎左衛門	461	3	明治20年	1887	4	16	状	1			上田支庁にて長久保古町坂本 友仙病氣にて取扱延日の次第 控書	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	462	3	明治20年	1887	7	8	切紙	1		御届	商売にて諏訪外諸所出張届け書	西野入清次郎	望月町戸町 遠藤善九郎	
牧野 八郎左衛門	463	3	明治20年	1887	9	21	状	1		謄本御下与願	南佐久郡小宮山村鷹野京助の 謄本下与願下書	小諸町 前田吉 忠	-	要検討
牧野 八郎左衛門	464	3	明治20年	1887	12	7	状	1			布施村春原繁太東京寄留先調 書控	-	-	
牧野 八郎左衛門	465	3	明治21年	1888	1	13	状	1		公証閲覧願	田地公証閲覧願書控	共報社牧野成 行代理 前田吉 忠	望月町登記 所	要検討
牧野 八郎左衛門	466	3	明治21年	1888	3		状	1		大井庄右衛門ヨリ渡 事	布施村大井ふみ所有土地山林 取調書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	467	3	明治21年	1888	4		状	1		地所売買二付地券書 換願	地所売買に付地券書換願下書	牧野成行	北佐久郡長 師岡政拳	
牧野 八郎左衛門	468	3	明治21年	1888	4	14	状	1		地券書換二付奥印願	地券書換に付奥印願控	牧野成行代 前 田吉忠	望月町戸長 遠藤善九郎	
牧野 八郎左衛門	469	3	明治21年	1888	6	21	状	1		旅行御届	島根県出雲国仁多郡へ旅行許 可証	岩村田町 戸長 役場	岩村田町 吉 沢太市	
牧野 八郎左衛門	470	3	明治21年	1888	7	8	状	1		委任状	望月町飯塚桂三へ貸金請求に 関する委任状控	共報社 前田吉 忠	-	要検討
牧野 八郎左衛門	471	3	明治21年	1888	8		状	1		抵当取消願	無尽金番差入の抵当取消願書 写	追分村 土屋一 三 外2名	佐野義質無 尽担任	要検討
牧野 八郎左衛門	472	3	明治21年	1888	5	27	状	1		委任状	中山修三外一名を望月町桜井 藤右衛門外2名へ対し召喚状 送達の特委任状	共報社 前田吉 忠	-	要検討
牧野 八郎左衛門	473	3	明治21年	1888	10	5	状	1		寄留先退去届	寄留先望月町より原籍小県郡 滋野村へ退去証写	望月町戸長役 場	土屋常十郎	要検討
牧野 八郎左衛門	474	3	明治22年	1889			状	1		御受書	望月町に於て財産差押、売却 等に付戸長役場宛受書下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	475	3	明治22年	1889	1	31	状	1		委任状	大野治身へ望月町両沢武四郎 の不動産明示一件委任状下書	共報社 牧野成 行	-	要検討
牧野 八郎左衛門	476	3	明治22年	1889	3	12	状	1		財産公売願	望月町 常田新八財産公売願 下書	共報社 前田吉 忠	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	477	3	明治22年	1889	3	15	状	1		委任状	小林三平へ望月町常田新八財 産取調立会の件委任状	共報社 前田吉 忠	-	要検討
牧野 八郎左衛門	478	3	明治22年	1889	3	28	状	1			地所仮差押解除命令願下書	共報社 前田吉 忠	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	479	3	明治22年	1889	4	17	状	1			桜井熊六母かいより受取の一件 事情により（前田）吉忠自 宅へ行き若し話し不行届なら ば受取らねたい依頼状	望月町阿部元 三郎事為蔵	前田吉忠代 人 小林三平	要検討
牧野 八郎左衛門	480	3	明治22年	1889	5	10	豎半 (折)	2			望月町阿部元三郎外一名に係 る事件日延願書控	共報社 室賀定 吉	-	要検討
牧野 八郎左衛門	481	3	明治22年	1889	6	15	豎半 (折)	2			望月町阿部元三郎外一名に係 る事件日延願書	共報社 佐藤忠 敬	-	要検討
牧野 八郎左衛門	482	3	明治22年	1889	6		状	1		代人願	吉田三郎を以て代人願下書	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	483	3	明治22年	1889	6	22	豎半 (折)	2			貸金請求勧解願書	共報社 吉田三 郎	-	
牧野 八郎左衛門	484	3	明治22年	1889	6	21	豎半 (折)	6			勧解願一件吉田三郎を以て代 理委任状	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	485	3	明治22年	1889	6	28	状	1		代人願	吉田三郎を以て貸金請求事件 代人願書控	共報社 牧野成 行	岩村田治安 裁判所	要検討
牧野 八郎左衛門	486	3	不詳				豎半 (折)	1			小諸町小林直之助外26名貸 付控書 自明治14年6月21日 迄明治15年10月12日	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	487	4	明治13年	1880	5	23	状 包紙	1	包紙表書) 金百円	借入金証書	金百円借入金証書 (487～ 503一括)	中村散 外1名	共報社惣代 太田道一	要検討

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	488	4	明治17年	1884	5		絵図	1			小県郡長瀬村字町尻畑略図	-	-	
牧野 八郎左衛門	489	4	不詳				状	1		小諸銀行	貸金利子計算下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	490	4	不詳				状	1		金券	金五百円也貸付証書下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	491	4	明治16年	1883	12	10	状	1		証	小諸町平野五兵衛貸付金二百円滞延にて出訴に決したる処本人より申出で更新証書領収に付証書返附の旨下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	492	4	明治21年	1888	4	23	状	1		借入金証書	金30円借入金証書	御牧原出張 木村秀敏 外1名	東京 牧野康強	要検討
牧野 八郎左衛門	493	4	明治21年	1888	12	31	切紙	1		記	利子40円受取証	白樺山つや	共報社 牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	494	4	明治15年12月24日	1882	12	24	状 封筒	1			金200円借入金証書	大野治身 外4名	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	495	4	明治16年	1883	3	1	状 封筒	1			金40円 借入金証	高橋綱紀 外1名	共報社 牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	496	4	明治15年	1883	8	27	状 封筒	1			金百円借入金券	前田茂正 外2名	共報社社長 太田道一	要検討
牧野 八郎左衛門	497	4	明治15年	1883	10	20	状 封筒	1			借入金証書	大野治身 外4名	共報社社長 太田道一	要検討
牧野 八郎左衛門	498	4	明治21年	1888	5	16	状	1		承諾証	地所二口共報社幹事に抵当に差入承諾証下書	牧野成行代理 金井長則	岩村田登記所	要検討
牧野 八郎左衛門	499	4	明治22年	1889			状	1		借入金証書	金三千円借入金証書	共報社 牧野成行	第四十国立銀行上田支店	要検討
牧野 八郎左衛門	500	4	明治18年	1885	2	20	状 封筒	1			中村敢関る借入金整理のため諸事手続き掛け合い状	吉田景京	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	501	4	不詳				状	1		証	明治18年5月26日買約定の小県郡長瀬村畑地について此度金がないので解約に付整理の条件下書	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	502	4	明治20年	1887	10	31	状	1		特約証	借入金返済困難に付取極特約証	八重原村 田口馬之助 外1名	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	503	4	不詳		5	17	状 封筒	2			明治20年度、明治21年度前半期の租税報告書	塩川口郎	室賀	要検討
牧野 八郎左衛門	504	4	明治22年	1889	11		豎半 (折)	1		情願書	明治19年一ヶ年勤め度と雇はれたのであるが出入四年にちなり病氣差起り難渋に付家扶御受願い状	角田勝威	太田道一 外3名	要検討
牧野 八郎左衛門	505	4	不詳				絵図	1			牧野家旗産物五段梯子の図 尺寸入り	-	-	
牧野 八郎左衛門	506	4	明治13年	1880	1	23	豎半 (折)	1		拝借金証	金五千円拝借金証 (506～510一括)	鳥居義處 外5名	長野県令 橋崎寛直	要検討
牧野 八郎左衛門	507	4	不詳				豎半 (折)	1		地券	牧野成行所有土地9口地券写	-	-	
牧野 八郎左衛門	508	4	明治14年	1881	10	18	状	1		記	家屋現況通知状	牧野成行	小田中源兵衛 外1名	
牧野 八郎左衛門	509	4	明治17年	1884	6	26	豎半 (折)	1		地所売渡証	私所有地所小山久左衛門へ悉皆売渡したるに付下之城村分名前書替依頼状	柳田五兵衛	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	510	4	明治18年	1885	9	25	豎半 (折)	1		契約書	御牧原開墾地用水溜池の水大いに不足に付三本の堰中左右の堰廃し、一筋残りを残し、一周堅く守るべき契約書	牧野成行 外6名	-	
牧野 八郎左衛門	511	4	不詳		1	17	状 封筒	1			供平社の件瀧沢周梧君より通知委納承知のこと存じ、株主参集の件に付主唱者打合せのため日限確定次第御報に付尽力依頼状 (511～514一括)	信濃新報社 瀧沢漸	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	512	4	明治17年	1884	4	27	状	1		請取証	旧信濃新報社合併前後の負債金金150円にて請取り、該社に係る一切の計算は右にて皆済たる証書	南條村 瀧沢漸	牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	513	4	不詳		6	20	状 封筒	1			新聞社返金割合送金通知状	第19銀行長野 支店	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	514	4	不詳		12	23	状 封筒	2			会社（新報社）経営上の打合 せ並びに過般恩借金延滞の詫 ひ状	信濃新報社 □ 野助郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	515	4	明治3年	1870	10	23	横半半 (折目下)	1		藩士等級分際	藩士等級分際（515～527一 括）	-	-	
牧野 八郎左衛門	516	4	不詳				状	1			養生御暇願書下書	牧野八郎左衛 門	-	
牧野 八郎左衛門	517	4	明治13年	1880	12	24	状	1			金製飾物見積書 註純金254 匁とあり	-	-	
牧野 八郎左衛門	518	4	(元治元) 子年				状	1		奉願口上之事	退役願下書	牧野八郎左衛 門	牧野隼之進 加藤六郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	519	4	不詳				状	1		記	名所四ツ経289番荒田3畝歩 外22口書出し	-	-	
牧野 八郎左衛門	520	4	明治7年	1874	6		状	1		記	家禄奉還に付所賜の現米□□ 石奉還生活の資本金下賜願状 雛形	長野県貴属 小諸住士族 誰	長野県参事 橋崎寛直	
牧野 八郎左衛門	521	4	不詳				状	2			松本周防守康重公牧野康道へ 養子続柄書	-	-	
牧野 八郎左衛門	522	4	不詳				状	1			金円取集め並に支払差引書	-	-	
牧野 八郎左衛門	523	4	不詳		5		状	1			唐松苗木代金外請取書	御牧原開聖場	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	524	4	不詳				状	1		家続	家続並に当人続柄控書	牧野成行	-	
牧野 八郎左衛門	525	4	明治15年	1882	5	13	切紙	1		証	地券用紙の2枚代預り証	小諸町戸長 西 岡信義	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	526	4	明治15年	1882			切紙	2			書留郵便物請取証 自明治 15年11月13日 迄明治16年 5月16日	牧野成行	長野 衣笠弘	
牧野 八郎左衛門	527	4	不詳				切紙 包紙	1		藤の湯	「藤の湯」入湯券	-	-	
牧野 八郎左衛門	528	4	不詳		1	21	状 封筒	1			病氣見舞状（528～542一 括）	亀沢町 佐々木 道存	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	529	4	3月15日		3	15	状 封筒	1	封筒表書）親展		入院中共報社融通金に付逐一 掛合の次第報告状	亀沢町牧野内 佐々木道存	順天堂新室 第9号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	530	4	明治23年	1890	8	15	状 封筒	1	封筒表書）親展		東京にて在勤中の厚情に対す る礼並びに帰郷後留守家族の 報告及び入院中の様子知らせ の旨報告状	小諸町 角田勝 威	順天堂二階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	531	4	不詳		11	18	状 封筒	2	封筒表書）御親展		御二方家計に付打合せ並びに 康強公後見様学習院へ出頭幹 事と話合い、次いで康強公上 野発にて帰郷の旨報告状	牧野邸 角田 勝威	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	532	4	不詳		10	23	状 封筒	1	封筒表書）親展		・旧諸士家譜の書続 ・清遊 会々合並に松月楼家賃二ノ門 跡年貢 ・在京指能講習の件 以上見舞旁報告書	角田勝威 牧 野正発	順天堂二階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	533	4	不詳		11	12	状 封筒	1	封筒表書）当用		康強様出発来る20日の予 定、第一銀行より旧、新株書 換の件申来る。右連絡状	角田勝威	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	534	4	明治23年	1890	12	2	状 封筒	1	封筒表書）親展		御用立ての優先株券に付第八 回利子札切取持参の旨申来る に付連絡状	亀沢町 角田勝 威	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	535	4	明治23年	1890	8	7	官製葉書	1			予て内願の件帰郷早々沙汰願 状	牧野成行 (功) 小山 政道	亀沢町 角田 勝威 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	536	4	明治23年	1890	8	9	状 封筒	1			小諸より牧野成功、小山政道 よりのはがき転送案内状	亀沢町牧野邸 佐々木道存	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	537	4	明治23年	1890	12	16	状 封筒	1			牧野家御二方金子融通方遣り 繰り打合せ状	亀沢町牧野内 佐々木道存	順天堂新室 第9号 牧野 成道	
牧野 八郎左衛門	538	4	明治23年	1890	7	7	状 封筒	1			病氣見舞並に小諸豪雨災害報 告状	小諸町 牧野正 発	順天堂2階 16号室 牧 野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	539	4	明治23年	1890	6	14	状 封筒	1	封筒表書）親展		来る17日15銀行利子受取に 付、同日夕景迄に（依田）仙 右衛門様へ渡し度き旨報告状	（亀沢町）角 田勝威	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	540	4	明治23年	1890	7	18	状 封筒	1	封筒表書）親展		出京前内話の一条如何ほか、 定道（弟）不日沼津へ出向く 故内慮の程極内々に話される 様願う旨の様子伺い状	小諸 室賀定忠	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	541	4	明治23年	1890	6	13	状 封筒	1			康強公家扶懇請に付御請け承 諾状	小諸 佐々木道 存	順天堂南2 階16号室 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	542	4	明治24年	1891	3	6	状 封筒	1	封筒表書）親展		諸士家譜書組の件並に清子様 おき久様お住居の件に付篤と 勘考願い状	小諸 角田勝威	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	543	4	不詳				状	1			流行性感冒にて代りに糸井氏 を差出す故聞き取られ度く依 頼状（543～568一括）	各役	牧野	
牧野 八郎左衛門	544	4	不詳			27	状 封筒	1			残金50円請取挨拶状	大内重兵衛	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	545	4	明治23年	1890	10	30	状 封筒	1	封筒表書）親展		仲間の内若気の至りにて不都 合の挙動旧主家へは勿論、諸 君へ面目なき次第同家へ謹慎 申付、役取り成しの次第報告 状	小諸町 石川経 紀	順天堂新9 号室	
牧野 八郎左衛門	546	4	不詳		3	21	状 封筒	1			今日来客面談済まないので明 日参上する通知状	土内原町 塩川 修平	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	547	4	明治24年	1891	3	23	状	1			負債多額の事故返金はよくよく 決し、歎願見極めたく、兩 三日間御承引依頼状	室町名倉屋 塩 川修平	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	548	4	明治14年	1881	1	4	状	1			在宿の時時直に参上、使の返 事小生方へ出向かれた由、直 に帰宅するも居られず如何の 都合か伺い状	神田 小笠原久 吉	佐藤病院新 室第2階 （順天堂） 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	549	4	不詳		12	1	状	1			病氣見舞状	矢ヶ崎袈婆之 助	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	550	4	明治23年	1890	7	19	状	1			病氣見舞状	笠原茂吉	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	551	4	明治24年	1891	2	27	状 封筒	1			上京中世話になった礼と近々 家内上京に付世話依頼状	掛川市太夫	順天堂病院 新室 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	552	4	明治24年	1891	1	7	状 封筒	1			入院見舞状	戸倉村 坂井正 太郎 坂井寛 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	553	4	明治24年	1891	1	2	状 封筒	1			年賀並びに病氣見舞状	小諸町 木村秀 道	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	554	4	明治24年	1891	2	23	状 封筒	1			入院見舞状	日本橋友清方 増永辰三郎	順天堂新室 2階 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	555	4	明治24年	1891	1	1	状 封筒	1			新年祝詞	上田町小諸銀 行出張所 笠原 茂吉	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	556	4	不詳			18	状	1			第39銀行金券請取挨拶状	東京日本橋 大 内重兵衛	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	557	4	明治24年	1891	1	1	状 封筒	1			新年祝詞	上田町 柳原鐵 太郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	558	4	明治23年	1890	6	7	状 封筒	1			実印郵便にて送達案内状	日本橋本石町 大内重兵衛	佐藤病院順 天堂2階16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	559	4	明治23年	1890	12	12	状 封筒	1			入院見舞状	大磯町 嶺岸棟 太郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	560	4	明治23年	1890	10	3	状 封筒	2			入院見舞並びに横浜の為替相 場生糸外輸出の景況通知状	日本橋室町 名 倉屋方 塩川修 平	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	561	4	明治24年	1891	1	17	状 封筒	1			新年祝詞並に出京して勉強し たい故宜教く依頼状	小諸町 岩田茂 三郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	562	4	明治23年	1890	11	14	状 封筒	1			廻送の金円上田出張所へ金 550円共報届けとに渡してお いた返書	上田町 柳原鐵 太郎	順天堂 牧野 成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	563	4	明治24年	1891	1	4	状 封筒	1			新年祝詞	小諸 矢ヶ崎 婆之助	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	564	4	明治24年	1891	1	3	状 封筒	1			新年祝詞	麻布区 石塚重 平	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	565	4	不詳		10	23	状	1			金一円借用依頼状	(五十嵐) 義 知	牧野	要検討
牧野 八郎左衛門	566	4	明治24年	1891	2	6	状 封筒	1			金5円借用依頼状	下谷北稻荷町 依田弁之助	順天堂 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	567	4	明治23年	1890	9	2	状 封筒	1			病氣見舞並びに上京就職依頼 状	小諸町 岩田茂 三郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	568	4	不詳				状	2			勘定書	牧野	-	
牧野 八郎左衛門	569	4	明治23年	1890	1		状	1			家族入籍願いたい陳情書 (569～579一括)	角田勝威	太田道一 外 2名	
牧野 八郎左衛門	570	4	明治23年	1890	4	15	状 封筒	1			明日第一番にて帰国挨拶状	東京本石町佐 久屋 大井利助	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	571	4	明治23年	1890	4	16	状 封筒	1			帰国着挨拶状	上田町小諸銀 行出張所 大井 利助	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	572	4	明治23年	1890	4	7	状 封筒	1			本庄氏出京に付貴殿が東京に て本庄氏と懇談され度く依頼 状	小諸町 小林石 三郎	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	573	4	明治24年	1891	4	9	状 封筒	1			御尋ねの市村座は午前9時開 場の旨返事、並に向島に福松 を訪問開業以来好調の趣通知 状（松花より柳花宛となってい る）	東京本石町伏 見屋 大井利 助	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	574	4	明治23年	1890	4	8	状 封筒	1			本庄鐵宗氏を以て懇願の件一 万円位は出来ると思う故宜教 く依頼状	小諸町小諸銀 行 小林	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	575	4	明治23年	1890	4	5	状 封筒	1			小諸銀行よりの書状一通転送 状（末尾欠損）	東京本石町伏 見屋 大内重兵 衛	大磯松林館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	576	4	明治23年	1890	4	4	状 封筒	1			第一国立銀行為替戻一件に付 打合せ状	小諸銀行	本石町伏見 屋重兵衛 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	577	4	明治22年	1889	10	13	状 封筒	3			業務連絡状	小諸銀行 義路 欽一郎	順天堂16号 室 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	578	4	明治22年	1889	10	13	状 封筒	1			業務連絡状	上田小諸銀行 出張所 大井利 助	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	579	4	明治23年	1890	10	24	状 封筒	1			小諸銀行へ辞表差出した報告 状	上田町丸堀山 崎方 佐々木道 休	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	580	4	明治24年	1891	4	15	状 封筒	2			注文印章代請取証（580～ 583一括）	東京湯島切通 坂町 畑河雄	東京本石町 伏見屋 牧野	
牧野 八郎左衛門	581	4	明治24年	1891	10	9	状 封筒	2			弁償金一件債権取立に付委任 状捺印の上廻送依頼状	上田町 吉田代 言事務所	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	582	4	不詳				状 封筒	1			入院料請取通帳 自明治○年 10月3日 迄明治○年1月5日	順天堂	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	583	4	明治24年	1891	5	7	状 封筒	1			訴訟書類取付次第送達通知状	東京麹町丸山 代言事務所	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	584	4	不詳				状	1			若殿（名前不詳）元服祝目録 馬1疋・太刀など		-	
牧野 八郎左衛門	585	4	明治21年	1888	5	7	状 封筒	1			貸付金取立催促状（585～ 606一括）	塩川村石井 田 中泰蔵	小諸町 前田 吉忠	
牧野 八郎左衛門	586	4	明治21年	1888	11	3	官製葉書	1			-	-	-	
牧野 八郎左衛門	587	4	明治21年	1888	10	14	状 封筒	1			高野善作差引一件に付本月廿 日夕刻又は21日早天出頭通 知状	春日村 浅原秀 運	小諸町赤坂 前田吉忠	
牧野 八郎左衛門	588	4	不詳		1	27	状 封筒	1			大井好みへ対する貸金一件同 人昨日死亡に付返済見込み立 たざるに付仮差押え執行依頼 状	布施村 堂田賢 之助	小諸町 牧野 成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	589	4	不詳		2	5	状	2			堀込才吉借入金一件打合せ状	(布施村) 堂 田賢之助	岩村田町 前 田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	590	4	不詳		8	11	状 封筒	1			牧内伝次郎貸金一件打合せ状	上田町小諸銀 行 牧野成行	小諸町 前田 吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	591	4	明治21年	1888	4	10	状 封筒	1			八重原貸金一件外二口打合せ 報告状	依田寅太郎	岩村田出先 前田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	592	4	不詳		2	19	状 封筒	1			堀込、重田両名に係る事件に 付拙者眼病難渋に付一時願下 げ猶予願度の依頼状	依田寅太郎	岩村田町出 張先 前田吉 忠	要検討
牧野 八郎左衛門	593	4	明治22年	1889	1	22	状	1			小諸町共報社貸付金勧解願出 頭通知状	岩村田治安裁 判所	山部村 吉村 完蔵	要検討
牧野 八郎左衛門	594	4	明治21年	1888	5	2	状 封筒	1			明日八幡村へ罷越す通知状	協和村 比田井 澤右衛門	岩村田出先 前田吉忠	
牧野 八郎左衛門	595	4	明治21年	1888	9	19	状 封筒	1			共報社に掛る清吉、栗松貸金 一件打合せ状	協和村 比田井 澤右衛門	八幡村 依田 仙右衛門	要検討
牧野 八郎左衛門	596	4	不詳		11	23	状 封筒	1			依頼の調査事項報告書	協和村 比田井 澤右衛門	小諸町 前田 吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	597	4	不詳		7	7	状 封筒	1			裁判所にて取扱春原繁太より 小諸町銀行へ為替取組み、旧 円治兵衛に係る一件報告状	岩村田町 真嶋 良作 外1名	小諸町 前田 正義	要検討
牧野 八郎左衛門	598	4	不詳		11	25	状 封筒	1			至急相談し度い通知状	牧野成行	前田吉忠	
牧野 八郎左衛門	599	4	明治21年	1888	11	27	状 封筒	1			本月20日期限の借入金返済 日限猶予願状	望月町 土屋吉 右衛門	小諸町旧赤 坂 前田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	600	4	明治21年	1888	2	6	状 封筒	1			堀込氏へ貴社より係りの一件 打合せ状	依田寅太郎	共報社副幹 事 前田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	601	4	明治21年	1888	2	12	状 封筒	1			高野善治に係る件に付同人より 一週間程猶予願い出でたる に付連絡状	依田寅太郎	共報社副幹 事 前田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	602	4	明治21年	1888	1	29	状 封筒	2			市川弥太郎に対する貸金一件 当人日雇者にて当金二円差出 し、五円は新証として済方懇 願状	布施村 重田堅 之助	共報社副幹 事 前田吉忠	要検討
牧野 八郎左衛門	603	4	不詳		5	15	状 封筒	1			約定の金三円持たせてやる通 知状	牧野成行	前田吉忠	
牧野 八郎左衛門	604	4	不詳		7	17	官製葉書	1			鉄道敷買上代金に関する件再 応照会状	追分村戸長役 場	掛川登一郎 外2名	
牧野 八郎左衛門	605	4	不詳		2	22	状 封筒	1			例の指紙一条非常の尽力願は ねば29日の間に合はぬ故至 急手配依頼状	牧野成行	前田吉忠	
牧野 八郎左衛門	606	4	不詳		7	12	状 封筒	1			共報社借入金返済猶予依頼状	平野五兵衛	赤坂 前田吉 忠	要検討
牧野 八郎左衛門	607	4	明治23年	1890	6	29	状 封筒	2			大病後の腰痛入院見舞状 (607～616一括)	志賀村 神津国 助 神津千世	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	608	4	明治23年	1890	7	26	状 封筒	2			入院見舞状 追伸 病名「ア ブゼツ」に付福澤先生に尋ね た処腫物の総称とのこと	志賀村 神津国 助 神津千世	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	609	4	明治23年	1890	8	11	状 封筒	1			病気様子伺い状	志賀村 神津国 助	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	610	4	明治23年	1890	9	13	状 封筒	1			9月3日附来状の礼並びに風 雨水害後の作柄及び商況報告 状	志賀村 神津国 助	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	611	4	明治23年	1890	9	25	状 封筒	1			病気見舞並びに絵入新聞、面 白き雑誌絵本小説簡単な諸考 物等種々取交げ読覧される様 進め状	志賀村 神津国 助	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	612	4	明治23年	1890	11	27	状 封筒	1			病状伺い並に去る11月25日 国会開始日（第一回帝国議 会招集日）の賑やかな市中の様 子視察状	志賀村 神津国 助	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	613	4	明治23年	1890	12	20	状 封筒	2			病気見舞並に12月14日一大 事件発生の通知及び叔母様逝 去悔状	志賀村 神津国 助	順天堂佐藤 病院 牧野成 行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	614	4	明治24年	1891	1	17	状 封筒	1			其後の様子伺い状並びに旧歳 申上げの一大事件とは被告の 神津包重及桃井松郎にて我等 墓地及山林の松樹十余本採 墓碑を片付け松樹を伐り倒し たる報告状	志賀村 神津国 助	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	615	4	明治24年	1891	3	6	状 封筒	1			入院見舞並びに告訴一件予審 中の旨報告状	志賀村 神津国 助	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	616	4	明治24年	1891	3	29	状 封筒	2			入院見舞状	志賀村 神津国 助 神津千世	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	617	4	明治24年	1891	4	6	官製葉書	1			佐々木氏病状医者は安心とは 言はないがこの上変りがなけ れば持ちこたえるであろう様 子通知状 (617～620一括)	鳥居義行	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	618	4	明治24年	1891			切紙	2		記	勘定書 自明治24年2月26日 迄明治24年3月20日	-	-	
牧野 八郎左衛門	619	4	不詳				状	9		日本政府電信送達紙	電報送達用紙 自1月5日 迄12月9日	-	-	
牧野 八郎左衛門	620	4	不詳				封筒	11			文面なし 封筒のみ	-	-	
牧野 八郎左衛門	621	4	明治23年	1890	6	6	状 封筒	1			(順天堂佐藤病院へ入院に付 転送) 入院された事と思うが 模様如何か伺い状 (621～ 663一括)	小諸町 大井利 助	日本橋本石 町越前屋 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	622	4	明治23年	1890	6	10	状 封筒	1			入院後の模様知りたいので伺 い旁々入院中の費用の事。銀 行業務に付打合せ状	小諸 松花 (大 井利助)	順天堂第16 号 柳花 (牧 野成行)	
牧野 八郎左衛門	623	4	明治23年	1890	6	10	状 封筒	1			昨月井内子に面会の処心痛の あまり不眠にて病気になるか も分らない故手紙でも差出さ れ度く依頼外業務打合せ状	小諸 松花 (大 井利助)	順天堂第16 号 柳花 (牧 野成行)	
牧野 八郎左衛門	624	4	明治23年	1890	6	27	状 封筒	1			選挙戦報告並びに業況難渋の 報告書	小諸 (大井利 助)	順天堂第16 号室 柳花 (牧野成 行)	
牧野 八郎左衛門	625	4	明治23年	1890	6	28	状 封筒	1			銀行経営大困難つまり金庫に 金なく引出し人多くあり此の 苦境に陥落せんばかりの報告 状	小諸 大井利助	順天堂第16 号 柳花 (牧 野成行)	
牧野 八郎左衛門	626	4	明治23年	1890	6	30	状 封筒	1			用立金子調書の通りに付牧野 欽一郎氏より315円の証書領 収の旨報告状	小諸銀行 大井 利助	順天堂第16 号室 柳花 (牧野成 行)	
牧野 八郎左衛門	627	4	明治23年	1890	7	3	状 封筒	1			本日都役所にて衆議院の開札 あり箕輪氏当選。小県は堀内 賢郎と云ふ人 右報告状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号室 柳花 (牧野成 行)	
牧野 八郎左衛門	628	4	明治23年	1890	7	29	状 封筒	1			出京の節世話になった礼状	小諸銀行 大井 利助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	629	4	明治23年	1890	8	1	状 封筒	1			荷為替証書裁判中取纏れ、小 笠原代言人へ聞合せの上至急 報知依頼状	小諸銀行 大井 利助	順天堂第16 号室 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	630	4	明治23年	1890	8	4	状 封筒	1			五、六日の休み、別所温泉柏 屋喜右衛門方に投宿十一日帰 宅の旨報告状	上田町小諸銀 行 大井利助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	631	4	明治23年	1890	8	8	状 封筒	2			別所温泉入湯の報知状 附漢 詩七言絶句	別所柏屋 大井 利助	順天堂第16 号室 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	632	4	明治23年	1890	8	11	状 封筒	1			別所温泉入浴先より帰宅報知 書	別所柏屋 大井 利助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	633	4	明治23年	1890	8	14	状 封筒	1			来翰の返信並びに湯金に当惑 してばかりの業況報告状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	634	4	明治23年	1890	8	16	状 封筒	1			光岳寺内の博愛館一昨日棟上 並てに当所停車場取上げの風 聞ある旨の通知状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	635	4	明治23年	1890	8	22	状 封筒	1			金融緩慢にて景況沈静にて 又々渴金に至らばと不安報告 状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	636	4	明治23年	1890	9	3	状 封筒	1			松井田横川間線路破損にて荷 物停滯為替尻に波及し銀行條 令により談判聞きたる状況報 告状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	637	4	明治23年	1890	9	10	状 封筒	1			目下の貸越高の様子報告状	小諸銀行 大井 利助	順天堂第16 号室 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	638	4	明治23年	1890	9	15	状 封筒	1			上田出張の際交際上の開宴の 費用積って15、6円位にな り、無尽をして見たが終会間 近かの掛金集まらず、何卒 20円拝借依頼状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号室 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	639	4	明治23年	1890	9	19	状 封筒	1			他郷にありて事を成す。多少 の批評は見るべからず。勇氣 を以て其衝に当るより外策は ない。総べて柳花先生帰国迄 口外致さぬ約束。其外店況報 告状	小諸町 大井利 助	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	640	4	明治23年	1890	9	24	状 封筒	1			諸資金整理打合せ状 矢ヶ崎 喜四郎外	小諸銀行 大井 (利助)	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	641	4	明治23年	1890	9	30	状 封筒	1			頭取退身は難事ではあるが決 心の上は止むを得ざること、 株主中に於ても影響もあるべ く、就いては思いたる俟報知 状	小諸町 大井利 助	順天堂 新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	642	4	明治23年	1890	10	18	状 封筒	1			踏花氏一条に付報告状	小諸町 大井利 助	順天堂新9 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	643	4	明治23年	1890	10	30	状 封筒	2			10月29日午前4時頃本日欠席 中の佐々木君小刀にて咽喉を 突き破り自滅の次第報告状	小諸銀行上田 出張所 小林石 三郎	東京下谷御 徒町 太田道 一 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	644	4	明治23年	1890	11	19	状 封筒	1			△一件（店内の大事件であろ う）について報告状	小諸町 大井利 助	順天堂 新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	645	4	(明治23年)	1890	10	28	状	1			霜花情史一件柳花大兄規制迄 出勤に決定午後より執務致し 居る旨報告状	此花迂史（大 井利助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	646	4	(明治23年)	1890	12	9	状	1			有と上京一件、並に成行氏寝 衣の件報告状	此花生（大井 利助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	647	4	明治23年	1890	12	12	状 封筒	1			兼て注文の寝衣出来に付報告 状	小諸町 大井利 助	順天堂 新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	648	4	(明治23 年)	1890	12	15	状	1			銀行爆払並びに寝衣弁内子に 依托貴意に適するや覚束なき 旨報告状	此花（大井利 助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	649	4	明治23年	1890	12	18	状 封筒	1			寝衣の件並びに明春二日出来 の旨報知状（前半欠損）	上田町小諸銀 行 此花 大井 利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	650	4	明治23年	1890	12	22	状 封筒	1			寝衣並に爆払報知状	小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	651	4	明治24年	1891	1	6	状 封筒	1			上京出張中世話になった礼状	小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新9 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	652	4	明治24年	1891	1	24	状 封筒	1			鳩眼子打合せのため二、三日 上京の旨報知状	小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	653	4	明治24年	1891	1	28	状 封筒	1			東京の弟に買物をさせ度いの で三円貸してやって欲しい依 頼状（前半部欠損）	上田小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	654	4	明治24年	1891	2	6	状 封筒	1			上田地方不景気の旨報知状	小諸町 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	655	4	明治24年	1891	2	17	状 封筒	1			営業につき近況報告状	上田小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新9 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	656	4	明治23年	1890	2	26	状 封筒	1			市村座看劇の感想伺い状（前 半欠損）	上田町 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	657	4	明治24年	1891	3	16	状 封筒	1			過般依頼の紙入の件並びに岩 松氏帰国に付報知状	小諸町 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	658	4	明治24年	1891	3	23	状 封筒	1			依頼の種々受取りたる礼状	上田町 此花 大井利助	順天堂新9 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	659	4	明治24年	1891	3	23	状 封筒	1			若松帰国に付諸事報知状	上田町 此花 大井利助	順天堂新9 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	660	4	明治24年	1891	2	12	状 封筒	1			晴村氏明朝上京の旨通知状	上田町 此花 大井利助	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	661	4	不詳		7	24	状 封筒	1			懇願の件聞届けられた礼状	大井利助	順天堂 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	662	4	不詳		8	29	状	1			小諸地方商況沈静したがって 金融も緩む様に覚え、その内 に変動もあるべき通知状（前 半欠損）	此花（大井利 助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	663	4	不詳		7	24	状 封筒	1			金十円借用依頼状	越後屋 此花 大井利助	佐藤病院南 二階16号 柳花 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	664	4	明治23年	1890	6	9	状 封筒	1			両三日中に東京へ出立のつち り並びに製糸家及養蚕家の景 況報知状（664～682一括）	小諸町 太田道 一	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	665	4	明治23年	1890	8	5	状 封筒	1			両三日大磯へ旅行尚又明日よ り両三日野州地方へ旅行に付 訴訟並びに名古屋の件夫々手 配に付報知状	神田 小笠原久 吉	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	666	4	明治23年	1890	8	14	状 封筒	1			御問合せの指訴一件暑中にて 休日中故如何とも致し難い返 答書	鍛冶町 小笠原 久吉	順天堂南16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	667	4	明治23年	1890	8	1	状 封筒	1			金30円也送金案内状	小諸銀行本店 大井（利助）	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	668	4	明治23年	1890	7	5	状 封筒	1			強雨にて諸河満溢赤坂下町辺 は屋根端泥水に浸され、鉄 道中断。青田、車屋流失の非 常の災害報告状	小諸銀行	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	669	4	明治23年	1890	7	8	状 封筒	1			上田裁判所に於ける様子報知 状	小諸銀行 大井 （利助）外1 名	順天堂第16 号 牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	670	4	明治23年	1890	7	10	状	2			非常の渴金に付此の際一分乃 至5厘を増割り、人氣を挽回 したらとの意見書	小諸銀行	太田道一 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	671	4	明治23年	1890	7	16	状 封筒	2			小諸銀よりの利益金配当外報 告状転送通知状	御徒町 太田道 一	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	672	4	明治23年	1890	7	17	状 封筒	1			別紙約定書御先に調印した が、調印の上三九へ送付依頼 状	下谷御徒町 太 田道一	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	673	4	明治24年	1891	1	12	状 封筒	1			業務上連絡状	小諸銀行 此花 （大井利助）	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	674	4	（明治24 年）	1891	1	12	状	1			損金勘定報告書送達状並びに 本店にて株主総会異論なく済 んだ模様の報知状	上田町 此花 （大井利助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	675	4	明治24年	1891	2	20	状 封筒	2			一月以後業務景況書送達状	小諸銀行	順天堂新9 号 牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	676	4	不詳		7	20	状 封筒	1			申越しの件に付本日参上する 旨の通知状	神田 小笠原久 吉	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	677	4	明治24年	1891	1	11	状 封筒	1			南佐久郡野沢村三塚の田、宅 地仮差押に付打合せ状	南御牧村 依田 仙右衛門	順天堂新9 号室 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	678	4	明治24年	1891	2	21	状 封筒	1			名古屋小山一件首尾能く判決 になり謝金請求状	麹町四番町 丸 山名政	下谷区御徒 町 太田道一	要検討
牧野 八郎左衛門	679	4	明治24年	1891	1	31	状 封筒	1			本店詰の者出張所へ出張の節 滞在日当の計算方法確定の上 通知依頼状	小諸銀行 大塚 宗助	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	680	4	明治24年	1891	3	5	状 封筒	1			宿にて印形見失いたる事により 種々手数をかける詫び状	小諸 大塚宗助	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	681	4	明治24年	1891	3	13	状 封筒	1			改印届をした報告並びに株主 中四名担保として財産差押の 手続きに付打合せ状	小諸銀行 大塚 宗助	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	682	4	明治24年	1891	3	31	状 封筒	1			4月3日より二週間暇願状	小諸 大塚宗助	順天堂新9 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	683	4	明治23年	1890	7	9	状 封筒	1			市町、地所家屋の件伊藤氏へ 談示済、並に佐々木氏上京費 用20円借用方指図依頼状 (683~704一括)	小諸町 牧野欽 一郎	順天堂第16 号室 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	684	4	明治23年	1890	7	9	状 封筒	1			上田町地所買入ある由五百円 位のこと確答得き由に付伺 い状	小諸町晴村 牧 野欽一郎	順天堂第16 号室 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	685	4	明治23年	1890	7	16	状 封筒	1			時計、代金御立替の分送金挨拶 並に総会には投票及び割賦 金受取方代理致す置く旨通知 状	小諸町晴村 牧 野欽一郎	順天堂南二 階16号 柳 花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	686	4	明治23年	1890	7	29	状 封筒	1			先頃水害にて破損の七五三 掛ヶ墓地費用亀沢町様より金 15円15銭恵与の旨報知、並 に共存会地所損害費用は馬場 町より委細通信ある旨の通知 状	小諸町晴村 牧 野欽一郎	順天堂16号 柳花 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	687	4	明治24年	1891	7	31	状 封筒	1			博愛館株金第二回持込に付伺 状	小諸町 牧野欽 一郎	順天堂第16 号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	688	4	明治23年8 月14日	1890	8	14	状 封筒	1			角田氏帰国の節御後室様より 預り金利子金40余円催促あり たるに付如何すべきか指図 依頼状 附牧野正発見舞状	小諸 牧野欽一 郎	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	689	4	明治23年	1890	9	1	状 封筒	1			此頃の大風にて旧主様持の城 内立木6尺回り以上丈け5、6 間の物3本程損木生じ取計い 指図依頼状	小諸 牧野欽一 郎	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	690	4	明治23年	1890	9	7	状 封筒	2			上田町地所家屋に付塩川修平 より別紙の通り報告に付指揮 依頼状	小諸 牧野欽一 郎	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	691	4	明治23年	1890	9	11	状 封筒	2			入院費用送金通知並びに上田 町地所家屋売買打合せ状 附 牧野正発病氣養生願書に大利 入院話し相手の出来たるを何 寄と視察状	小諸町 牧野欽 一郎	順天堂第16 号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	692	4	明治23年	1890	10	12	状 封筒	1			送金通知状	上田 牧野欽一 郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	693	4	明治23年	1890	11	12	状 封筒	1			上田地所家屋本日退去致させ 柳原氏の尽力にて現状の仮引 取りたる報告並びに共報社事 件外三件報告状	小諸晴村 牧野 欽一郎	順天堂新室 9号 柳花 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	694	4	明治23年	1890	11	13	状 封筒	1			上京の御指図目下の処決定致 し兼ね、何れ沈氏帰国の上と 承知依頼状	小諸町晴村 牧 野欽一郎	順天堂新第 9号 柳花 牧 野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	695	4	明治23年	1890	11	14	状 封筒	1			上田地所代金に付申越しの通り致すべき返答書	小諸町晴村 牧野欽一郎	順天堂 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	696	4	明治23年	1890	11	17	状 封筒	1			都合宜教ければ来る21日出立上京致し度く指図依頼状	小諸町晴村 牧野欽一郎	順天堂新室第9号 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	697	4	明治23年	1890	11	20	状 封筒	1			来る23日出発と略取定めたるに付報知状	小諸町晴村 牧野欽一郎	順天堂新室9号 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	698	4	明治24年	1891	1	7	状 封筒	1			兩人上京は頭取一件である通知並びに不動産売買の状況報告状	小諸 牧野欽一郎	順天堂新室9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	699	4	明治24年	1891	1	8	状 封筒	1			申越された控訴費本日小笠原君へ送達する旨返答並びに同伴善一郎財産ある故控訴一時見合わせたら如何と通知状	小諸 牧野欽一郎	順天堂新室9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	700	4	明治24年	1891	1	10	状 封筒	1			岩村田鳥居叔父より康強殿分金50円至急送達の督促に付如何取扱うべきか指揮依頼状	小諸 牧野欽一郎	順天堂新室9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	701	4	明治24年	1891	2	24	状 封筒	1			依田寅太郎より土屋庄蔵へ貸金証書外に比田井助八郎より塩沢村小作証文が共報社にあるとの事であるが承知か伺い状	小諸晴村 牧野欽一郎	順天堂新室9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	702	4	明治24年	1891	2	25	状 封筒	1			貴兄町会議員の所、病氣にて一日の出席もないため議員辞勧告を申し入れられる様子。辞任の方得策と思はれる旨の勧告状	小諸町 牧野欽一郎	順天堂新室9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	703	4	明治24年	1891	3	5	状 封筒	1			古畑旧家敷地所一件に付石川氏より談示について意見申し越されたい依頼状（前半欠損）	小諸晴村 牧野欽一郎	順天堂新室9号 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	704	4	明治24年	1891	3	14	状 封筒	1			布施野金銀行へ係る□□村執行事件に対し、三百円の証書に対し利子訴訟費用凡見積り九百円程になり、金高大いに相違に付三百円の証書の外に証書があるか、伺い状	小諸町 牧野欽一郎 外1名	順天堂新室第9号 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	705	4	明治23年	1890	3	15	状 封筒	1			貴兄には越石地価にて二、三百円所有の趣。国会議員選挙上必要に付至急通知依頼状（705～720一括）	小諸町 牧野欽一郎	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	706	4	明治23年	1890	3	17	状 封筒	1			野生来月上旬出京に就ては宿元へ予め申し込みたい依頼状	小諸町 大井利助	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	707	4	明治23年	1890	3	18	状 封筒	1			要用出来、明朝必ず参上すべき通知状	下谷御徒町 太田道一	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	708	4	明治23年	1890	3	19	状 封筒	1			木村一件大失策仕り申訳ない詫書	小諸町 牧野欽一郎	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	709	4	明治23年	1890	3	20	状 封筒	1			来月四、五日頃出立のつもり通知並に小山一件報告状	小諸町 松花 大井利助	日本橋本石町伏見屋 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	710	4	明治23年	1890	3	21	状 封筒	1			懐古園御祭に打払筒材料士族地担任へ貰受けたく申出で、ついでには旧主様所有の松一本祭典故払下げ願度く聞入れ願状	小諸町 牧野成功 外4名	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	711	4	明治23年	1890	3	21	官製葉書	1			牧野成行殿出京にて小生に面会なられ度い由。明22日在宅に付光臨下されたい招待状	麹町三番町 乾新	亀沢町 角田勝威	
牧野 八郎左衛門	712	4	明治23年	1890	3	21	状 封筒	2			牧野公郎にて角田勝威氏之買物依頼のため金三円渡されたい依頼状 附右金渡した旨の返書下書	北大井村 小山立三	日本橋本石町伏見屋 牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	713	4	明治23年	1890	3	21	状 封筒	1			別紙通知状転送挨拶状	亀沢町牧野邸 牧野正発外1 名	日本橋本石 町伏見屋 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	714	4	明治23年	1890	3	22	状 封筒	1			野生等4月1、2日頃出立のつ もりに付宿約依頼状	小諸町 松花 大井利助	日本橋本石 町伏見屋 柳 花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	715	4	明治24年3 月24日	1891	3	24	状 封筒	1			懷古園神社例祭煙花催、松木 一本払下げの件拜謁願上げの 処御寄進の旨に付報知状下書	牧野成行	牧野成功 外 連中	
牧野 八郎左衛門	716	4	(明治23 年)	1890	3	23	状	1			御光臨の趣主人へ申聞しの処 明24日両君御光来の旨申付 けられたる故招待状	(麴町三番 町) 乾新	牧野成行 角 田勝威	
牧野 八郎左衛門	717	4	明治23年	1890	3	23	状 封筒	1			乾氏より別紙招待に付旅宿へ 参る故長職様宅へ同行願いた い連絡状	亀沢町 角田勝 威	日本橋本石 町伏見屋 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	718	4	明治23年	1890	3	29	状	1			旅行中の御さげん伺い旁子供 達の学業成績報告並び井戸堀 の様子知らせ状	(成行妻) 寿	(成行母) 母	
牧野 八郎左衛門	719	4	(明治23 年)	1890	3	29	状	1			子供達の学業成績報告並びに 井戸堀の様子其外返答書	(成行妻) 寿	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	720	4	(明治23 年)	1890	3		状	1			上京中の母へ旅行見舞状	(志賀村) (神津) 千世	母	
牧野 八郎左衛門	721	4	明治23年	1890	6	6	状 封筒	1			入院にて布団、掻巻差送る様 との事であるが、家族も心配 するかも知れぬ故、大先生診 察等済んでからにしては如何 か伺い状 (721~741一括)	小諸町 小林石 三郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	722	4	明治23年	1890	6	8	状 封筒	1			大河原一件経過報告状	小諸町 小林石 三郎	順天堂2階 第16号 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	723	4	明治23年	1890	6	11	状 封筒	1			布団外品々発送案内並びに留 守中尽力の勤務に付心配なく 治療専一に願ひ状	(小林) 石三 郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	724	4	明治23年	1890	6	27	状 封筒	1			大河原氏一件並びに沓掛源士 氏人蔭抵当貸付に付業況報告 且つ返書依頼状	上田町小諸銀 行出張所 小林 石三郎	順天堂2階 第16号 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	725	4	明治23年	1890	7	9	状 封筒	2			降雨水害報告並びに上半期本 店上田損益勘定書だけ出来に 付頭取宛送付報告状	小諸町 小林石 三郎	-	
牧野 八郎左衛門	726	4	明治23年	1890	7	18	状 封筒	1			賞与始め種々心付仰越された る書面に対する返答状	小諸町 小林石 三郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	727	4	明治23年	1890	7	23	状 封筒	1			小笠原氏一件取扱いの次第報 知状	小諸銀行 小林 石三郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	728	4	明治23年	1890	7	30	状 封筒	1			小諸に4千円外に3千円都合7 千円税約穴ある旨の話報告状	上田町小諸銀 行 小林石三郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	729	4	明治23年	1890	8	4	状 封筒	1			小諸4千円約定口掛りの次第 報告状	小諸町 小林石 三郎	順天堂2階 16号	
牧野 八郎左衛門	730	4	明治23年	1890	8	27	状 封筒	1			22日午後6時頃より強風雨 所々落橋確々十何ヶ所欠所出 来兩三日の内実体分り兼ねる 報告状	小諸町 小林石 三郎	順天堂2階 16号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	731	4	明治23年	1890	10	26	状 封筒	1			旧屋敷跡は高素（公祖か？） の地に付役所世話人荒増決定 等と申し居り、町長見込みは 旧宅寿院跡宣教と申居り、何 れ決定の上話しある等の旨報 告状	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	732	4	明治23年	1890	10	29	官製葉書	1			佐々木氏急病死去の電信あり たる旨通知状	下谷御徒町 太 田道一	順天堂 太田 道一	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	733	4	明治23年	1890	10	29	状 封筒	2			上田家屋550円にて売却出来 た旨の報告状（封筒消印は 11月4日附）	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	734	4	明治23年	1890	11	12	状 封筒	1			旧宅地一件に付町会より地所 譲られたい挨拶に付否や返書 依頼状	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	735	4	明治24年	1891	1	6	状 封筒	1			12月30日頭取よりの廻章達 し驚き居り、高計によれば大 損出来、銀行の立席にも関す ること、依田大塚両氏出京に て聞かれたことと思ふが頭取 意見により小生共辞表差出す 決心の旨報告状	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 第9号 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	736	4	(明治24 年)	1891	1	31	状 封筒	1			保証人兼保険人小笠原久吉君 と懇談に付本日診療済み次第 明神の春の家へ来率依頼状	小笠原（久 吉） 小林 （石三郎）	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	737	4	明治24年	1891	2	12	状 封筒	1			出訴受理にて帰宅報告書	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	738	4	明治24年	1891	3	4	状 封筒	1			名古屋一件に付手続に付不審 報知状	上田町小諸銀 行 小林石三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	739	4	明治24年	1891	3	20	状 封筒	2			第19銀行件並に名古屋件に 付いて小笠原氏の動向報知状	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	要検討
牧野 八郎左衛門	740	4	明治24年	1891	3	29	状 封筒	1			小笠原丸山両に係る名古屋件 実には不面目次第何れにも御帰 国指揮依頼状	小諸町 小林石 三郎	順天堂新室 9号 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	741	4	明治24年	1891	3	29	状 封筒	1			碓氷鉄道工事の略図迄明細記 載の国会新聞四、五枚買求め 帰宅の際持参依頼状（740に 同封）	小諸町 小林石 三郎	東京牧野成 行 気付 牧野 欽一郎	
牧野 八郎左衛門	742	4	明治23年	1890	4	17	状	1			上京中の厚情に対する謝礼並 びに伯母同伴無事帰着の旨報 告状（742～761一括）	小諸町 牧野欽 一郎	大磯駅松林 館 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	743	5	明治24年	1891	5	21	状 封筒	2			太田氏家扶仰付けられの礼並 びに有馬屋一条詳細報知状 附有馬屋清右衛門輕井沢出張 先の味噌等小諸酢久より仕入 れる様教える。	亀沢町牧野家 邸内 佐野常直	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	744	5	(明治24 年)	1891	8	15	状 封筒	1			新しい証券佐野常直、西島氏 より相廻る故旧証返上のごと 尚角権、大利、柳茂等商人 四、五名にて銀行創設の動静 通知状	太田道一	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	745	5	明治24年	1891	8	18	状 封筒	1			為替取組に付生糸備倉庫充滿 にて保管差支る故なる禍は取 組当分見合わせられたく、前 以て断り通知状（但乾満は差 支へなし）	前橋本町 第三 十九国立銀行	小諸銀行為 替掛	
牧野 八郎左衛門	746	5	明治24年	1891	9	9	状 封筒	1			小山一件書類中不足分至急廻 送依頼状	上田町 吉田代 言事務所	小諸町小諸 銀行 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	747	5	明治24年	1891	9	10	状 封筒	1			（康強公）診断書関節痺麻痺 斯にて二週間転地療養となっ ているが本月十日より向う五 週間と書替え進達依頼状	亀沢町牧野邸 内 佐野常直	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	748	5	明治24年	1891	9	14	状 封筒	1			地所替出願の件東京より委任 状戻り次第登記手続致し度く 連絡依頼状	岩村田 鳥居義 處	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	749	5	明治24年	1891	10	1	状 封筒	1			故康民公十年祭執行の下計画 通知状	亀沢町牧野邸 内 佐野常直	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	750	5	(明治24 年)	1891	10	26	状	1			塩川清之助家屋売却に付伺状	大塚（宗助）	牧野（成 行）	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	751	5	明治24年	1891	10	31	状 封筒	1			仰越された書類廻送通知状	上田町小諸銀行 笠原茂吉	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	752	5	明治25年	1892	7	12	状 封筒	1			小諸銀行常例総会通知状	小諸銀行	牧野成行、 共報社、有 為社	
牧野 八郎左衛門	753	5	明治25年	1892	7	12	状 封筒	1			小諸銀行常例総会通知状	小諸銀行	牧野康強	
牧野 八郎左衛門	754	5	不詳		5	30	状 封筒	2			貸金督促に当り河源貸金二万 二千円が当店の切迫もこれが 為であり、糸及人夢の況景報 知状	踏花 佐々木道 休	柳花 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	755	5	不詳		9	17	状 封筒	1			四、五日入湯願い並びに金繰 りの様子報告状	小林（石三 郎）	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	756	5	不詳		9	18	状 封筒	1			御牧原村登記が済んだら全部 の土地の地目反別至急通知依 頼並に療養願書と客体書と齟 齬しているため不都合に付確 と見定められたい依頼状	佐野常直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	757	5	不詳		9	23	状 封筒	1			奸物の奸術に対する取扱いに 対し遺憾の意を表すると共に 多額の貸付金回収に付陳述状	太田道一	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	758	5	不詳		10	13	状	1			踏花氏小言申し述べ到底出張 所詰め勤め兼ねるに付大兄帰 省迄堪忍致し居る旨報告状	此花（大井利 助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	759	5	不詳		12	30	状 封筒	2			金円届け証	上田小諸銀行 小林（石三 郎）	小諸銀行	
牧野 八郎左衛門	760	5	不詳				状	2			先生十月帰宅迄取立方尽力し て、業務上のためには生命を 顧みず尽す覚悟にて働く上申 書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	761	5	不詳				状	1			利子の内出張所負担分伺い状	此花（大井利 助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	762	5	（慶応2年）	1866	3		状 封筒	1			此頃中奸計一件処遇の次第 一、（加藤）六郎兵衛 七十 石減知塾居隠居 家督130石 馬廻。一、（村井）藤左衛門 十五石減知番頭格（反古に 候間可投火中候と記しあり） （762～776一括）	（康民）	-	
牧野 八郎左衛門	763	5	不詳		1	1	状 封筒	1			高三十石加増達状	遠江（康哉）	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	764	5	（慶応2年）	1866	9	29	状 封筒	1			隠居ではあるが内外多端の時 勢に付用部屋へ出席政事向相 談すべく。初30俵差遣し達 し状	遠江	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	765	5	不詳		12	23	状	1			退役願差留状	遠江（康哉）	牧野八郎左 衛門（成 澄）	
牧野 八郎左衛門	766	5	不詳				状 封筒	1			小金井源兵衛系図の大略	-	-	
牧野 八郎左衛門	767	5	不詳		6	17	状 封筒	1			与枝分知の節付人となり足輕 55人支配すべき直書（初代 牧野康成公直筆明治21年河 合良恭より賜わる）	牧野内膳正康 成	（小）金井 源兵衛	
牧野 八郎左衛門	768	5	宝暦11年	1761	12		状 封筒	1			家老職見習用人兼常加増20 石達書	（牧野康満）	牧野舎人	
牧野 八郎左衛門	769	5	（慶応2年）	1866	7	22	状 封筒	1			賊徒一件にて退職ではあるが 留守中心配故気の毒乍ら身分 其候にて家政向尽力致されたい依頼状	牧野遠江（康 民）	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	770	5	（慶応2年）	1866	11	21	状 封筒	1			政事向相談役仰付けられた祝 書	（康民公室） 久寿	（牧野）一 夢	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	771	5	(天保14年)	1843	1	1	状 封筒	1			20石加増達書	遠江(牧野康哉)	牧野八郎左衛門(成澄)	
牧野 八郎左衛門	772	5	天明7年	1787	1	22	状 封筒	1			新年賀状 附長岡出張謝辞	大阪加番 牧(野)内膳康陸	牧野八郎左衛門(載成)	
牧野 八郎左衛門	773	5	(慶応4年)	1868	2	18	状 封筒	2			京地人数(官軍)押寄り既に極切迫の形勢恐怖の至り、国の存亡にも関係する故此上共尽力依頼状	牧(野)遠江(康民)	牧野一夢 牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	774	5	(寛延3年)	1862	4	20	状 封筒	1			家老役申付加恩七十石達状	牧内膳正康周	牧野庄左衛門(成季)	
牧野 八郎左衛門	775	5	(天明7年)	1787	2	17	状 封筒	1			新年賀状	牧遠江康満	牧野八郎左衛門(載成)	
牧野 八郎左衛門	776	5	(文政13年)	1830	7	8	状 封筒	1			家老職見習申達書	遠江(康命)	牧野庄左衛門(成澄)	
牧野 八郎左衛門	777	5	不詳				状	1包			砥石城に米山城と云出丸あり。天文15年落城の節焼けた兵糧米なり。天明5年より240年也とあるから天明5年に採取されたものであろう。炭化米	-	-	
牧野 八郎左衛門	778	5	不詳				状	1			成の字名乗通り字にて当卯(享保8年)20才右名乗字考へられ度依頼。尤も指合文字康外17字	-	-	
牧野 八郎左衛門	779	5	(享保8年)	1808	11	21	状	1			名乗字認書進上挨拶状	金剛院 外1寺	小川甚左衛門	
牧野 八郎左衛門	780	5	(享保8年)	1808	11	22	状	1			名乗字進上挨拶状	小川甚左衛門	牧(野)一峯	
牧野 八郎左衛門	781	5	享保8年11月吉日	1808	11	吉	状 包紙	2	包紙表書) 御実名		実名命名書(成季) 附花押註 後 庄左衛門と改名	琢金	牧野伝右衛門成季	
牧野 八郎左衛門	782		寛政2年	1790	5	17	状 包紙	1	包紙表書) 起請文 牧野須磨丞	起請文前書之事	起請文	牧野須磨之丞 成寿	牧野八郎左衛門 稲垣源太左衛門	非収蔵
牧野 八郎左衛門	783	5	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		新年嘉書	遠江康哉	牧野八郎左衛門 牧野主鎗	
牧野 八郎左衛門	784	5	不詳				状	1			堀田相模殿書状の返書差出し度い故取計はれたい依頼状	遠州	(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	785	5	明治23年	1890	10	24	状 封筒	1			出張所勤めの動静報知状	上田町小諸銀行 此花 大井利助	順天堂新9号 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	786	5	明治23年	1890	7	5	状 封筒	2			父道存康強公に雇はれた礼状並でに出張所業況報告状	小諸町 踏花 佐々木道休	順天堂2階 16号 柳花 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	787	5	明治23年	1890	3	1	状	1			道路開鑿費として金二円寄附褒状	長野県知事 内海忠勝	小諸町 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	788	5	明治24年	1891	5	7	切紙	1			町税領収証	上田町収入役 田中忠七	小諸町 共報社	
牧野 八郎左衛門	789	5	明治19年	1886	6	5	状 包紙	1綴			牧野成行長女よし不幸諸書類	-	-	
牧野 八郎左衛門	790	5	明治17年	1884	2		横長半(折目下)	1			無尽金高書留状	-	-	
牧野 八郎左衛門	791	5	不詳				横長半(折目下)	5			牧野成行外勘定帳 明治19年頃より明治24年頃迄	-	-	
牧野 八郎左衛門	792	5	不詳		5	4	状	1			香寿院年回重の内頂戴の礼状(792~831一括)	(牧野)須磨允	祖父(一夢)	
牧野 八郎左衛門	793	5	不詳		9	26	状	1			御上謹慎御免の節は早速呼戻しの御沙汰願ひ状	(柏木村)(牧野)須磨允	祖父(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	794	5	(明治元年)	1868	12		状	3			忘息私用文通書尋ねる様の沙汰に対する口上書下書	牧野一夢	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	795	5	(明治2年)	1869	2		状	1			勝手向不如意にて武馬具始め 家財道具売払い度いが誰彼に 面会出来ず困却に付出会い御 勘弁、歎願口上書下書	牧野一夢	倉地四郎右 衛門	
牧野 八郎左衛門	796	5	不詳		9	19	状	1			御牧原農業の様子通知状	(牧野) 一夢	(牧野) 莊 次郎	
牧野 八郎左衛門	797	5	(明治3年)	1870	10	2	状	1			士族の等級分際(明治3年10 月23日) 当家先祖のお蔭で 最高の三等となりたるに付心 得る様通知状 附修業中乍ら 妻女のこと	(牧野) 一夢	(修業中) (牧野) 莊 次郎	
牧野 八郎左衛門	798	5	(明治2年)	1869	9	23	状	1			天朝よりの書付到来唯今各氏 御達にて八郎左衛門家跡御立 成下され、須磨丞殿穩慎に及 ばざる旨、決定祝い状並に加 藤以下賛同等報知状	山本伴右衛門	牧(野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	799	5	(明治2年)	1869	7	11	状	1			八郎左衛門不幸悔状	村上左兵衛	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	800	5	(明治3年)	1870	3	10	状	1			八郎左衛門不慮見舞状	中邨桃庵	牧(野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	801	5	不詳		3	5	状	1			柏木村へ隠栖見舞並びに莊次 郎君留学修業のため東京へ出 立の祝状	小嶽	(牧野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	802	5	不詳		11	17	状	1			八郎左衛門の死を悼み御家の 存続を悦ぶ挨拶並びに当世暮らし 向きの次第報知状	(倉地) 蔵人	(牧野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	803	5	不詳		6	9	状 包紙	3			尋書に対する返答書(加藤六 郎兵衛方の動静か)	木俣隠居(興 之進)	牧野(一 夢)	
牧野 八郎左衛門	804	5	不詳		(6)	15	状 封筒	3			千便報告中認め藩の名前報告 書	木俣隠居(興 之進)	牧野(一 夢)	
牧野 八郎左衛門	805	5	(明治2年)	1869	7	25	状 封筒	1			加藤六郎兵衛外呼出しの様子 報告状(註 判決は明治2年9 月20日附)	木俣(興之 進)	牧野(一 夢)	
牧野 八郎左衛門	806	5	(明治2年)	1869	6	11	状 包紙	1			加藤の所業我僣言語道断の至 り。刑法官により一日も早く 片付けられたい念願状	太田平馬	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	807	5	不詳		9	24	状 包紙	1			勉勞中激励の書	太田黄吉	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	808	5	不詳		7	17	状 包紙	1			業務(番頭席と外席との)上 打合せ状	(加藤) 六郎 兵衛	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	809	5	不詳		8	1	状 包紙	1			病氣引籠中書状遣された返書	(加藤) 六郎 兵衛	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	810	5	不詳	1869	12	1	状 封筒	1			須磨之丞様謹儀御免の祝辞 (註 須磨之丞謹儀御免は明 治2年9月)	永井真喜太	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	811	5	(明治2年)	1869	12	1	状 封筒	1			須磨之丞様謹儀御免帰参の機 会に老体の憤り愁心に対し慰 め、力付け状	永井真喜太	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	812	5	(明治元年)	1868	12	28	状	1			此間頂戴の口上書の件は町方 へ預けの書類差出しの節右に 口上書差添える様にとの事。 馬は廿兩にて世話、半金は上 納致し残り半金正月差上げる 報告状	倉地四郎左衛 門	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	813	5	(明治2年)	1869	4	22	状	1			先日御用箱御下げに成ったの で今日差上げる案内状	倉地四郎左衛 門	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	814	5	(明治2年)	1869	5	24	状	1			(捕らはれ中の者へ) 面会致 したい者の手続き方報知状	倉地四郎左衛 門	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	815	5	不詳	1868	1	15	状	1			長岡藩越後立退き、会津へ落 ち行き会津も又破れ一旦仙台 へ逃げそれより当所へ落着し たる報告状	(長岡藩士) 新井彦左衛門	牧(野) 一 夢 牧 (野) 八郎 左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	816	5	不詳		5	2	状	1			落城後仙台へ行き滞留の処 11月5日出立にて越後へ帰 り、住所へ落着迄の詳細報告 状	(新井)彦左 衛門	(牧野)一 夢 (牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	817	5	(明治2年)	1869	5	11	状	1			清八に託された書状にて御子 息様の悲報を知り一同悲歎 唯々好六の罪科を憎むばかり。 先達て新霊様百ヶ日の通夜 霊前へ御惜申上げ、衷心より 悔状(逮夜)	(新井)彦左 衛門	(牧野)一 夢	
牧野 八郎左衛門	818	5	不詳		5	12	状	1			八郎左衛門様斬罪の悔み状並 に長岡戦争の詳細報告状	新井清八郎	(牧野)一 夢	
牧野 八郎左衛門	819	5	不詳				状	1			賢息様(八郎左衛門)辞世拝 見仰付けられたるに付様子報 告状 註 当日とは斬罪の当 日即ち明治元年11月8日であ ろうか、筆者は牧野正発氏と 思はれる	(牧野正発)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	820	5	(明治2年)	1869	1	20	状	1			(牧野須磨之丞)東京林甫三 へ預けられるを悼み正月3 日より起たる伏見戦争より 初りたる諸国騒乱を心痛し、 傷心を慰め状	(牧野正発)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	821	5	(明治2年)	1869	1	21	状	1			刑法官より加藤六郎兵衛出府 の旨松代へ伝へ洩言を左右出 立せざるに付強く言はれる、 等事件取調べの詳細報告状	(牧野正発)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	822	5	(明治2年)	1869	2	1	状	1			柏木にては次の間に番人が居 ては一々話も出来ず、又当方 にて夜分裏へ参り立聞等され 実に奸徒の言語を絶する所 為報告状	(牧野正発)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	823	5	(明治2年)	1869	2	24	状	1			忘息様辞世の句拝誦致して、 尊靈に捧げ、御笑い草に愚首 呈上挨拶状	(牧野正発)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	824	5	不詳				状	1			御備並びに御見舞として金百 正及び家内手製のお茶一袋呈 上の挨拶状	(牧野正発)	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	825	5	(明治2年)	1869	4	22	状 封筒	1			御用箱並びに風呂敷包御下げ 渡しの際の一部始終報告状	鳥場町 牧野 (牧野隼之 進)	牧(野)老 人(一夢)	
牧野 八郎左衛門	826	5	(明治2年)	1869	4	22	状 封筒	1			神戸初三人の衆格別の決心に て(3月17日)歎願のため出 京、当節は調中と遠察。実に 感服の次第、又、去る11日 隣家倉地氏呼出にて御用等下 げ渡されたるに付御手許へ差 上げるか、伺い状	牧野隼之進	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	827	5	(明治2年)	1869	4	27	状 封筒	1			香寿院様年回に付回向料差出 され、尚御尊霊様へ御備思召 されたるに付前裁のもの差上 げた処重の内下された礼状	牧野隼之進	牧御隠居 (牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	828	5	(明治2年)	1869	4	27	状 封筒	1			一、御用箱明け條一条 一、 新川刑法官の差図の者か三名 本町本陣止宿所々聞き歩き の件、 一、野菜物遠慮な人仰 付け次第届けること、 以上 報告書	鳥場町 牧野隼 之進	牧野御隠居 (牧野一 夢)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	829	5	(明治2年)	1869	5	20	状 封筒	1			大監察より呼出し、各氏に求馬より妻子は近親へ罷越しても苦しからず、又忤学問兼稽古事差出しても苦しからず。当人は是迄通り謹慎の旨達し、 右 報告状	謹慎 叟 牧野 隼之進	御●●御隠 居（牧野一 夢）	
牧野 八郎左衛門	830	5	(明治2年)	1869	9	26	状 封筒	1			一、天朝より隼之進謹慎に及ばざる旨仰渡される。 一、須磨之丞様天朝より御家跡御立成らるべく仰渡される。 一、大監察より須磨之丞様へ家族直ぐ藩内へ呼戻すべき処殿様謹慎申しに付其俟差置くこと。 以上報告状	牧野隼之進	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	831	5	(明治2年)	1869	9	27	状 封筒	3			唯今（暮二ツ時前）大監察より呼出各氏差出の処家族藩内呼入れのこと引直しにて金各々都合次第親類方へ引取苦しからずとの達し。但荷物は日中引取は遠慮する様にと。 右 報告状	牧野隼之進	牧尊大人 （牧野一 夢）	
牧野 八郎左衛門	832	5	不詳		1	7	状	1			長岡戦に敗れ会津若松城にて戦い仙台に落ち、それより長岡へ帰り町家仮宅に到る迄の歴戦の報告状	-	-	
牧野 八郎左衛門	833	5	(明治2年)	1869	3	1	状	1			賢息様重刑罪の悔み状並びにその節京都勤務中にて何も出来ず此の正月東京詰となったが来月17日内存ありて御役御免目下懐中にて何も出来ない詫ひ状	(牧野隼人)	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	834	5	(明治2年)	1869	5	16	状	1			浪々中見舞の重差上げ並びに番人付置かれる由にて無沙汰詫状	-	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	835	5	(明治2年)	1869	7	21	状	1			新盆見舞差上げ並びに番人廃せられた御様子承り状	-	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	836	5	不詳		8	16	状	1			忤が須磨之丞様の学問の御世話申上げる迎厚礼賜り恐れ入る挨拶並びに版籍の意味通知状	-	(牧野一 夢)	
牧野 八郎左衛門	837	5	不詳				状	1			忤の書類、手控類又は私用文通取調べに対する所見返答状下書	(牧野一夢)	-	
牧野 八郎左衛門	838	5	不詳				状	1			小倉大参事以下4名の者奸計邪謀を巡らす大奸臣である旨の張札写	-	-	
牧野 八郎左衛門	839	5	不詳				状	1			(牧野) 成道ぬしを悼み 短歌一通	重守	-	
牧野 八郎左衛門	840	5	(明治2年)	1869	8	23	状	1			落城により仙台迄落のび艱難辛苦の労り状下書	(牧野一夢)	(新井彦左 衛門)	
牧野 八郎左衛門	841	5	慶応元年5月 13日	1865	5	13	状	1			思ひ付いたままに退役憤等の回想一、二発位発砲したら良かったか等 今は馬を処分すれば十両位にはなるだろうとか、諸事連絡状（841～882一括）	(牧野) 八郎 左衛門	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	842	5	慶応元年	1865	6	16	状 封筒	2			薦太暑気あたり、信君養子一件、馬飼料、膳所家士謀反一条等々連絡状	(牧野) 一夢	牧野十郎兵 衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	843	5	慶応元年	1865	7	26	状	1			町方にて此の度の浪士一条（加藤）六郎兵衛が格別骨を折ったのに十郎兵衛は本家へ取り入り（加藤）六郎兵衛を貶したとの噂あるに付通知状	（牧野）一夢	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	844	5	（慶応元年）	1865	8	8	状 封筒	2			本家重役家に対する態度、当藩にてしっかりした人物、宇忠太免罪一条、奸物組の面々、買物塩せんべい力皮、畑作物収穫等々の通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	845	5	慶応元年	1865	11	16	状 封筒	1			芝生田村出源十召抱の件、岩槻に良馬一匹あるに付手馬取替え度い一条、我等再勤の一条等詳細打合せ状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	846	5	（慶応元年）	1865	11	18	状	1			前便申上げの芝生田村源十は調べた処肥も担がず、飼葉も切らずお膳がまけもしない困り者との事故勘考依頼状	（牧野）一夢	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	847	5	慶応元年	1865	12	23	状 封筒	2			古畑氏おふくろ死去の件、水戸浪士通行に付本家極秘一件、馬の勧告 等通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	848	5	慶応2年12月23日	1866	12	23	状	1			古畑氏おふくろ死去に付香典遣されたい依頼状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	849	5	慶応2年	1866	1	23	状	2			馬の様子売却代金共報告、真木蔵人縁談故障破談一条等報知状	（牧野）一夢	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	850	5	慶応2年	1866	1	28	状 封筒	1			中間召抱の事、馬乗り方に付一言、御休息一条に付奥方様男子も及ばぬ貞女に入らせられる事等通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	851	5	慶応2年	1866	2	4	状	3			宇忠太一条は本家より沙汰無きも、本家の沙汰と評議せし一条、兩名（隼之進、六郎兵衛）は七十石減知隠居慎親子兄弟の外面会差留、以上の件に付詳細意見申述状	（牧野）一夢	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	852	5	慶応2年2月24日	1866	2	24	状 封筒	1			当20日到着の手紙により長い間の奸計略露顕、何よりの証拠となり、斯迄心痛ではあるが何卒穩便に取計れ度く申合せ居るとの事。六郎兵衛は申すに及ばず隼之進も先祖の心中遺憾と察し、是迄無瑕の家を汚し両勝兵衛亡霊残念と察し状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	853	5	（慶応2年）	1866	3	11	状	1			元禄15年信州小諸へ所替の節廟所手入回向料として萱野一町歩寄附致し置きたる処旧日記申伝えもあるが村名場所字書委細不分明に付其村方役元に地所進退願い状下書	牧野十郎兵衛	（越後与板）長命寺	
牧野 八郎左衛門	854	5	慶応2年	1866	3	14	状 封筒	1			3月10日村井藤左衛門跡屋敷へ引越の一部始終報告書 一、菓子類方々より到来 一、手伝人50余 一、引越中与板長明寺より便僧到来	牧野一夢	牧野十郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	855	5	慶応2年	1866	3	23	状 封筒	5			3月18日後平村福正院へ花見 に行帰路太田氏一封にて牧野 隼之進、加藤六郎兵衛、村井 藤左衛門三名出仕差留申し達 せられる旨通知。以下詳細通 知状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	856	5	慶応2年	1866	3	27	状 封筒	1			家老職人選に付太田氏（道 一）、今一人は貴殿（十郎兵 衛）と申す運びと思ひ、又其 外用人以下の予想詳細申し達 し状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	857	5	慶応2年	1866	3	30	状 封筒	3			土蔵普請費用報告、並に山椒 芽送る故奥様へ上げられたい 依頼、家老商人欠ける故太田 氏と双方同日頃か。早ければ 一先づ帰邑すべき処一道中七 両もかかる故明年早々帰邑し たらと意見状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	858	5	慶応2年	1866	4	2	状	1			君公行状殆ど当惑の至り、時 世等には少しも心を用いざる 儀誠に恐れ入る次第。煙草は 荒町長三郎事久左衛門世話に て調べ、下値の趣。郷土河原 石井新聞桑畑等手離れ。等々 報告状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	859	5	慶応2年	1866	4	6	状 封筒	2			信之助石養子一条詳細打合せ 状	太田宇忠太	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	860	5	慶応2年4月 7日	1866	4	7	状 封筒	1			郷土河原原始川手組村々普請 見分の報告並に江戸上屋敷類 の悔み状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	861	5	慶応2年	1866	4	8	状	3			江戸上屋敷類焼にて焼跡へ新 築より外なく総額五千両位に て済し度い内々報知。並に牧 野隼之進加藤六郎兵衛の様子 及び所置の内相談状	（太田）宇忠 太	（牧野）十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	862	5	慶応2年	1866	4	10	状 封筒	2			江戸上屋敷類焼の詳細一日も 早く待ち居る事、並に同姓隼 之進数代無暇に参りたる処何 れ暇が付く事になり残念至極 の通知状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	863	5	慶応2年	1866	4	23	状 封筒	2			類焼の詳細落手。上下一人も 怪我なく何より祝着の旨祝詞 並に諸事連絡状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	864	5	慶応2年	1866	5	9	状	1			牧野多門子欽之助医者の見立 て脾疳ではないかとのこと。 薬用も尽し、加持祈祷も十分 に行っても不治故亡母方の親 類へ預けたらと云ふ事で加藤 練之助方へ預け以上継母より 聞いたことの知らせ状	（牧野）一夢	（牧野）十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	865	5	慶応2年	1866	5	19	状	3			牧野多門子欽之助一条色々調 べた所継母の継子いぢめと判 明。この事が表に出ると多門 にも責任があり罪になるとい けない故別紙願書下書の通り 離縁内済に致したい通知状	（牧野）一夢	（牧野）十 郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	866	5	慶応2年間	1866	5	28	状	1			類焼にて江戸上屋敷焼失の処一日も早く殿様奥様家士一同の御殿向並に長屋建てたく第一策より第三策迄計画立て最良の策を選ばれたい献策状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	867	5	慶応2年	1866	5	28	状	1			多事多端の折柄（長州征討）進発の形勢の所、和睦等と実に幕威全く立たず、京都の模様宜教く、幕運も実に且夕に逼り歎息の至り。且又、此の頃の状態では尊公も如何立至るやも知れず案思庶子申開き状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	868	5	慶応2年	1866	6	6	状	1			太郎兵衛が私の落度を探索している旨宇忠太より通知あり。又馬役の者馬売買の差額又は飼料等にて私腹を肥す士魂のこれ有る間敷者ある故心得る様教諭状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	869	5	慶応2年	1866	6	8	状	1			暑中見舞並に多門子継母おしづ出立させたる通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	870	5	慶応2年	1866	6	24	状 封筒	1			長州征討長岡本家附属御供出陣は誠に不本意江戸屋敷類焼の折でもあり出征の費用も覚悟ない次第残念である。小生を覚悟にて意見申述べ度く存念である。家老跡役宇忠太と貴様に内定。是にて永の分れになるやも知れぬ挨拶状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	871	5	慶応2年	1866	6	25	状	1			明日は真木要人着に付定て委細承るべくと特に本家附属の件話しあるべくと待ち居り。金子は四千両ばかり、来四月迄には一万両も収納のつもり、概略通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	872	5	慶応2年	1866	6	28	状	1			真木要人故障延日明29日着の由。越後家根蔵蔵国より参り、家老にて夫人600人連れて長州へ出立の事。以上報告状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	873	5	慶応2年	1866	7	8	状	1			太田宇忠太家老職、勝手方、廿石加増となりたる由、此の度君公、御本家様事情承知御引直し仰付けられ有難いことである。この事は記録にも残り、汚名をそそぎ本望であり今日来ても遺憾ではない。隼之進家督軍治へ仰付けられるかも知れぬ。貴様家老になった故八郎左衛門と改名願いをする様通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	874	5	慶応2年	1866	7	10	状	1			真木要人退役願、出陣先へ又伺ふとは相成閑散事にて差留。長州合戦の次第は英国の形勢以の外憎むべき事である。実に徳川の興廃の時節である。君公上坂心配の至りの通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	875	5	慶応2年	1866	7	11	状	1			貴殿が家老になったので大雨について親歎出入りの者達大勢祝いに来られ、浪士一条文面引直しも披露大喜びの次第、次に八月発駕の君公板鼻にて落橋滞留となるべく心配の通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	876	5	慶応2年	1866	7	19	状	1			子供の三霊年四回忌法要略し取行う。君公川留にて未だ不着、先発神戸最仲今朝立、人馬不足にて馬一疋六兩人足一人五両との由、君公新町宿滞留一日二十五両の由、報告状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	877	5	慶応2年	1866	7	20	状	1			長州出陣中隠居の身分作ら出勤にて相談に預る様話があるが、隠居にて今迄に仰付られたのは加藤馨山と先祖の牧野直成軒の二人だけ故冥加の至りである。長防討手敗軍の模様。公方様大傷の由徳川滅亡も計り難い旨の報知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	878	5	慶応2年	1866	7	29	状	3			君公7月24日長州征討のため小諸発駕奥様変事に備え乗馬訓練又着坂当日より稲高兄晴両にかかわらず参詣、男子ならばさぞ明君の誉れをあげられたものと拝察される程の旨連絡状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	879	5	慶応2年8月2日	1866	8	2	状	1			公迎（家茂）薨御（7月20日）の由長防戦暫く見合せの由。田畑作毛五六毛にも参るべきや大坂入用如何なるか全く立済の様相。奥様馬の稽古金をかけられないので幕を張り間に合す。追手屋敗替の趣、普請の土蔵は払はざるを得ず以上通知状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	880	5	慶応2年	1866	8	6	状 封筒	1			隠居の余に内命（御用部屋にて相談に預る様）を蒙り有難きことである。加藤六郎兵衛申立する義ある由。長防合戦の信聞の写拝見。貴様改名願7月25日進達の旨承知。外諸事返答書	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	881	5	慶応2年8月11日	1866	8	11	状	1			明日より御用部屋へ出勤（家老の相談役として）大風雨風冷気続きにし平均作4分毛位か、中丸子村より鈴木大学参り平均三分作位とのこと天保7年以來の凶作の旨報告書	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	882	5	慶応2年	1866	8	26	状	4			薦太数々の悪事死罪に相当するが主人たる貴殿の勅命願あれば助るもの薦と御勘考願ひ度。薦太の代り左次郎差遣す旨。通知状	（牧野）一夢	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	883	6	巳年		2		状	1			御国益御開きの儀に付大切な条々申達書（883～921一括）	高崎郁母	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	884	6	(慶応元年)	1865	6	21	状	1			子4月2日六郎兵衛より八郎左衛門（一夢）と宇忠太が殿様を廃して信之助殿を立てようとの見込に付氣を付ける様と隼之進より殿様に話されたとの事故丑5月14日隼之進に此の事を話し、一体六郎兵衛の奸計と陰謀ではないかと申述べ貴所様は深く心配なされない様申述べた報告状	太田宇忠太	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	885	6	(慶応4年)	1868	3		状	1			4月15日～12月13日太田宇忠太出仕御免願其外6件書拔寛	牧野一夢	-	
牧野 八郎左衛門	886	6	不詳				状	1			内存にて出仕差止めの請書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	887	6	(明治元年)	1868	11		状	1			斬罪申付書写	-	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	888	6	明治元年	1868	11		状	1			真木要人外3名宗家脱走人潜伏一件に付斬罪仰渡しの書付写	-	-	
牧野 八郎左衛門	889	6	明治元年11月8日	1868	11	8	状	1			明治元年11月8日事件覚書	(牧野一夢)	-	
牧野 八郎左衛門	890	6	明治元年11月8日	1868	11	8	短冊	1			牧野成道辞世の歌（太田道一加朱筆）	牧野八郎左衛門成道	-	
牧野 八郎左衛門	891	6	明治元年	1868	11	9より	横半半 (折目下)	1			長岡脱走の武山貞右衛門潜伏一件より発したる事件のため柏木村小山又四郎方滞在中日記 自明治元年11月9日 迄明治2年6月22日	牧野一夢	-	
牧野 八郎左衛門	892	6	明治元年	1868	11	11	状	1			真木要人外3名宗家脱走人潜伏の罪により斬罪に所した旨の届書写（真当は11月13日附）	御名	辯事	
牧野 八郎左衛門	893	6	(明治元年)	1868	11	11	状	1			此程道中恙なく帰着、此度の一件嘸驚き悲歎のことと推察、（柏木）又四郎方にて逮夜致呉れ、海応院にて戒名良忠院劔峰義碓居士の旨通知状	(牧野)一夢	(牧野)須磨允	
牧野 八郎左衛門	894	6	明治元年	1868	11		状	1			朝廷刑法官監察司知事附属金沢雄之進参り余並においさに逢い尋ねられたる時の次第書	牧野一夢	-	
牧野 八郎左衛門	895	6	(明治元年)	1868	12		状 包紙	1	包紙表書）口上書扣		亡息私用文通御尋ねではあるが三御目付親類立会にて焼捨仰せ付けられたい願ひ口上書取	牧野一夢	-	
牧野 八郎左衛門	896	6	不詳				状	1			大事件後責任者処罰腹案写（殿様直筆の由）	-	-	
牧野 八郎左衛門	897	6	(明治2年)	1869	2	9	状	1			書状訳り兼ね甫三殿に読んで貰った由、嘸愁傷の旨推察、戒名差違す故拝礼すること。（京都より）持参のようかん金米糖妹千世も大喜びの礼状	(牧野一夢)	(牧野須磨丞)	
牧野 八郎左衛門	898	6	(明治2年)	1869	3	14	状	1			御懇命に叶ひ且つ御幽居の慰み迄に献ずる短歌三首	太田（宇忠太）	牧野（一夢）	
牧野 八郎左衛門	899	6	(明治2年)3月24日	1869	3	24	状 包紙	4	包袋表書）要用		御家の大事件に付存込みもあるので国家のため死を決し其筋へ歎願をしたのでもう再会は出来ない故暇乞状（拝借の書類返済同封）	神戸（最仲）	柏木村 牧野一夢	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	900	6	明治2年	1869	3	25	状	1			御家の大事件に付存込筋を国家のため其筋之歎願願書書写	神戸最仲	大監察	
牧野 八郎左衛門	901	6	(明治2年)	1869			状	1			先達て東京へ歎願のため出府されたるは身分、家をも捨て容易ではない忠誠心に対し金五両を添へ見舞口上書下書	(牧野一夢)	神戸笠原佐野家内衆	
牧野 八郎左衛門	902	6	不詳				状	1			此度の事件秘書等君公御身に及ぼし太政官より家政向取乱しの御不審なき様致し度いので、貴公御見込の秘書等心配なく上納依頼状	(牧野隼之進)	(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	903	6	不詳				状	1			太政官より家政取乱しの御不審なき様仕り度く。此の度大切の家来四人も死刑に仰付けられ養子隠居の外ない旨の通知状	(牧野一夢)	-	
牧野 八郎左衛門	904	6	不詳				状	2			当12日刑部省より公用人佐々木重左衛門呼出され事件以来慎の者名前取調差出す様沙汰に付直接差出しの控書写(註 佐々木重左衛門明治2年12月7日改名弘見)	-	-	
牧野 八郎左衛門	905	6	明治2年	1869	9	20	状	2			牧野従五位以下30名処置仰付られ写	太政官外	-	
牧野 八郎左衛門	906	6	(明治2年)	1869	9	24	状	1			君公昨年一件にて謹慎、総士門半開にて謹慎の処貴殿書付を以て慎御免、八郎左衛門家跡立ち直さるべき段仰出され、直ぐにても藩内へ引移り度いので打合せ依頼状	(牧野)一夢	(牧野)須磨允	
牧野 八郎左衛門	907	6	(明治2年)	1869	9	29	状	1			朝命にて御家跡も立てされられ、又須磨之丞様慎み御免となりたる旨の慶び状	牧野多門	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	908	6	(明治2年)	1869	10		状	1			御達しの覚 旧冬四人の斬罪の者不便に思召され篤く祭典致す様内意	刑部省	-	
牧野 八郎左衛門	909	6	(明治2年)	1869			状	1			斬罪についてのお達書について伺い度いことの条々	(牧野一夢)	-	
牧野 八郎左衛門	910	6	明治2年	1869	12		状	1			故報政牧野名を祭る文	太田道教	-	
牧野 八郎左衛門	911	6	(明治3年)	1870	2	2	状	1			本家家老稲垣平助殿一昨年小諸通行の節御合力亡息取計いの件に付牧野真清内願書下書	(牧野一夢)	-	
牧野 八郎左衛門	912	6	(明治3年)	1870	10	1	状	3			太田宇忠太先生の禁錮御免を恐賀奉る祝状 加藤六郎兵衛帰藩に付佐野角田岡君と三人にて誅殺し、三人の内一人割腹して刑部省及び藩庁へ謝罪する旨通知状	牧野莊次郎	牧(野)一夢	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	913	6	(明治3年)	1870	10	8	状	1			今孫君の紙面拝見、御志は赤穂遺臣の一挙と同じにて御身御姓名千歳凛乎たるは必然但しその事挙に至っては天下の大法もあり天裁を経たる上は何事も堪忍沈静が至当と存ぜられるに付進言状	(太田宇忠太)	(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	914	6	(明治3年)	1870	10	1	状 封筒	1			天朝にて兵庫へ楠公の宮造立寄附金集に付相談書(禁錮の者共御免となりたるはあきれ果て申し候)	(牧野)一夢	(牧野)莊次郎	
牧野 八郎左衛門	915	6	(明治3年)	1870	11	28	状 封筒	3	封筒表書) 要用		御依頼の事件の番人佐野可六聞書の遺言本日聞取りの旨報告状	山本杏園	牧(野)一夢	
牧野 八郎左衛門	916	6	(明治3年)	1870	11	28	状	1			御依頼に付一昨年事件の番人佐野可六に尋ねたく依頼せるも延び延びとなり、無理に寄んで来て聞いたが程過ぎたる故相違の虞もあるやも知れず別紙の通り報告状	山本杏園	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	917	6	(明治3年)	1870	11	28	状	1			(佐野) 可六聞取書入念拝見した所私認め中のものと大同小異語り同じ事柄ではあるが多忙にて認め兼ねる故御老人に宣教伝声依頼状	牧野多門	山本杏園	
牧野 八郎左衛門	918	6	(明治3年)	1870			状	1			一昨年末の情実繰々お話し致したいが聲高になるので御免を蒙り他日に譲りたい。要人手蹟にて六郎兵衛死罪相当の評議附札の品等心得のため後日御教示願ひ状	(太田宇忠太)	(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	919	6	不詳				状	1			小諸藩士名前書(註 牧野八郎左衛門外3名留置中の番人)	-	-	
牧野 八郎左衛門	920	6	明治17年	1884	11	9	状	1			牧野成道墓誌	太田道一	-	
牧野 八郎左衛門	921	6	不詳				状 一孔綴	1			牧野八郎左衛門葬儀(神式)の致し方	山田辯道	-	
牧野 八郎左衛門	922	6	(元治元年)	1864	6	5	状	1			太平山浪士(天狗党)六百人程常州下館(筑波山)へ押掛戦争初りたること並に江戸幕府の動静報告書	高崎郁母	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	923	6	(元治元年)	1864			状	1			賊徒(水戸天狗党)信州に於ける動静書留 自元治元年11月14日 迄元治元年11月23日	-	-	
牧野 八郎左衛門	924	6	(元治元年)	1864	12	4	状	1			常野州脱走賊徒討洩しに付差控伺書控	牧野八郎左衛門	-	
牧野 八郎左衛門	925	6	(元治元年)	1864	12	(14)	状	1			老年に付役儀赦免願書下書	牧野八郎左衛門	加藤八郎兵衛 真木權左衛門	
牧野 八郎左衛門	926	6	(元治元年)	1864	12	14	状	1			老年に付退役願書控	牧野八郎左衛門	牧野外巻小河九兵衛	
牧野 八郎左衛門	927	6	(慶応元年)	1865	4	29	状	2			賊徒通行事件に付不都合の取計いにより退役命令書写	-	(牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	928	6	(慶応元年)	1865	4	29	状	1			御用に付名代差出通知状	小河石忠次	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	929	6	(慶応元年)	1865	4	29	状	1			退役仰付けられたるに付一部始終知らせ状	(牧野)八郎左衛門	(牧野)十郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	930	6	(慶応元年)	1865	5	3	状	1			父八郎左衛門旧冬賊徒一件に付退役償仰付けられたるに付差控伺書控	牧野十郎兵衛	-	
牧野 八郎左衛門	931	6	(慶応元年)	1865	5	5	状 包紙	5			牧野八郎左衛門成澄退役仰付けられたる節忒十郎兵衛よりの書状	牧野十郎兵衛	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	932	6	(慶応元年)	1865	5	17	状 包紙	2			旧冬脱走賊徒一件並に故篤信院様へ正義云々建言の偽り一件に付き去月29日の処置は承伏出来ない旨の極密書	太田宇忠太	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	933	6	(慶応元年)	1865	5	21	状	2			去月29日脱走賊徒一件処置済に付見舞状（前部少々欠損）	(手川) 清八郎（井出）彦左衛門	(牧野) 八郎左衛門（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	934	6	(慶応元年)	1865	5	3	状	1			賊徒一件に付先日の処置口達の書取文面に総て不都合等閑の筋との文意不明に付本多駒五郎外一名召捕の一事如何に解すべきか伺いたい覚書下書	太田宇忠太	村井藤左衛門	
牧野 八郎左衛門	935	6	(慶応元年)	1865	6	21	状	2			加藤六郎兵衛より「高崎郁母が信之助殿の養子見合はせるとの発言」を聞かされ一騒ぎの一件報告状	太田宇忠太	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	936	6	(慶応元年)	1865	7		状	2			旧冬賊徒領分通行の砌の処置総て不都合の取計い等閑の筋とあり文義不明瞭に付その辺の事実伺い度い願状写	(牧野十郎兵衛)	-	
牧野 八郎左衛門	937	6	(慶応元年)	1865	7		状	2			太田宇忠太が去秋中（長岡）鏡心院様参府の砌田中宿へ使者として罷出の節（安田）多膳様へ長州鼎肩とか正義を唱えたとかにて篤信院（康哉公）も立腹なされ宇忠太を隠居との仰せが今頃遺言として加藤六郎兵衛が持出されたるは疑しい故真実の処伺いたい願状写	牧野十郎兵衛	-	
牧野 八郎左衛門	938	6	(慶応元年)	1865	8	27	状	1			私退役願差留にはなつたがその趣意柄に於て忍ぶ事が出来ないで口上書を以て伺いのため願出でることの報告書	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	939	6	(慶応2年)	1866			状	1			加藤六郎兵衛不束の次第に付差図賜りたい依頼状写（慶応2年 月 日牧野十郎兵衛より牧野一夢 死 報告書 3月2日一夢落手）	牧野遠江守	稲垣権八	
牧野 八郎左衛門	940	6	(慶応2年)	1866	1	25	状 封筒	2	封筒表書）要用		加藤六郎兵衛讒言一件本家に於て取調べの次第報告書	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	941	6	(慶応2年)	1866	2	14	状 封筒	1	封筒表書）極密不副書		加藤六郎兵衛讒訴一件本家に於て取調べの条々極密報告書	(牧野) 十郎兵衛	父上（牧野一夢）	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	942	6	(慶応2年)	1866	2	25	状	1			加藤六郎兵衛一件に付真木要人本家へ出られ稲垣権八と話合の次第報告書(附 康済公並に奥方の日常の狂乱振り共)	(牧野) 十郎兵衛	(牧野) 一夢	
牧野 八郎左衛門	943	6	(慶応2年)	1866	2	26	状	1			加藤六郎兵衛一件に付本家(稲垣) 権八、名兄那軍兵衛と(真木) 要人との話合い報告書	(牧野) 十郎兵衛	(牧野) 一夢 父上	
牧野 八郎左衛門	944	6	慶応2年	1866	3	16	状	1			牧野隼之進加藤六郎兵衛村井藤左衛門大処置一件下調帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	945	6	(慶応2年)	1866	7	4	状	1			牧野隼之進加藤六郎兵衛村井藤左衛門御咎仰渡書写(附 牧野軍治、加藤寿太郎家仰渡書)	-	-	
牧野 八郎左衛門	946	6	(慶応2年)	1866	7		状 封筒	1	封筒表書) 用書		近況通知状(近火、殿様奥様信之助殿の事共、家茂死去等々)	牧野八郎左衛門	父上(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	947	6	(慶応2年)	1866	5	7	状	2			西洋銃練稽古のため旗本小出家来大島萬兵衛は江戸一の評判あり、外江戸様子報告状	牧野八郎左衛門	牧(野) 一夢	
牧野 八郎左衛門	948	6	(慶応3年)	1867	5	19	状 包紙	1			奸物密訴一件、並に洋式操練の可否に付、打合せ意見具申状	太田宇忠太	牧野八郎左衛門 真木要人	
牧野 八郎左衛門	949	6	(慶応3年)	1867	5	19	状	1			信之助君養子一条に付意見書	(牧野) 八郎左衛門	父上(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	950	6	(慶応3年)	1867	7	27	状 封筒	1			出府の挨拶並に隼之進、六郎兵衛の処置に付いての思惑と河井継之助立入りの見込み申述べ状	牧野八郎左衛門	牧(野) 一夢	
牧野 八郎左衛門	951	6	(慶応3年)	1867	10	11	状 封筒	1			本家河井継之助一件取調べについての感想並びに大屋橋落橋通知状	太田宇忠太	真木要人 牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	952	6	(慶応3年)	1867			状	1			野州賊徒通行一件不都の次第に付申付けられたる咎情実相違の廉あるにより平家とも相談の上全件棄損申付書下書写(牧野隼之進、加藤六郎兵衛、村井藤左衛門許されたる件)	-	-	
牧野 八郎左衛門	953	6	(慶応3年)	1867	10	1	状	2			家老再動達し書下書	御名(康済)	牧野隼之進 加藤六郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	954	6	不詳				状	1			加藤六郎兵衛より「お前と八郎左衛門にて殿様を廃し信之助を立てようとの計画牧野隼之進より殿様の耳に入れ此の兩人近付けない様にと注意した」旨告げられ立腹の書状下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	955	6	(慶応元年)	1865	7		状	2			近頃起こりたる諸事件の条々書上覧	(牧野) 十郎兵衛	-	
牧野 八郎左衛門	956	6	不詳				状	2			漢詩(七言絶句) 題聴鵲	-	-	
牧野 八郎左衛門	957	6	不詳				状	1			加藤六郎兵衛書面に付意見書	-	-	
牧野 八郎左衛門	958	6	不詳				状	1			退職願許容状下書	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	959	6	不詳				状	1			西洋銃練稽古病気のため快方 迄稽古御免願下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	960	6	不詳				状	1			加藤六郎兵衛一派と親しき者 続き柄書上状	-	-	
牧野 八郎左衛門	961	6	不詳				状	1			信之助君へ長州浪士を正義と 唱へたとの事の次第並びに牧 野隼之進の人物評価挨拶あり たるに付一報覚	(太田宇忠 太)	-	
牧野 八郎左衛門	962	6	不詳				状	1			殿様の行状隠し置きたる件、 水戸浪士一件、太田宇忠太長 州を正義と唱へたとの一件、 信之助君養子見合はせ一件等 書抜きの条々下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	963	6	(元治2年)	1865	3	14	状 封筒	1			浪士一件について真木要人外 の名動静通知状 (963～ 1018一括)	牧野十郎兵衛	父上 (牧野 八郎左衛 門)	
牧野 八郎左衛門	964	6	(慶応元 年)	1865	4	25	状 封筒	1			尊君御咎筋にて加藤六郎兵衛 江戸を明け帰邑種々取調べ中 との事であるが、本家の差図 を待ち居る次第返答状	(牧野) 隼之 進	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	965	6	(慶応元 年)	1865	4	28	状	2			浪士一件に付き我等に対する 処置如何になるやも長州征伐 を期に末世廃せられるかも知 れぬ旨の書状	(牧野) 八郎 左衛門	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	966	6	(慶応元 年)	1865	4	29	状	1			呼出状	村井藤左衛門	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	967	6	(慶応元 年)	1865	4	29	状	1			賊徒通行事件に付本家へ対し 公辺取締筋内沙汰もあり退役 申付けられ書取写	-	(牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	968	6	(慶応元 年)	1865	4	29	状	1			(浪士通行一件の責任を以 て) 本日家老職退役仰せ付か るに臨み無念の心情と、一夢 と改名しない旨の告白状	(牧野) 八郎 左衛門	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	969	6	(慶応元 年)	1865	5	13	状	1			篤信院様 (故康哉公) へ拙者 が長州鼎眞の話をしたとて、 此の度呼び出され処置される 也とのこと。冤罪を受けるの は不本意故事実を申し聞き度 い旨の返書	(太田宇忠 太)	(牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	970	6	(慶応元 年)	1865	5	20	状 封筒	2			家老職退役後屋敷替を初め 色々な人からの見舞状等に付 いての感想並びに加藤六郎兵 衛は今の殿様の届かない処を 親 (康哉公) にも同僚にも隠 して誠に不忠である旨の心情 吐露状	牧野八郎左衛 門	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	971	6	(慶応元 年)	1865	5	26	状	1			倉地蔵人縁談の件、並に自分 の跡役は真木要人ではない かとの連絡状	(牧野) 八郎 左衛門	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	972	6	(慶応元 年)	1865	5	15	状	1			在所にて隠居 (閏5月5日) 中種々連絡事項報告状 (馬の 様子、太田宇忠太 攘夷など 唱へたその一件、隼之進退役 願差出、条重より甘納豆到 来、家老跡役十郎兵衛不任の 件等)	牧野 (一夢)	(牧野) 十 郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	973	6	(慶応元年)	1865	5	28	状	1			退役見舞状（前の方欠損）	(井出)彦左衛門	(牧野一夢)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	974	6	(慶応元年)	1865	6	6	状封筒	3			太田宇忠太一件に付長岡藩名児屋軍兵衛と内話しの次第報告状	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	975	6	(慶応元年)	1865	6	17	状封筒	1			極密に知らせて戴いた礼並びに加藤六郎兵衛は奸物だから気を付ける様、外にこれに付いての対案打合せ状	太田（宇忠太）	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	976	6	(慶応元年)	1865	7	17	状封筒	1			近況通知状（ちせ（十郎兵衛長女）くつめきに難渋。軍用金について、浪士一件長岡本家の取扱について。住所諸物価、太田宇忠太一条。殿様奥方木馬稻古。等）	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	977	6	(慶応元年) 7月24日	1865	7	24	状封筒	2			太田宇忠太嫌疑一件並びに旧冬脱走賊徒一件に付本家へ対しその手続きについて差出したる覚書取報告状	(牧野)十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	978	6	(慶応元年)	1865	7	晦日	状封筒	2			太田宇忠太一条に付長岡藩重役と面会致し度く連絡の次第外報告状	(牧野)十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	979	6	(慶応元年)	1865	8	9	状封筒	1			浪士一条並に太田宇忠太嫌疑の件に付長岡本家重役と面会致し度く打合せ報告状	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	980	6	(慶応元年)	1865	8	15	状封筒	1			一夢並に太田宇忠太兩人についてなされた嫌疑を晴らさんがため長岡本家要人と違い度きための経過報告状	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	981	6	(慶応元年)	1865	8	晦日	状	1			近況報知状（本家稲垣勘右衛門と接触のこと。真木要人勧誘替のこと。疫熱流行のこと。等）	(牧野)一夢	(牧野)十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	982	6	(慶応元年)	1865	9	23	状封筒	2			時候伺い旁近況報告状（奥様供泉岳寺参詣。仲間貸付金銭のこと。加藤六郎兵衛取扱諸事について。岡部侯（奥様奥方）へ使者一条	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	983	6	(慶応元年)	1865	9	27	状封筒	1			近況通知返信状（ちせくつめきの様子。刀の鏢について。屋敷入替り。両表雑用金三千両不足。さんま到来の礼。太田宇忠太退願について。）	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	984	6	(慶応元年)	1865	10	4	状	1			9月23日附認め十郎兵衛書状に対する返信（平太夫外仲間共の様子。加藤六郎兵衛に拘る嫌疑一条より差含む旧冬の一件。太田宇忠太嫌疑 等）	(牧野)一夢	(牧野)十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	985	6	(慶応元年)	1865	10	8	状	1			水野和泉守より大目付へ達し書（阿部豊後守松前伊豆守官位召上げ国許謹慎の達し）	秋元但馬守板倉主計頭	-	
牧野 八郎左衛門	986	6	(慶応元年)	1865	10	21	状	3			京都大坂の状勢報告状（開港欽港及び家茂退職願、慶喜活躍等）	(牧野)十郎兵衛	(牧野一夢)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	987	6	(慶応元年)	1865	10	21	状	1			加藤氏、多膳、権八、太田氏 長州品類等についての問合せ に対する返書	(長岡藩新井 か) 彦左衛門	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	988	6	(慶応元年)	1865	10	24	状 封筒	2			幅随院への寄附金打合せ並び に京坂の形勢報知状 (先信申 上げと今便とどちらが実説 か)	(牧野) 十郎 兵衛	父上 (牧野 一夢)	
牧野 八郎左衛門	989	6	(慶応元年)	1865	10	25	状	1			加藤六郎兵衛より帰邑の上は 談判致し度いと申ししていたが 未だに何も言って来ない所を 見ると余程困っているのか。 又信之助君より時勢日々切迫 故腹藏なく申すよう言はれた 等々近況報知状	(太田) 宇忠 太	(牧野) 十 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	990	6	(慶応元年)	1865	11	6	状 封筒	1			11月3日附手紙の返事 (江戸 入用莫大の事。手持飼馬の様 子。長防征伐について。家財 道具の整理。殿様時勢につ いての考へ方。奥様が八郎左衛 門 (一夢) の復職を願っている事)	牧野十郎兵衛	父上 (牧野 一夢)	
牧野 八郎左衛門	991	6	(慶応元年)	1865	11	11	状 封筒	1			牧野隼之進退役願又々差出さ れたとの事。同列の者揃って 退役願差出す様に宜しから ず。お前は時機を見て出す様 等の注意書	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	992	6	(慶応元年)	1865	11	14	状 封筒	1			11月8日附書状に対する返信 (妙玄院様へ雉子進上の件。 牧野一夢再勤奥様の思召につ いて。お清様へ衣裳拵いにつ いて)	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	993	6	(慶応元年)	1865	12	7	状 封筒	1			来状の返書 (長州処置につ いて。柏木一条死罪となり事。 君公暗愚のこと。出雲崎より のたより。雉子進物のこと。 馬について)	牧野一夢	-	
牧野 八郎左衛門	994	6	(慶応元年)	1865	12	12	状 封筒	1			信之助殿江戸へ出立に付殿様 と対談、(脱走浪士通行一件 にて諺言について) の節必ず 侍座されて明白に聞きとるこ と、並に柏木村一件は喜太夫 を八左衛門が毒殺したことに 始る通知状	牧野一夢	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	995	6	(慶応元年)	1865	12	18	状 封筒	1			殿様と信之助様明後20日対 話される事になったので両奸 物の処置話し合はれたら、明 春平家へ渡り合い奸計顛れの 下拵出来次第早に入れ度。柏 木村喜太夫毒飼一件。小笠原 様類焼一件	牧野十郎兵衛	父上 (牧野 一夢)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	996	6	(慶応2年)	1866	5	26	状	1			来状に対する返信（六郎疑惑に付本家逃げ口上らしき由。真木氏着府を一同待っている。諏訪町老先生の話焼跡の普請について。信之助君養子一条に付井伊家の例は家康の目利きにより庶弟が家督した例をあげ説明）	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	997	6	(慶応2年)	1866	6	18	状	1			長州征伐のため本家附属として上洛供奉の下話等報知状	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	998	6	(慶応2年)	1866	6	26	状	1			此頃中の動き報知状（信之助殿養縁について。神戸十郎右衛門の話。浪士一条に付早まりたる始末柄。太田宇忠太嫌疑本家に於けて取扱等）	(牧野) 一夢	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	999	6	(慶応2年)	1866	7	4	状	1			出頭通知状	牧野勇馬	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1000	6	(慶応2年)	1866	7	14	状	1			元治元年11月脱走賊徒通行一件に付慶応元年4月29日の家老職取放退役の処置に付本家悉く承知にて書取引直されたる仰付けられ留取（これにより汚名は雪がれる）	-	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1001	6	(慶応2年)	1866	7	18	状 封筒	1			大阪出陣中の莫大なる入費並びに奥の予算のやりくりに付餘りは差出さず渡し切りにしたら如何かの意見状	牧野十郎兵衛	父上 (牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1002	6	(慶応2年)	1866	8	10	状 封筒	1			大坂出陣のため用人役不足に付家柄の者をたとへ16日か15日でも番頭としてその上用人にしたい旨の意見状	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1003	6	(慶応2年)	1866	10	晦日	状	1			10月23日書翰披見近況返信状（貴様勝手方仰付られたるに付江戸勘定收支に付。奥様より自分のこと心配の由有難く御礼取繕られ度。天下の状勢不穩にて糧米の用意油断なき様。信之助殿より高禄の者は昼夜心配する様云はれ立腹の由）	(牧野) 一夢	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1004	6	(慶応3年)	1867	5	3	状	1			加藤六郎兵衛讒訴に付き深意厚誼を恭くした礼状	(太田) 宇忠太	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1005	6	(慶応3年)	1867	5	12	状	1			加藤六郎兵衛奸謀一件に付西岡五郎左衛門並に吉田文庵より聞き出したる事心得迄に通知状	(太田) 宇忠太	(真木) 要人 (牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1006	6	(慶応3年)	1867	8	22	状	1			殿様へよくよく申上げて置いたのだが（河井）継之助に達って強く言う事も出来ず宜教く頼むと言って帰られて奥様に尋ねられ、家老の義理も立たず奥様共々落涙。涙ぐまれ居る様子報知状（註 河井継之助小諸入りは9月17日）	牧野八郎左衛門	父上 (牧野一夢)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1007	6	(慶応4年)	1868	4		状	1			役儀（家老職）赦免願状下書	牧野八郎左衛門	牧野隼之進 真木要人 太田宇忠太	
牧野 八郎左衛門	1008	6	(慶応4年)	1868	7		状 包紙	1	包紙表書）御書取 写		大政一新家政更張の際に当り（太田）宇忠太に公務のため上京を命じ、（加藤）六郎兵衛には総括申付け別して委任に付朝廷の趣意と脈絡貫通あるべき書取写（註 7月23日下渡し）	遠江	一列	
牧野 八郎左衛門	1009	6	(慶応4年)	1868	7		状	1			書取の趣を読んで太田宇忠太を何故上京させなければならぬか勘考依頼状	（牧野八郎左衛門）	（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	1010	6	(慶応4年)	1868	7		状	1			加藤（六郎兵衛）上京御用仰付けられたが、京都御用は短所で小諸改革は長所と申出て取纏れている旨の通知状	（太田宇忠太）		
牧野 八郎左衛門	1011	6	明治元年	1868	10	12	状	1			刑法官判事新川去病は我等同藩にて此度当国へ発向。近国鎮撫のため出張の処同人正大の論者故安心して面会されたい紹介状写	降屋家兵衛 中采女	加藤六郎兵衛外2名	
牧野 八郎左衛門	1012	6	(慶応元年)	1868	12	10	状	2			奸物愈々糺明となれば餘程手堅く証拠を掌握しないと敗れる故逐條打合せ書（註柏木村騒動出張の記事あり）	（太田）宇忠太	（牧野）十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1013	6	不詳				状	1			信之助様御書の端書写（世上切迫不安心なれど異なようの塩梅になり当惑。まるで一件も狐狸の所業となり奇妙なものではある云々）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1014	6	不詳		11	2	状	1			馬の始末についてのやりとり並に小田様へ訪問の次第四日出立の国輔（角田）へ申付け置く旨の書状	（牧野）八郎左衛門	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	1015	6	(慶応2年)	1869	1	22	状 包紙	1			1月15日附書状に対する返信（馬についての四方山ばなし。大難一平も程なく取かかる故首尾好きを祈る。（殿様）暗弱には殆ど歎息の至りである）	（牧野）十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	1016	6	不詳		8	1	状	1			小英君（信之助君か）の頼みにより駿甲定府の者食客31名に対し森川五郎八周旋の金子二百両一割五分の利息を以て融通したが先様は才覚出来兼ね返却不能の模様の報告書	佐野雅楽之進 林権平	高崎郁母 高栗儀人	
牧野 八郎左衛門	1017	6	(慶応4年)	1868	7		状 包紙	1			朝廷布告に基き公務奉職のため迂生近日出立にあたり書付の趣を守るべき約束書写	太田宇忠太	同列中	
牧野 八郎左衛門	1018	6	(慶応2年)	1866	2	16	状 封筒	3			2月7日附書状に対する返書（江戸詰奉公人のこと。殿様の日常について。江戸屋敷2千5百坪の屋敷替について。小諸一夢家の屋敷替について。殿様夫婦の様子について。煙草の徳失について。等々）	牧野八郎左衛門	父上（牧野一夢）	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1019	6	(慶応元年)	1865	4	27	状	1			父上が家老職を免ぜられて若し私に仰付けられたらどうしたら良いか貰い度い。本家にて馬の話を聞いて来た。本家は4月26日拝領の呉服橋屋敷へ引移られた以上概略書状(1019～1060一括)	(牧野) 十郎兵衛	父上(牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1020	6	(慶応元年)	1865	5	10	状 封筒	2			父上(八郎左衛門) 退職仰付られは誠に残念である。自分は(河合) 六郎と同じ遠慮10月となった。並に長州事情英仏艦船の事報知状	太田宇忠太	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1021	6	(慶応元年)	1865	5	25 26	状	1			牧野隼之進よりの書状並に返書の写。隠居名一夢に対する謙意。太田宇忠太一条に付小人目付両名に対して内探り。馬飼料高値に付払った方が宜教い。父上の跡役は真木要人と決評になった旨 以上報告状	牧野十郎兵衛	父上(牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1022	6	(慶応元年)	1865	5	2	状	1			小田様旧冬の心配尋ねられた際の報告並に加藤六郎兵衛。真木要人等の話し合いの次第報告状	牧野十郎兵衛	父上(牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1023	6	(慶応元年)	1865	5	4	状	1			自分のことに付種々心配して貰った礼並びに加藤六郎兵衛の奸計に付き報告状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1024	6	(慶応元年)	1865	5	7	状	1			5月26日29日附書状に対する返信(・使用人久五郎病氣・江戸にて馬一疋払の件・浪士通行の節の褒詞について・太田氏嫌疑一条・中旬頃には父上隠居私家督となるらしい故祝事について)	(牧野) 十郎兵衛	父上(牧野十郎兵衛)	
牧野 八郎左衛門	1025	6	(慶応元年)	1865	6	21	状	1			6月16日附書状に対する返信。病人の見舞状。本家より不当の沙汰に心痛	(真木) 要人	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1026	6	(慶応元年) 6月24日	1865	6	24	状 封筒	1			十郎右衛門(長岡)より聞取り。浪士一件は備前守様は浮説が色々あるが後難懸念され取締り置かれた方仰訳にもなるとの思召しとのこと。太田宇忠太のことは全く知らないとの様子であった等の報告状	牧野十郎兵衛	父上(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1027	6	(慶応元年)	1865	6	28	状	1			家督の祝状 附 加藤六郎兵衛より蒙りたる恥辱に付進言。(註 牧野一夢は半太夫の叔父)	(長岡藩) 中嶋半太夫	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1028	6	(慶応元年)	1865	7	4	状 封筒	1			度々来状の返書(・信之助殿養子決心に感服・送って貰った品々に付て・太田氏一条・長防の珍書写・長岡よりの書状披露・御影より延弘(米穀代) 代小県善兵衛奇特のこと)	(牧野) 十郎兵衛	父上(牧野一夢)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1029	6	(慶応元年)	1865	7		状	1			加藤六郎兵衛奸計に対する札明並びに処置についての打合せ下案 (No.937の次へ整理のこと)	(牧野十郎兵衛)	(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1030	6	(慶応元年)	1865	7	26	状	1			7月13日附来翰返書 (・千世くつめきの由。咳止め地蔵について・真木要人未だ快ならず・盆の支払のこと・木馬の乗順書の礼状・武具、看板、桐油の打合せ外)	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1031	6	(慶応元年)	1865	8		状	1			来状に対する返書 (・男子死亡の愁歎申述・御勝手向勘定引締め着実に行はれて居る由・六郎兵衛帰邑真木要人出府迄はおとなしくして居る事・六郎兵衛は吾々の動きに気付いたらしい・退役願差出す旨通知)	太田 (宇忠太)	牧野 (十郎兵衛)	
牧野 八郎左衛門	1032	6	(慶応元年) 8月7日	1865	7	7	状	1			7月晦日附来状に対する返信 (・本家勘右衛門(山本)へ逢いたいがまだ機会なし・信之助殿処遇について・仲間寿作と篤太交替について・品々送られたい打合せ等)	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1033	6	(慶応元年)	1865	12	23	状	1			(稲垣) 左織より内意の斉藤喜兵衛密話一条についての考察一部始終通知状 (水戸脱走賊徒並薩長等を正義と唱える者の公迎にてうわさされている名前が小諸藩士にあるかどうか)	太田 (宇忠太)	牧野 (十郎兵衛)	
牧野 八郎左衛門	1034	6	(慶応元年)	1865	12	23	状	1			江戸下屋敷類焼に付いて、年暮御褒取調べ一条、佐藤九左衛門一件 等に付連絡状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1035	6	(慶応2年) 正月元日	1866	1	1	状	1			私 (宇忠太) に対する嫌疑一条 (殿様を廃し信之助殿を立てるとの) についての事情説明状	太田 (宇忠太)	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1036	6	(慶応2年) 正月5日	1866	1	5	状	2			掃奸一件のため木俣興之進に発奮して貰はないと成就し難い故説得される様依頼状 (附殿様の詩は十才前後の小供と同じで唯文字を並べてあるだけで意味は全く分らない)	太田 (宇忠太)	牧野 (十郎兵衛)	
牧野 八郎左衛門	1037	6	(慶応2年)	1866	1	27	状 封筒	1			返答書 (・殿様には話した事は全部忘れてろうが加藤六郎兵衛の言ったことは決して話さないこと・木俣興之進にはこれから奮発して貰いたい旨・信之助殿養縁のこと・糸井勇所業のこと・人繰り打合せのこと・殿様と奥様の違いについて)	太田宇忠太	牧野十郎兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1038	6	(慶応2年)	1866	1	晦日	状	1			屋敷替のこと、君上休息懇望のこと並に揚（掃か）奸一件等連絡状	太田（宇忠太）	牧野（十郎兵衛）	
牧野 八郎左衛門	1039	6	(慶応2年)	1866	2	23	状	1			加藤六郎兵衛は最初の存込みよりは甚敷く不易なる罪状故相当の御咎め然るべき旨の勘考状	(太田) 宇忠太	(牧野) 一夢	
牧野 八郎左衛門	1040	6	(慶応2年)	1866	2	23	状	1			本日附来状に対する返信。 (加藤六郎兵衛は) 如何様大罪ではあるが家筋故百石引馬廻席但し幼年無動に付前髪執りたる節百石の意見状)	(牧野) 一夢	(太田) 宇忠太	
牧野 八郎左衛門	1041	6	(慶応2年)	1866	2	29	状 封筒	1			2月15日附来状に対する返書（・貴兄父子様の尽力のおかげで私は白日となった礼・信之助殿養子一件・君上休息一件に付・屋敷替の件・九頭電社普請金の件・奸老への書付参考の件・加藤六郎兵衛罪状について）	太田宇忠太	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1042	6	(慶応2年)	1866	3	7	状 封筒	1			数通来状に対する返書（・木俣興之進中風にて帰邑・送り物、買物のこと・家来共のこと・引越のこと・木俣興之進跡役のこと・疑惑も近々晴れる様子・御座敷並休息のこと）	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	1043	6	(慶応2年)	1866	3	28	状	1			来状に対する返信（・引越の祝詞・彼の一件精尽を貰かれ暗夜の灯火である旨賞詞・人事打合せの件・河合六郎出府一件・真木要人拝領について）	太田宇忠太	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1044	6	(慶応2年)	1866	4	1	状	1			一件の始末加藤六郎兵衛外の処置略決り本家へ同の上取扱はれる姿になって居り、又、殿様の行状驚くばかりにて側用人を余程人選しなればならない旨の返答状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1045	6	(慶応2年)	1866	7	10	状 封筒	1			8月29日附来状に対する返書（・長州征討のため発駕後の様子・留守中奥様日常の暮し振りについて・本家へ挨拶のため出頭の作法について）	牧野十郎兵衛	父上（牧野一夢）	
牧野 八郎左衛門	1046	6	(慶応3年)	1867	3	4	状 封筒	1			3月11日附書状に対する返事（・手馬献上の褒美として白鞘の刀下されたる事・必要の身の廻り品のこと・信之助殿一条について・銃は元込と先込どちらが良いか・退役願の下書に加筆願うこと（1047と同封））	牧野一夢	牧野八郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1047	6	(慶応3年)	1867	3	18	状 封筒	1			(極秘) (・真木(要人)と 太田(宇忠太)の人物比較・ 西洋流稽古について) (1046と同封)	牧野一夢	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1048	6	(慶応3年)	1867	4	11	状 封筒	1			4月1日附来状の返信(・拝 領の白翰鑑定のこと・信之助 殿真木要人申談のこと・出仕 御免願下書加筆の礼・惣裁就 任のこと・分隊調練稽古のこ と・田ノ口源右衛門方にて馳 走のこと)	牧野一夢	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1049	6	慶応3年	1867	4	25	状 封筒	1			度々の書状に対する返事(・ 横浜埋立地外国商館並に異人 繁栄の様子・購入鉄砲品定め のこと・横浜にて品々買入の こと・信之助殿本多家へ養子 一条・金子融通のこと・大小 刀拵えのこと・陣羽織外購入 品の件)	牧野八郎左衛門	父上(牧野一夢)	
牧野 八郎左衛門	1050	6	(慶応3年)	1867	5	12	状 包紙	1			黒白糺明との沙汰誠に驚くべき事ではあるが是非糺明を受けて疑惑を晴らして永久の安心を求める様掛合方願ひ状	太田宇忠太	真木要人 牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1051	6	(慶応3年)	1867	9	27	状 封筒	2			(・吉田文巷、桃斉父子一件に付所置打合せのこと・河合氏へ詩一両首差上げ依頼)	太田宇忠太	真木要人 牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1052	6	(慶応3年)	1867	10		状	1			京都より仰出されたる書付に対する心底申上状写	御名(牧野遠江守)	-	
牧野 八郎左衛門	1053	6	(慶応3年)	1867	10	18	状	1			当公方様退職養君様と代替りとなるか徳川様の政事を御所に行う様にしないと大乱となる旨の建白があった旨の坊主何某の内密申聞きの書取報告状	太田(宇忠太)	牧野(八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1054	6	(慶応3年)	1867	10	20	状 封筒	1			一件処置についての感想申述べ並びに河井氏(継之助)の心労について感想申述べ状(附 京都における連白騒ぎ)	太田宇忠太	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1055	6	(慶応3年)	1867	11		状	1			同苗(牧野一夢)より殿様へ栗子献呈の礼状 註 平八郎(信之助改名) 慶応3年11月27日養家へ引移り向寒の節とある故11月とした)	牧野一学 牧野多門	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1056	6	(慶応4年)	1868	8	25	状	1			賢息須磨之丞様のころ世話、家兄上上京(京都)中に付修業の委託仰付かり御引請の御返答書(註 平馬は宇忠太弟明治2年黄吉と改名)	太田平馬	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1057	6	(慶応4年)	1868	6	26	状	1			修業に来られた(京都へ)須磨之丞様の御相手請状(附 越後の状静官軍遠からず成功の旨軍務官より知らせ)	木村六左衛門	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1058	6	不詳		10	5	状 封筒	1			書状渡し方依頼並びに雪堂(長岡藩主忠恭公隠居名)発 駕済通知状	柳野弥五左衛門	太田宇忠太	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1059	6	不詳		2	5	状	1			忝の家督の件に付教示伺い状	(太田) 宇忠太	(牧野) 一夢	
牧野 八郎左衛門	1060	6	(慶応3年)	1867	6	22	状 封筒	1			信之助様より時勢についての 見込書下案加筆の依頼を受けた ので写し内覧に入れること 並に將軍日常俟約質素の動静 通知状	太田宇忠太	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1061	6	(明治2年) 10月	1869	10		状	1			旧冬斬罪の者祭典致す様との 刑部省より達し覚書 (1061 ～1067一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1062	6	(明治2年)	1869	9		状	1			牧野一夢家跡立ち遣されたる 達し書取	-	-	
牧野 八郎左衛門	1063	6	(明治2年)	1869	9		状	1			牧野八郎左衛門忝須磨之丞に 対する謹慎解除の達し書取	-	-	
牧野 八郎左衛門	1064	6	(明治2年)	1869	2	20	状	1			忝八郎左衛門斬罪について極 密述懐内談書下書	(牧野) 一夢	(牧野) 隼 之進	
牧野 八郎左衛門	1065	6	(明治元 年)	1868			状	1			長岡藩士武山定右衛門を潜伏 せしめたるにより関係者を斬 罪に処したることも知らずに 居り天朝に対し申訳なく寛典 の沙汰歎願書写	重信共	-	
牧野 八郎左衛門	1066	6	(明治元 年)	1868			状	1			牧野八郎左衛門所置に付今晚 中引払い、牧野多門方へ預け 達し書取	-	(牧野) 一 夢	
牧野 八郎左衛門	1067	6	(明治元 年)	1868	11	(8)	状	1			牧野駿河守脱走の家来潜伏せ しめたるにより格祿取放ち斬 罪申付け書取	-	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1068	7	不詳		10	9	状 封筒	1	封筒表書) 三代康 重公御三男外記康 徳君ノ御書		呼び出し状 註 外記…康重 公四男康徳 (正徳3年生 延享 2年没) 庄左衛門…三代種 成養子 (享保8年家督 宝暦元 年隠居) (1068～1077一 括)	(牧野) 外記	(牧野) 庄 左衛門	
牧野 八郎左衛門	1069	7	天明3年	1783	10	4	状 封筒	2			上州より騒動の者共領内へ入 込むも城へ対して手向い致さ ざる時は鉄砲は使用致しては ならない差図書	遠州 (康満)	一列	
牧野 八郎左衛門	1070	7	不詳		5	1	状 包紙	1			招待状	路景 (康満)	園子 (牧 野)	
牧野 八郎左衛門	1071	7	(天明6年)	1786	10	5	状	1			大坂加番中の動静知らせ状 (1071～1072一括)	牧 (野) 内膳 正 (康陸)	牧野八郎左 衛門 (載 成)	
牧野 八郎左衛門	1072	7	不詳		4		状 包紙	1			当用連絡状	(牧野康陸)	(牧野) 八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1073	7	不詳		4	17	状	1			石印出来上りたる礼状 註 求馬…牧野康満次男 (明和7 年～天明元年の頃)	牧野求馬	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1074	7	(天保3年)	1832	6	14	状 包紙	2			一列より伺いに対する裁許状	(牧野康命)	一列	
牧野 八郎左衛門	1075	7	(天保7年)	1836	10	6	状 封筒	1			領内格別の凶作に付藩士の苦 勞に対する慰勞状	遠江 (牧野康 成)	牧野八郎左 衛門 村井 平兵衛	
牧野 八郎左衛門	1076	7	不詳				状 封筒	1			此の度取締り方申付けについ て一列共の心得べき事項論し 状 (天保3～4年頃か)	遠江 (牧野康 哉)	(牧野) 八 郎左衛門 (村井) 平 兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1077	7	慶応2年	1866	7	7	状 包紙	2			征長含みにて長岡牧野備前守 附属として上坂中留守番の者 共へ心得べき差図状	遠江（牧野康 濟）	（牧野）平 郎兵衛（河 合）六郎 （稲垣）左 折（織）	
牧野 八郎左衛門	1078	7	不詳		1	1	状 包紙	1			年賀状	太田宇忠太 真木要人	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1079	7	永禄5年	1562	8	7	状	1			永禄四年二月三州へ出馬の砌 の軍忠状写	氏真	稲垣平右衛 門	
牧野 八郎左衛門	1080	7	永禄9年	1566	11		状	1			牧野右馬允死去跡職に付異議 なき旨の家康公一札の通知状 写	水野下野守信 元	牧野山城守 外6名	
牧野 八郎左衛門	1081	7	不詳				状	1			牧野山城守外六名を七人衆と 唱へ其の者共の説明書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1082	7	寛永18年	1641	11	15	状	1			牧野家由緒書写	牧野右馬允忠 成	太田備中守	
牧野 八郎左衛門	1083	7	寛永19年	1642			状	1			牧野右馬允先祖康成軍中高名 届け書写	牧野右馬允忠 成	太田備中守	
牧野 八郎左衛門	1084	7	（天明8年）	1788	10	17	状	1			呼出状（1084～1100一括）	牧野勝兵衛	牧野須磨允	
牧野 八郎左衛門	1085	7	（享和2年）	1802	8	19	状	1			会所へ出頭通知書（註 享和2 年8月20日 廿石加増家老転 職見習）	稲垣源太左衛 門	牧野昌左衛 門	
牧野 八郎左衛門	1086	7	（文化3年）	1806	4	4	状	1			呼出状	村井平兵衛 外 2名	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1087	7	（文化10 年）	1813	9	21	状	1			呼出状	古畑政右衛門 外2名	牧野彦弥	
牧野 八郎左衛門	1088	7	（文化13 年）	1816	6	4	状	1			呼出状	牧野勝兵衛 外 1名	牧野須磨丞	
牧野 八郎左衛門	1089	7	（文政8年）	1825	9	10	状	1			呼出状	牧野勝兵衛 外 1名	牧野須磨丞	
牧野 八郎左衛門	1090	7	（安政4年）	1857	11	17	状	1			呼出状	牧野主鈴	牧野数馬	
牧野 八郎左衛門	1091	7	（明治2年）	1869	12	27	状	1			呼出状	牧野真清	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	1092	7	不詳		4	14	状	1			忌中御免出勤通知状	河合作兵衛 外 1名	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1093	7	不詳		5	8	状	1			慎御免通知状	牧野隼之進	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1094	7	不詳		6	18	状	1			忌中御免出勤通知状	牧野勝兵衛	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1095	7	不詳		6	22	状	1			忌中御免出勤通知状	加藤六郎兵衛	牧野昌左衛 門	
牧野 八郎左衛門	1096	7	不詳		9	28	状	1			差控御免出勤通知状	加藤六郎兵衛	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1097	7	不詳		10	26	状	1			産穢御免出勤通知状	村井平兵衛	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1098	7	不詳		12	11	状	1			差控御免出勤通知状	真木権左衛門	牧野須磨之 丞	
牧野 八郎左衛門	1099	7	不詳		12	21	状	1			忌中御免出勤通知状	加藤六郎兵衛	牧野数馬	
牧野 八郎左衛門	1100	7	不詳		12	26	状	1			差控御免出勤通知状	河合作兵衛 外 2名	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1101	7	（元治元 年）	1864	11	10	状 包紙	1			浪士進入に付き対策臨機応変 深慮致し度い連絡状（1101 ～1109一括）	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1102	7	（元治元 年）	1864	11	20	状 包紙	1			浪士通行の砌刈取峠へ出陣に ついて意見書	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1103	7	（元治元 年）	1864	12	21	状 封筒	1			浪士通行後江戸表の沙汰がま だ来ないが早く片付いて一日 も早く出勤出来る様見舞状	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1104	7	（元治2年）	1865	2	15	状 包紙	1			持病見舞旁旧冬浪士一条に付 沙汰がある迄は今迄通り勤め られたい懸望状	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1105	7	（元治2年）	1865	3	29	状 包紙	1			冤罪による失脚を慰める状	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1106	7	(慶応元年)	1865	5	27	状 封筒	1			暑中見舞状	牧野信之助 舟 水	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1107	7	(慶応元年)	1865	6	26	状 包紙	1			隠居祝い状	牧野舟水(信 之助)	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1108	7	(慶応2年) 10月16日	1865	10	16	状 封筒	1			政事相談御頼み中弼三十俵下 され、家老等頭仰付けられた るに付お祝い状(下書共)	牧野信之助	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1109	7	不詳		9	20	状 封筒	1			時候挨拶並びに進物案内状 (文久2年9月～元治元年9 月)	牧野信之助	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1110	7	(天保3年)	1832	12	28	状	1			山本良貞取計一條(出奔し て連れ戻される)に付いて打 合せ状(1110～1114一括)	(村井)平兵 衛	(牧野)八 郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1111	7	不詳		6	18	状	1			足輕永暇家断絶の節は詮議掛 合い致すべき意見書	(牧野)八郎 左衛門	(加藤)六 郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1112	7	不詳		5	4	状	1			古い時代新規召抱についての 手続き問合せに対する返答口 述書	高崎寛吾	-	
牧野 八郎左衛門	1113	7	不詳				状	1			寛政5年～天保11年人事に付 日記書抜覧	-	-	
牧野 八郎左衛門	1114	7	不詳				状	1			嘉永元年～同2年 足輕共願 事に関する事項書抜覧	-	-	
牧野 八郎左衛門	1115	7	(慶応4年)	1868	8	16	状	1			京都にて勉強中の伴須磨之丞 に対する激励状(1115～ 1126一括)	牧野八郎左衛 門	牧野須磨允	
牧野 八郎左衛門	1116	7	(慶応4年)	1868	8		状	2			遊学のため京都へ無事到着の 報告状 註 手札(鶴井彦左 衛門)一枚同封	牧野須磨允	祖父(牧野 一夢) 父 (牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1117	7	(明治元 年)	1868	9	15	状	1			京都無事到着の喜びと諸般の 状勢報知状	(牧野)八郎 左衛門	(牧野)須 磨允	
牧野 八郎左衛門	1118	7	(明治2年)	1869	7	26	状	1			御互に懐中の無聊をかち目 つ新盆(八郎左衛門)の様子 報知状	(牧野)一夢	(牧野)須 磨允	
牧野 八郎左衛門	1119	7	(明治2年)	1869	1	10	状 封筒	1			年始状	牧野一夢	牧野須磨允	
牧野 八郎左衛門	1120	7	不詳		8	7	状	1			印形外送り届け案内状	牧野一夢	牧野須磨允	
牧野 八郎左衛門	1121	7	(明治2年)	1869	9	25	状	1			二、三日持病の下痢にて老体 故面会申立て出向かれ度い依 頼状	(牧野)一夢	(牧野)須 磨允	
牧野 八郎左衛門	1122	7	(明治元 年)	1868	10	16	状 封筒	2			京都から孫よりの手紙に対す る返事並に天皇発誓の時に京 都に居合はせたことの慶び状	(牧野)一夢	(牧野)須 磨允	
牧野 八郎左衛門	1123	7	(明治2年) 4月15日	1869	4	15	状 封筒	1			実大寺焼失の旨尚々書(本文 切捨)断翰	牧野一夢	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	1124	7	(明治2年) 7月17日	1869	7	17	状 封筒	1			敵討ちも出来ないこと故お前 の学業の成就を祈り居る旨の 励し状	牧野一夢	牧野莊次郎 成行	
牧野 八郎左衛門	1125	7	不詳		1	2	状	1			年始状	牧野一夢成澄	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	1126	7	不詳				状 包紙	13			牧野須磨允手札13枚(表書 は15枚)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1127	7	慶応2年	1869	8	4	状	1			若党篤太不埒に付死罪至当の 処助命願書写(1127～1134 一括)	親類惣代 関太 夫 外3名	牧野十郎兵 衛	
牧野 八郎左衛門	1128	7	(慶応2年)	1869	8	7	状	1			奉公人篤太不始末仕出し、嚴 罪の処憐愍願書写	(牧野十郎兵 衛)	成瀬番左衛 門	
牧野 八郎左衛門	1129	7	(慶応2年)	1869	8	14	状	1			若党篤太葛籠の内容品明細書	(牧野十郎兵 衛)	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1130	7	(慶応2年)	1869	8	6	状	1			不埒の若党驚太取捕への上付 添い二人は在所送りの手続き 取計い向荒増し通知状	(牧野) 十郎 兵衛	父上 (牧野 一夢)	
牧野 八郎左衛門	1131	7	(慶応2年)	1869	9	5	状	1			若党驚太厳禁を犯し不容易な る所業に及び厳科に所さるべ き処中陰中であり慈悲科筋 一等を宥免願う口上書取控	牧野八郎左衛 門	成瀬番左衛 門	
牧野 八郎左衛門	1132	7	(慶応2年)	1869			状	1			若党驚太盗み出し品質入れ元 利覚	-	-	
牧野 八郎左衛門	1133	7	(慶応2年)	1869			状	1			若党驚太盗み取りの金銭並に 質入れ物請返し元利書付写	(牧野八郎左 衛門)	三作	
牧野 八郎左衛門	1134	7	(慶応2年)	1869			状	1			具足櫃へ入て置き錠前明け置 いて盗み取られたと思はれる 金銭明細覚書	(牧野八郎左 衛門)	-	
牧野 八郎左衛門	1135	7	不詳		12	18	状 包紙	1			頂戴した煙草盆のお礼に盃進 上の挨拶状 (明和元年の 頃) 註 阿部伊勢守 (福 山) 分家、妻は牧野康周六女 寄合席	紙口 (阿部鞆 負)	園笠	
牧野 八郎左衛門	1136	7	寅年		12	3	状	1			軍役次第書 4石～十万石人 数 鑓、弓、鉄砲外備数	-	-	
牧野 八郎左衛門	1137	7	(天保9-10 年頃)	1838～ 1839			状	1			打続く凶作に臨み藩主として の心得方論し状控	(牧野八郎左 衛門成澄)	(牧野康哉 公)	
牧野 八郎左衛門	1138	7	不詳		7	15	状 包紙	1	包紙表書) 愚按		国家興廃の苦難の時節に当り なすべき良策熟考願いたい具 申状	高崎郁母	-	
牧野 八郎左衛門	1139	7	(明治4年)	1871	10	4	状	1			戎服(軍服) 着用に付注意事 項控	-	-	
牧野 八郎左衛門	1140	7	(明治4年)	1871			状	2			総士以下宛行扶持支給に付注 意書控	-	-	
牧野 八郎左衛門	1141	7	(文久元 年)	1861	12	5	状	1			出頭通知状 (1141～1142一 括)	御用人共		
牧野 八郎左衛門	1142	7	(文久元 年)	1861	12	5	状	1			(和宮警衛) 道回めの際塩名 田宿にて賄数量もたしかめず 混雑したるは不束に付差控口 達書取	-	(牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1143	7	不詳		9	23	状	1			出頭通知状 (1143～1144一 括)	木俣多門	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1144	7	不詳		9	23	状	1			無尽発起に付不束の事ありて 差控口達控	-	(牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1145	7	(文久2年)	1862	8		状	2			牧野勇四郎災難にて国窮に付 親類のよしみに、生活資金貸 し与へられ度い依頼状 (註 山本清儀は勇四郎の実兄)	山本清儀	(牧野八郎 左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1146	7	明治6年	1873	12	27	状	1			華士族卒職業差許されたるに 付資本金調達方布告写 (附明 治7年1月布達写)	三條	-	
牧野 八郎左衛門	1147	7	慶応2年	1866	5	13	状 包紙	5			本阿弥太郎左衛門鑑定節刀 剣に付け置かれたる国、銘、 位代等の附札 (註 包紙に6枚 とあるが実際は5枚)	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1148	7	不詳				状 包紙	1	包紙表書) 金弘之 提札		美濃州金弘脇差鑑定札	本阿弥忠美	-	
牧野 八郎左衛門	1149	7	不詳				状 包紙	1	包紙表書) 忠貞之 提札		出雲州忠貞脇作鑑定札	本阿弥忠美	-	
牧野 八郎左衛門	1150	7	不詳				状	1			刀剣類9振改め覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1151	7	不詳				状	1			刀剣拵え紋様書取	-	-	
牧野 八郎左衛門	1152	7	不詳				状 包紙	1	包紙表書) 鄙詞一 絶		鄙詞一絶	山本清服	-	
牧野 八郎左衛門	1153	7	天保9年	1838			状	1			漢詩"飢因賦"	源康哉	-	
牧野 八郎左衛門	1154	7	不詳		2	4	状 包紙	2			大坂表へ出立の饌別の礼状 (1154～1163一括)	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1155	7	不詳		2	17	状	1			役儀の祝品頂戴に付礼状	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1156	7	不詳		4	19	状	1			蛭学習得のため出張に対する 祝書並に有頂戴に付礼状	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1157	7	不詳		4	19	状	1			勉学の一部始終腹藏なく報告 状 (御覧済後直に火中)	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1158	7	不詳		6	21	状	1			忤死去の際御悔の礼状並に蘭 人献上のエレキテルより工夫 の器物伝習出役仰付かった旨 の報知状	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1159	7	不詳		11	3	状 包紙	1			小田様伺のヶ条の覚 強兵を 作るため西洋流の操練も取り 入れなければならぬ旨の意見 書	小田又蔵	-	
牧野 八郎左衛門	1160	7	(安政2年)	1855	11	28	状 包紙	1			江戸大地震の報告並びに大阪 具足奉行に転役の吹聴状 (信 頼)	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1161	7	(安政2年)	1855	12	19	状 包紙	1			当春出役の節到来の祝の品に 対する返礼 (鯉十本) 届け状 (附 来2月下旬大坂発足の 旨)	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1162	7	(安政2年)	1855	12	20	状 包紙	1			学問殊に明徳の二字に付解釈 申送り書	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1163	7	(安政2年)	1855	12	23	状 包紙	1			転役の歓として金百疋到来の 礼状	小田又蔵	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1164	7	不詳				横長半 (折目下)	1		辰三月廿七日	維新公文書控 自慶応4年3 月27日 迄慶応4年閏4月7日 (1164～1168一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1165	7	不詳				横長半 (折目下)	1		覚	諸事書留覚書 自慶応4年正 月 迄慶応4年4月27日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1166	7	不詳				横長半 (折目下)	1		覚	見舞受 並に仮日記帳 自明 治元年11月18日 迄明治2年 正月2日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1167	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	覚書		頼んで書いて貰った"年貢取 立 寅の巻"	-	-	
牧野 八郎左衛門	1168	7	明治17年	1884	1		横長半半 (折目下)	1	実際計算報告書	記	実際計算報告書	共存会	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1169	7	享保元年	1716	8	吉	状	1		起請文之事	目業秘伝に付いての起請文 (1169～1172一括)	秋元主水氏成	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1170	7	(元治2年)	1865	3	5	状	1	包袋表書) 願書	願奉口上之覚	退役願書	牧野十郎兵衛	牧野八郎左 衛門 外2名	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1171	7	(慶応3年)	1867	10		状	1		十分盃銘並序	十分盃銘並びに序文	-	櫟軒悦笑	
牧野 八郎左衛門	1172	7	明治2年	1869	12	6	状 包紙	1	包紙表書) 蕪文 一篇		蕪文(粗末な文)(牧野八郎 左衛門の靈に捧げる)	太田平馬道教	-	
牧野 八郎左衛門	1173	7	明治2年	1869	12	6	状 包紙	1	包紙表書) 祝詞		祝詞(牧野八郎左衛門成道を 称賛する詞)	山田辯道	-	
牧野 八郎左衛門	1174	7	明治3年	1870	12		状 包紙	1	包紙表書) 質置田 地證文 沓通	質置田地證文之事	田地質入証文	八幡村 市兵衛 外2名	依田仙右衛 門	要検討
牧野 八郎左衛門	1175	7	明治3年	1870	12		状	1		質地売渡シ申口佐一 札之事	田地質入証文	八幡村 市兵衛 外1名	依田仙右衛 門	要検討
牧野 八郎左衛門	1176	7	明治8年	1875	11		状	1		記	酒料請取証	八幡村 宮沢市 兵衛	牧野	
牧野 八郎左衛門	1177	7	享和元年	1801			短冊 包紙	3	包袋表書) 短冊		俳句二首 註 包紙には五と なっている	牧野康満	-	
牧野 八郎左衛門	1178	7	不詳				短冊 包紙	1			短歌一道	居眠	-	
牧野 八郎左衛門	1179	7	不詳				状	1		盟辞	家禄奉還について誓いの辞	-	-	
牧野 八郎左衛門	1180	7	不詳				状	2		覚	覚書下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1181	7	不詳				状	1			牧野藩旗指物図案絵図 牧野 梯子紋デザイン図	-	-	
牧野 八郎左衛門	1182	7	不詳				包紙	2	包紙表書) 金銀錢 二		寛永通宝(文銭)2ヶ(註 金、銀2色に塗)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1183	7	不詳				横長半半 (折目下)	1			小諸藩主牧野家伝 自 牧 野康成 迄 牧野信之助(康 明)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1184	7	元和3年～	1617			横長半半 (折目下)	1	諸覚	目録	牧野家諸覚書 自元和3年 迄享和2年	-	-	
牧野 八郎左衛門	1185	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	尊霊集	朔日	尊霊集(註 徳川家並に牧野 家関係過去帳)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1186	7	天和3年～	1683			横長半半 (折目下)	1	江戸御家鋪二面喧 嘩一条 水科平内 切腹一条		一、江戸御家鋪二面喧嘩一条 一、水科平内切腹一条 自天 和3年6月10日 迄明和7年7 月13日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1187	7	元禄元年～	1688			横長半半 (折目下)	1	日割御法号	朔日	日割御法号(過去帳)	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	1188	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	当用御忌日 全	御精進日	当用御忌日(全)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1189	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	親々録 全	御代々健覚	親々録	高崎教育	-	
牧野 八郎左衛門	1190	7	不詳				横長半半 (折目下)	1		御法名并誕生日	諸覚書帳(親類法名誕生日、 公方様、小諸殿様居判 外)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1191	7	宝暦8年	1758	8		豎半 (折)	1	小諸温故雑記	小諸温故雑記	東山道信濃国佐久郡大井庄小 諸の城主郡主城代々譜	石川経則	-	
牧野 八郎左衛門	1192	7	不詳				豎半 (折)	1	御本家様御知事職 御願書等之写	御辞職御願書	御本家様御知事職御願書等の 写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1193	7	寛永6年～	1629			豎半 (折)	1		直成傳之助傳左衛門 八郎左衛門直成軒	牧野八郎左衛門家当主履歴 直成～成寿 自寛永6年 迄 文化10年8月朔日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1194	7	不詳				豎半 (折)	1	御本家様自大胡長 岡江御足越節御召 連御名前		本家大胡より長岡へ引越の節 召連名前書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1195	7	不詳				豎半 (折)	1	牧野氏由緒書	略系	小諸藩牧野氏由緒書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1196	7	(天保11 年)	1840	11		豎半 (折)	1		御本家様御所替二付 諸士へ御傳渡	長岡牧野氏庄内酒井氏領地取 替の節の請書類写	牧野須磨之丞	-	
牧野 八郎左衛門	1197	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	篤信院様御係譜		篤信院様御係譜書抜 自寛永 元年 迄安政5年	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1198	7	不詳				横長半半 (折目下)	1		目録	小諸牧野藩主代々の事下書 自 牧野康成公（元和3年） 迄 牧野康命公（天保3年）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1199	7	不詳				横長半半 (折目下)	1			牧野藩主家族の事並に諸事控 書 自寛永13年 迄弘化2年	-	-	
牧野 八郎左衛門	1200	7	寛保3年	1743	8		横長半半 (折目下) 包袋	1	包袋表書）牧野康 周公御一家様方 八月 牧野康周公御一家 様方 八月改	内膳正康周公御一門 様方	牧野康周公一家系譜	-	-	
牧野 八郎左衛門	1201	7	享保7年	1722			横長半 (折目下)	1	寛	附記	諸事雑事覚書 自享保7年 迄宝暦7年4月11日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1202	7	宝永3年	1706	8		横長半 (折目下)	1	御入部日記	八朔日 天気吉	（牧野康重）御入部日記 自 宝永3年8月1日 迄宝永3年8 月19日	牧野八郎左衛 門	-	
牧野 八郎左衛門	1203	7	不詳				横長半半 (折目下) 包袋	1	包袋表書）御系譜 一件 扣 牧野成 壽		御系譜一件 牧野康成～牧野康明	牧野載成	-	
牧野 八郎左衛門	1204	7	不詳				横長半半 (折目下)	1			牧野康哉公家族系譜並柳学日 記（安政5年6月25日～文久3 年6月3日）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1205	7	明治4年	1871	2	17	横長半 (折目下)	1	今般御改正二付藩 内泰安寺儀荒町光 学岳寺江合併被仰 出二月廿日引移二 付先年ヨリ納置候 位牌預リ候様申聞 依而帳面之通取寄 置候也	寛	泰安寺が光岳寺へ合併に付引 移り迄預りの位牌覚書	鹿島裏 牧野	-	
牧野 八郎左衛門	1206	7	不詳				横長半半 (折目下)	1	奥方様御統書	奥方様御統	牧野康清公奥方統書控	-	-	
牧野 八郎左衛門	1207	7	元禄元年	1688	7	29	横長半 (折目下)	1	牧野康重公御代御 要録	牧野康重公御代	牧野康重公御代御要録	-	-	
牧野 八郎左衛門	1208	7	安政7年	1860	1		横長半半 (折目下)	1	赤坂 町在 出入 帳	赤坂隨身出入	赤坂 町在 出入帳	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1209	7	天保4年	1833	5	5	横長半半 (折目下)	1	寛政度量寿院様御 家中并郷中江被仰 渡御書付写ヲ以天 保四年被仰渡之写	被仰渡御書付	寛政度量寿院（康陞）仰渡取 締りのため総士並に郷中へ渡 されたる書付写	牧野成澄写	-	
牧野 八郎左衛門	1210	8	不詳				状 封筒	1	封筒表書）御家 代々年数早見		御家御代々年数早見表	-	-	
牧野 八郎左衛門	1211	8	嘉永4年	1851	2		状 封筒	1	封筒表書）年数早 見		年数早見表	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1212	8	不詳				状 封筒	1	封筒表書）日用重 宝年数早見		日用重宝年数早見表 版木物	東都両国 青盛 堂	-	
牧野 八郎左衛門	1213	8	申年		4	6	状	1		寛	日光御社参に付留守中の注意 事項触書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1214	8	（享保13 年）	1728	4	11	状	1			長岡城下去月27日出火類焼 覚写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1215	8	寛延年間		6	22	状	1			当春中無尽一件に付牧野庄左 衛門御叱りの事日記書拔写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1216	8	享保15年	1730			状	1			番頭御供出府の節の注意書取 写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1217	8	享保6年	1721	5	18	状	1			牧野平四郎家督の書付	-	-	
牧野 八郎左衛門	1218	8	享保5年	1720	11	2	状	1			牧野康重公目見願控書外写	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1219	8	天明4年	1784	4		折紙	1		御続書	牧野氏続書一覧表 牧野康満 ～牧野康陸 写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1220	8	不詳				状	1			牧野康重公実家本庄家縁族	-	-	
牧野 八郎左衛門	1221	8	不詳				状	1			牧野康周公家族並関係者扶持 覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1222	8	享保5年	1720	5		状	1		浩徳院御卒去二付御 法事次第	牧野康道（浩徳院）卒去法事 次第書抜 附 真性院（康 重）遠行	-	-	
牧野 八郎左衛門	1223	8	元文4年	1739	12	吉	状	1		壬子産御男子木性御 名案	牧野康満公名乗書並に御判 写	梅園院	-	
牧野 八郎左衛門	1224	8	不詳				横半半 (折目下)	1	牧野周防守康重公 御一門様方	牧野周防守康重公御 一門様方	牧野康重公一門続書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1225	8	不詳				横半半 (折目下)	1		康周公御続	牧野康周公続書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1226	8	不詳				横半半 (折目下)	1			殿様関係日記書抜下書 自天 明4年10月22日 迄天明8年 10月10日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1227	8	不詳				横半 (折目下)	1	康周公御子様方	大助様御誕生の覚	牧野康周公御子様方記録 自 享保15年4月7日 迄宝暦11 年4月23日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1228	8	不詳				横半半 (折目下)	1	康満公御子様方	周姫様	牧野康満公御子様方記録 自 宝暦2年12月晦日 迄宝暦12 年4月18日	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1229	8	天明4年	1784	4		横半 (折目下)	1	御続書	康満公御続	牧野康満、康陸公 続書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1230	8	不詳				横半 (折目下)	1		牧野駿河守忠寿公御 子様方	（長岡）牧野駿河守忠寿（元 禄8年～享保20年）公御子様 方譜書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1231	8	不詳				横半半 (折目下)	1		父方之父方	（牧野内膳康成成長女勝嫁先嫡 子）六郷阿波守政晴続書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1232	8	不詳				横半 (折目下) 包袋	1	包袋表書）上之様 方御要録 康周公御要録留兄 弟方	康周公御誕生の覚	牧野康周公御要録留兄弟方	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1233	8	不詳				横半半 (折目下)	1			牧野康哉公実方並に康済公御 要録 自天保12年 迄慶応3 年7月18日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1234	8	弘化2年	1845	6	1	横半半 (折目下)	1	親類懇意名前帳	家統親類并謹慎覚	親類懇意名前帳	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1235	8	万延元年	1860	4		横半半 (折目下)	1	親類懇意名前帳	家統親類并謹慎覚	親類懇意名前帳	牧野成道	-	
牧野 八郎左衛門	1236	8	明治6年				横半半 (折目下)	1	懇意之仁覚帳		懇意之仁覚帳	牧野成行	-	
牧野 八郎左衛門	1237	8	不詳				横半半 (折目下)	1	水戸浪士武田耕雲齊 等脱走之際出陣名簿		水戸浪士武田耕雲齊等脱走の 際出陣名簿	-		
牧野 八郎左衛門	1238	8	天保5年	1834	6		横半半 (折目下)	1	康重君牧野康君江 御家老御用人共の 申上之書面写		牧野康重 牧野康周公へ家老 用人共より申上の書面写 写	牧野成澄		
牧野 八郎左衛門	1239	8	永禄9年	1566			横半半 (折目下)	1	牧野氏問書秘録	牧野氏畧録	牧野氏問書秘録	-	-	
牧野 八郎左衛門	1240	8	不詳				豎半 (折)	2		三日	日割御法号帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	1241	8	不詳				状	1		入日記	入日記 品目 茶道具	-	-	
牧野 八郎左衛門	1242	8	不詳				状	1			小諸藩主牧野公関係法名書 （日割）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1243	8	不詳		5	7	状 包紙	1	包紙表書）牧野右 馬允忠成公 御書 写		来月交替勤務の者誰か、能舞 の稽古に付打合せ状（安永7 年2月牧野八郎左衛門載成写 す）	（長岡）牧野 右馬允忠成	（小諸）牧 野内膳（康 成）	
牧野 八郎左衛門	1244	8	不詳				状	2			京都御所並に江戸御丸炎火の 記録	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1245	8	不詳				状	1		覚	牧野八郎左衛門家法名書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1246	8	不詳				状	1		御城代之家	城代家老の家 覚書 自元禄 15年10月 迄天明8年2月	-	-	
牧野 八郎左衛門	1247	8	文久4年	1864	2		状	1		御請状之事 山浦村	奉公請状雛形	山浦村 誰	牧野八郎左 衛門 取次家	
牧野 八郎左衛門	1248	8	不詳		1	12	状	1			改名に当り御思召し伺い状	牧野軍治	牧野庄左衛 門	
牧野 八郎左衛門	1249	8	不詳				状 包紙	1			酒酔のときは近習に対して家 来の悪口を言わない様にとの 願書下書	兩名（牧野軍 兵衛、牧野八 郎左衛門載 成）	上（牧野康 隆）	
牧野 八郎左衛門	1250	8	不詳				状 包紙	6	包紙表書）殿様御 居判		殿様御居判（康成、康重、康 隆、康俣）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1251	8	不詳				状	2			公儀御法号御忌日（家康～家 是）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1252	8	不詳				状	2			殿様並家族生年月日 附 没 年月日 自天保8年 迄安政 2年	-	-	
牧野 八郎左衛門	1253	8	不詳				状	1			殿様御法名書（康成～康哉）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1254	8	不詳				状	2			年号年数書（天正～慶応）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1255	8	不詳				状	1			深川浮心寺外 牧野氏廟所	-	-	
牧野 八郎左衛門	1256	8	不詳				状 包紙	1	包紙表書）御尊号 安楽寺	御尊号	御尊号 康成 外4名	安楽寺	-	
牧野 八郎左衛門	1257	8	不詳				状	1		江戸出府数覚書	江戸出府数覚書 自文化12 年5月 迄安政7年3月	-	-	
牧野 八郎左衛門	1258	8	戌年		2	15	状	1		覚	武馬具類目録覚書	牧野八郎左衛 門	-	
牧野 八郎左衛門	1259	8	不詳				状	1		他所親類覚	他所親類覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1260	8	不詳				状	12			分限書名札 加藤寿太郎 外 11名	-	-	
牧野 八郎左衛門	1261	8	不詳				状 包紙	8	包紙表書）御城		城中御礼席並泰安寺焼香席図 面	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1262	8	不詳				状	1			長岡牧野康成公より分知以来 家老職の次第 自寛永11年5 月21日 迄寛延3年4月23日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1263	8	不詳				状 軸巻状	2	畧系図	御家御先祖	（小諸藩主牧野家）御家御先 祖書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1264	8	天正18年	1590			状	1			牧野康成大胡拝領より長岡へ 移る迄書留写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1265	8	元禄5年	1692	4	12	状	1			三之丸様本庄因幡守様へ御成 りの節牧野須磨之丞御供勤 の旨書拔	-	-	
牧野 八郎左衛門	1266	8	寛永11年	1634	5	21	状	1			分知より明暦2年迄御勤の次 第書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1267	8	不詳		2	2	状	3			牧野八郎左衛門家先祖書写	三河八幡郷 神 主 寺部摂津守	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1268	8	不詳				状	1			三根山 牧野藩系譜（部分） （忠列、忠知）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1269	8	不詳				切紙	1			牧野康周室実母法号書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1270	8	不詳				状	1			長岡 牧野藩系譜（部分） （忠周、忠敬、忠利）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1271	8	元文3年	1738			状	1			（笠間）牧野越中守貞通御子 様方名前書	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1272	8	不詳				状	2			(笠間) 牧野成貞家略譜	-	-	
牧野 八郎左衛門	1273	8	不詳				状	1			(笠間) 牧野貞長家族書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1274	8	不詳				状	1			(三根山) 牧野半右衛門(忠知) 兄弟書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1275	8	不詳		4	24	状	1			牧野駿河守家老稲垣太郎左衛門持参口上書の覚写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1276	8	(享保7年)	1722			状	1			(小諸) 牧野周防守(康重) 公死去忌懸り覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1277	8	不詳				状	1			(嶺岡) 牧野半右衛門忠知兄弟書覚	-	-	
牧野 八郎左衛門	1278	8	寛延3年	1746			状	1			(笠間) 牧野越中守(貞長) 舍弟名前書写 1285参照	-	-	
牧野 八郎左衛門	1279	8	不詳				状	1			牧野康満公兄弟名前書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1280	8	不詳				状	1			牧野康重公子女名前書(康徳、染、紅)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1281	8	延享元年	1744	2	6	状	1			(長岡) 牧野兵部少輔(忠周) 子女名前書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1282	8	宝暦4年	1754			状	1			(笠間) 牧野越中守(貞長) 家族名前書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1283	8	不詳				状	1			小諸藩主 牧野公幼名並に奥方俗名名前書(康成～康哉)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1284	8	不詳		9	22	状	1			宿継添状下書	(小諸) 武太夫	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1285	8	不詳		5	16	状	2			(笠間牧野) 越中守(貞長) 舍弟方名前書届け状	種村定右衛門	牧野庄左衛門	
牧野 八郎左衛門	1286	8	不詳				状	1			(越後嶺山) 牧野伊予守(忠貴、初め忠英) 家族書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1287	8	不詳				豎半半(折)	2	康成公 康道公 御代覚書	康成公 康道公 御代覚書	牧野康成公 牧野康道公 御代覚書 自元和3年 迄元禄16年8月3日 (1287～1295一括)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1288	8	不詳				豎半半(折)	1	康重公	康重公御代覚書	牧野康重公御代覚書 自延宝5年9月22日 迄享保7年11月28日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1289	8	不詳				豎半半(折)	1	康周公	康周公御代覚書	牧野康周公御代覚書 自宝永3年8月17日 迄宝暦8年正月25日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1290	8	不詳				豎半半(折)	1	康満公	康満公御代覚書	牧野康満公御代覚書 自享保17年10月12日 迄享和元年7月17日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1291	8	不詳				豎半半(折)	1	康陸公	康陸公御代覚書	牧野康陸公御代覚書 自宝暦3年12月23日 迄寛政6年11月16日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1292	8	不詳				豎半半(折)	1	康俣公 康長公 康明公 康命公		牧野康俣 牧野康長 牧野康明 牧野康命 御代覚書 自安永2年3月16日 迄天保7年11月4日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1293	8	不詳				豎半半(折)	1		御家御略系	小諸藩主牧野家略系譜(康成～康哉)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1294	8	不詳				豎半半(折)	1		信諸國	諸事覚書	牧野成澄	-	
牧野 八郎左衛門	1295	8	享保8年	1723	12		豎半半(折)	1	書	殿様花押 覚	諸事覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1296	8	弘化3年	1846			豎半半(折)	1	弘化三年改 腰物帳 牧成澄	腰物覚	腰物帳	牧野成澄	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1297	8	不詳				横長半半 (折目下)	1	御行状	御行状	御行状一覧控	-	-	
牧野 八郎左衛門	1298	8	不詳				状	1		御行列之外□口秘し	関口外の者の尽忠に対し饒別として小諸藩より五百両贈り酒肴を馳走した処翌21日返礼として明珍宗助作の兜を献上された覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1299	8	不詳				状	1		直成 傳之助 傳左衛門 八郎左衛門 直成軒	牧野（八郎左衛門）直成履歴書 自寛永6年 迄宝永4年4月2日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1300	8	不詳				状	2		牧野	牧野八郎左衛門家先祖書 自慶長5年 迄明暦2年6月24日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1301	8	不詳				状	1		藩政廳	（小諸）藩政庁編成表（第一次改革か）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1302	8	不詳				状	1			浅草幡隨院石碑並位牌書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1303	8	不詳				状 包紙	1	包紙表書）要用書付		將軍退職の説がある旨の報告状	高栗儀人	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1304	8	明治6年	1873	10		状	2			去る明治元年冬不慮災難の砌長々厄介になった礼として先祖伝来の小刀と和歌色紙進呈の挨拶状下書	（牧野成行）	（小山又四郎か）	
牧野 八郎左衛門	1305	8	（明治4年）	1871	6	24	状	1			同姓重次姉を妻としたい願書	牧野莊次郎	辯達掛御中	
牧野 八郎左衛門	1306	8	不詳				状	1		清和源氏	家康公より源姓を賜りたる由緒書（明治9年10月10日旧舞鶴藩主牧野弼成公家令 牧野年二より一覽写す）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1307	8	不詳				状	2		徳川家康二而四天王ト号面々	徳川家康にて四天王と号られた面々	-	-	
牧野 八郎左衛門	1308	8	不詳		10	7	状	1			上様（秀吉）の御成りを悦ぶ書状写。（註 辞典には幸村は左衛門佐である）	真田左衛門尉（幸村）	片桐市正（且元）	
牧野 八郎左衛門	1309	8	不詳				状	1			書（八字）	鼎軒	-	
牧野 八郎左衛門	1310	8	享保7年	1722	12	29	状	1			康周家替りの節吟味方外諸役の者共へ骨折役料として米米御金等下さる控書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1311	8	不詳				状	1			康周公部屋●心並清心 外扶持直り高覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1312	8	不詳				状	1			留守居役倉地小左衛門外10名石高並に役料覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1313	8	不詳				状	1			分限帳足輕中間粉金人別共締高覚	-	-	
牧野 八郎左衛門	1314	8	延享元年	1744			状	1			足輕中間粉金共締高覚 改	-	-	
牧野 八郎左衛門	1315	8	元文5年	1740	6		状	142			分限帳名札 改	-	-	
牧野 八郎左衛門	1316	8	宝永元年	1704			蛇腹折	1			分限帳 主牧野成澄 改	-	-	
牧野 八郎左衛門	1317	8	（延享元年）	1744			状	1	分限帳 改	御家老	分限帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	1318	8	不詳				状	1	端裏書）牧野系圖		牧野八郎左衛門家系図	-	-	
牧野 八郎左衛門	1319	8	不詳				状	1	端裏書）参州宝飯郡牛久保御在城之時吏		牧野八郎左衛門先祖参州宝飯郡牛窪在城	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1320	8	不詳				状	1			牧野八郎左衛門家系譜	-	-	
牧野 八郎左衛門	1321	8	永禄5年				状	1	端裏書) 感状		先祖感状写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1322	8	宝永3年2月				状	1			稲垣家先祖書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1323	8	元禄16年	1703	11		状	1	端裏書) 牧野氏御本末		牧野氏本末覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1324	8	不詳				状	1	端裏書) 系圖本末		牧野氏系図本末覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1325	8	不詳				状	1			牧野家 係類書 自正徳元年5月 迄享和3年7月	-	-	
牧野 八郎左衛門	1326	9	不詳				状	1			牧野家系譜	-	-	
牧野 八郎左衛門	1327	9	不詳				状	1			牧野家系譜	-	-	
牧野 八郎左衛門	1328	9	不詳				状	1			牧野八郎左衛門家先祖事績書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1329	9	不詳				状	1	端裏書) 雑記		徳川幕府事績雑記 自天文11年 迄宝永4年	-	-	
牧野 八郎左衛門	1330	9	不詳				状	1	端裏書) 牧野庄左衛門成季要録		牧野庄左衛門成季要録 自元禄7年正月24日 迄宝暦元年12月29日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1331	9	不詳				状	1			日割法名書 (牧野氏)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1332	9	不詳		2	20	状	1			真木要人本家へ呼ばれ種々尋ねられ、又口上書、請書等詳細に差出し備前守様にも逢い、旧悪思召され、ヶ様の事。此様のこと、逐一仰述べられ罪状決して遁れられない程巨細に話された旨の報告書	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1333	9	(慶応元年)	1865	11	12	状	1			藩内動向主として加藤六郎兵衛、牧野隼之進真木要人等の觀察報告状	(太田) 宇忠太	(牧野) 十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1334	9	(慶応2年)	1866	1	5	状 封筒	1	封筒表書) 極密書		浪子一件に付残賦追求にて茂田井宿止宿等憶し、一砲も放ずは公辺よりの趣意を重ねず、一入六郎兵衛如何にも不忠至極等本家筋へ連れてても内実不明に付奸謀の次第悉く糺明、奸物掃除致したい報告状 (附札は八郎左衛門)	(牧野) 十郎兵衛	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1335	9	(慶応2年)	1866	4	29	状 封筒	1			隼之進、六郎兵衛御咎め仰付けられの節真木要人本家へ同いの次第申達状 (註 大平山浪士屯集の風聞あり、類焼の次第 (慶応2年4月11日宇田川町上屋敷類焼))	牧野十郎兵衛	父上 (牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1336	9	(慶応2年) 3月11日	1866	3	11	状 封筒	3			君上 大難一件申上げのため本家備前守様対面真木要人お伴、先方稲垣権八列席にて加藤六郎兵衛の罪科悉く符合し、一日も捨置き難く伏罪の場を以て所置致すべき様との次第誠に夢の如き有難き旨報告状 (附 六郎兵衛外2名服罪董計の見込)	牧野十郎兵衛	父上 (牧野八郎左衛門)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1337	9	不詳		4	15	状 包紙	1			牧野君軍事総裁となり軍備改革、軍装の変更に付精勵して居るので激励状	太田宇忠太	真木要人 牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1338	9	(元治元年)	1864	5	8	状	1			(孫蔵ざん言の直後故) 精忠の限りを尽し御奉公致し居ること。幕府攘夷の覚悟か銅鉄の容物鉄砲に鑄立てのこと。小竹貞助新徴組参集のこと。冷氣霜降、薄氷にて凶作間違いない事、報告状	(太田) 宇忠太	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1339	9	(慶応元年)	1865	12	5	状 封筒	3	封筒表書) 極密書		各所より探索の浪士一件 外 極密書	(太田宇忠太) 外	(牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1340	9	(慶応元年)	1865	11	25	状	1			加藤六郎兵衛追落しに付いての秘策打合状	(牧野) 十郎兵衛	又上 (牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1341	9	不詳		10	21	状	1			袴並に中折紙値段のこと。土蔵の建てる場所差図依頼。私退役願差出一条。仲間給金渡しのこと。二月配符迄の間のやりくり等相談書	(牧野) 十郎兵衛	父上 (牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1342	9	不詳				状	1			牧野須磨之丞実名字花押 成行、希正	-	-	
牧野 八郎左衛門	1343	9	(嘉永3年)	1850	2	15	状	1			異国船渡来の節取計い方に付公儀より触れ達し写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1344	9	不詳				状	1			越後と板より移植の松が立派に育った事を牧野氏の隆盛にたとへる文言 (漢文)	-	-	
牧野 八郎左衛門	1345	9	享保7年	1722	11	16	状	2			牧野康重公御辞世	-	-	
牧野 八郎左衛門	1346	9	不詳				状 包紙	1	包紙表書) 御先祖様法号書付		高野山平等院より遣された先祖法号書付	-	-	
牧野 八郎左衛門	1347	9	不詳		11	6	状	1			越後と板長明寺は牧野八郎左衛門先祖の墓所のある寺である書付写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1348	9	(天保14年)	1843	4	8	状	1			幅随院へ納める位牌の作料並に開眼料打合せ状 (1348～1350一括)	岡部条右衛門	大手様 (牧野八郎左衛門)	
牧野 八郎左衛門	1349	9	天保14年	1843			状	1			江戸浅草幅随院にある石碑法名書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1350	9	(天保14年)	1843	5	27	状	1			位牌納堂添料請取証	幅随院帳場	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1351	9	(慶応元年)	1865	8	29	状	1			本堂再建寄附金五両五ヶ年賦承知状 (1351～1358一括)	幅随院内 繁鯛?	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1352	9	慶応元年	1865	12	16	状	1			本堂再建寄附金上納に付惣合口上書	(牧野十郎兵衛)	幅随院 善敬	
牧野 八郎左衛門	1353	9	明治3年	1870	5	7	状	1			本堂再建寄附金受納覚	幅随院 謙賀	牧野莊次郎	
牧野 八郎左衛門	1354	9	慶応元年	1865	12	16	状 包紙	1	包紙表書) 覚		本堂再建のため先祖菩提金寄附に付年回向並に石碑、位牌守護の覚書	幅随院42世彩誉上人代役者 謙有 外一名	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1355	9	(慶応元年)	1865	12	29	状	1		覚	本堂再建寄附金請書証	幅随院謙有 外一名	牧野十郎兵衛	
牧野 八郎左衛門	1356	9	(慶応4年)	1868	1	13	状	1			寄附金受取証	幅随院帳場	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1357	9	(慶応2年)	1866	12	16	状 包紙	1		覚	本堂再建寄附金受納覚	幅随院謙有	牧野八郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1358	9	不詳				豎半半 (折)	1	覚	右衛門養子一卷	牧野平四郎名跡として山本金 右衛門舎弟伝右衛門を養子願 書一卷 外覚 自享保8年10 月29日 迄元文3年2月5日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1359	9	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年始状	(牧野) 遠江 康哉	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1360	9	不詳				状 封筒	4			損益覚書 附 銀行取引用語 の符牒か	-	-	
牧野 八郎左衛門	1361	9	(明治23 年)	1890	6	23	状 封筒	2	封筒表書) 要用親 展		康強公よりの預り金に付打合 せ状	亀沢町 角田勝 威	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1362	9	明治24年	1891	2	25	状	1	封筒表書) 親展		送金案内状	小諸町 小林石 三郎	順天堂病院 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1363	9	不詳		6	3	状	1			業務連絡状 (資金繰りに付)	小諸本店 小林 (石三郎)	依田仙右衛 門	
牧野 八郎左衛門	1364	9	不詳		7	12	状	1			賞与金割見込指令仰ぎ度く申 上状	小林 (石三 郎)	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1365	9	(明治23 年)	1890	6	3	状 封筒	1			協和村依田亀吉外3件貸金整 理に付打合せ状	小諸町 高橋綱 紀	本石町伏見 屋 牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1366	9	不詳				状	3			定期予金外現在高調 自明治 21年2月 迄明治24年2月	小諸銀行	-	要検討
牧野 八郎左衛門	1367	9	明治24年	1891	2	27	状	1			定期予金外現在高調	小諸銀行上田 出張所	-	要検討
牧野 八郎左衛門	1368	9	(明治)				状	1		愛知名産 漬物種類一 覧表	愛知名産 漬物種類一覧広告	名古屋市 本舗 山田才吉	-	
牧野 八郎左衛門	1369	9	不詳		6	25	状 封筒	1			上田にて加養の見舞状	碓氷第72区 増永長三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1370	9	明治				状	1			父(成行) 危篤の節の電報控	牛込区肴町 牧 野剛	-	
牧野 八郎左衛門	1371	9	明治19年	1886	7	2	状 封筒	3			計算書違算に付訂正分送達案 内状	上田町 吉田代 言事務所	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1372	9	明治24年	1891	9	25	状 封筒	2	封筒表書) 要用		後見人証明に付区役所にて証 明取付送付案内状並に借入金 有恕歎願状	亀沢町 佐野常 直	小諸町 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1373	9	明治25年	1892	7	17	官製葉書	1			暑中見舞状	上州碓氷鐵道 増永辰三郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1374	9	明治25年	1892	11	21	状 封筒	3	封筒表書) 親展		横古園外郭絵図面遅延の詫び 並びに報告状 信濃毎日新聞 4148号11月7,8日切抜記事	小諸町 太田正 營	東京 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1375	9	明治25年	1892	12	27	状 封筒	1			問合せの来訪日時返答状	東京鍛冶町 小 笠原久吉	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1376	9	明治25年	1892	12	27	状 封筒	1			借入金返済期日到来に付打合 せ状	小諸町 小諸銀 行	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1377	9	明治25年	1892	7	15	状	1			病状伺い並びに書面及び書状 小林氏へ渡した旨の通知状 (1377~1380一括)	志賀村 神津国 助	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1378	9	(明治25 年)	1892	7	15	状	1			入院見舞状	志賀村 ちせ (国助妻 成行 妹)	順天堂 兄上 (牧野成 行)	
牧野 八郎左衛門	1379	9	明治25年	1892	7	15	状	1			看病の劳い状	志賀村 ちせ (国助妻 成行 妹)	姉上(牧野 成行妻ひ さ)	
牧野 八郎左衛門	1380	9	(明治25 年)	1892	7	16	状	1			入院の病状伺い状	小諸 (はは(成 行母おいさ)	牧野成行 おひさ	
牧野 八郎左衛門	1381	9	明治25年	1892	2	12	状	2			公告、仮納金並代言費請求状	神田鍛冶町 小 笠原法律事務 所	本石町伏見 屋 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1382	9	(明治25 年)	1892	2	27	状	1			委任状送付依頼状	高橋綱紀	牧野欽一郎	
牧野 八郎左衛門	1383	9	明治25年	1892	3	16	状	1		記	領収証	牧野家扶 佐野 常直	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1384	9	明治25年	1892	12	19	状 封筒	2			小諸銀行よりの書状転送状	東京御徒町 太 田道一	順天堂 牧野 成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1385	9	(明治25 年)	1892	6	21	状 封筒	1			病体健快ならば面談致したい 伺い状 (1385～1386一括)	志賀村 (神 津) 三郎	上田町鷹匠 町 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1386	9	(明治25 年)	1892	6	17	状	1			病中養生専一に願ひ状	志賀村 ちせ	兄上 (牧野 成行)	
牧野 八郎左衛門	1387	9	明治25年	1892	7	21	状	1			病氣見舞に行きたいが、行け ば悪いし、行かなければ気の 毒であるが、如何伺い状	(志賀) (神 津) ちせ	順天堂 姉上 (牧野ひ さ)	
牧野 八郎左衛門	1388	9	明治25年	1892	8	8	状 封筒	2	封筒表書) 至急用 扱		小笠原代言人へ委任状送付依 頼状	小諸銀行	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1389	9	明治25年	1892	12	16	状 封筒	2			何者か新聞へ投書にて信用上 困るので密々調査依頼状 (1389～1390一括)	上田町小諸銀 行 小林石三郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1390	9	明治25年	1892	12	17	状	1			過日来申上げの出来事 (新聞 投書一件) に付相談打合せ状	此花 (大井利 助)	柳花 (牧野 成行)	
牧野 八郎左衛門	1391	9	明治25年	1892	12	27	状 封筒	1			彼の件 (新聞投書一件) に付 密々小笠原氏への内談の上株 価操作などに付打合せ状	小諸町 小林石 三郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1392	9	明治25年	1892	8	18	状 封筒	2			共報社訴訟事件についての諸 費用 精算戻請求依頼状	東京麹町 丸山 名政	須坂村 永井 恭太	
牧野 八郎左衛門	1393	9	(明治25 年)	1892	9	2	状	1			布施貯金一件に対する代言料 並びに御後室様利子に付差図 伺い状	牧野欽一郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1394	9	明治25年	1892	11	3	状 封筒	1	封筒表書) 大至急 親展		山謙の件に付依内氏意見書送 付に付見込至急依頼状 (1394～1395一括)	小諸銀行 大塚 宗助	順天堂 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1395	9	明治25年	1892	11	3	状	1			山謙訴訟事件に対する意見書	依田 (仙右衛 門)	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1396	9	明治25年	1892	5	17	状 封筒	1			病氣見舞状	秋田市 松井吉 二郎	小諸町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1397	9	明治25年	1892	7	6	横半半 (折目下)	1	道中覚	廿五年七月六日横川 ヨリ支払方	出京道中覚書 (横川より病院 迄)	満喜野	-	
牧野 八郎左衛門	1398	9	(明治25 年)	1892	7	10	状	1		証	受取証	順天堂	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1399	9	不詳				切紙	1			岩田義知住所書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1400	9	明治26年	1893	3	19	状 封筒	1			三女貞代病死の様子通知状	志賀 神津国助	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1401	9	明治26年	1893	3	19	状	1			さだ代不幸通知状 (神津ちせ 国助三女)	志賀ちせ (神 津ちせ)	兄上 (牧野 成行)	
牧野 八郎左衛門	1402	9	明治26年	1893	2	28	状 封筒	1	封筒表書) 親展内 事		御預けの純金抵当品所持致し 度いので取計い依頼状	上田 吉田三郎	牛込区肴町 高橋吉六方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1403	9	明治26年	1893	2	28	状 封筒	1			共報社債務取調書廻送通知状	小諸銀行 大塚 宗助	牛込区肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1404	9	明治26年	1893	3	7	状 封筒	1			令聞死去悔状	丸山名政	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1405	9	(明治25 年)	1892	2	28	状 封筒	1			薬差上げ案内状	高比良	牧野 (成 行)	
牧野 八郎左衛門	1406	9	明治26年	1893	3	1	状 封筒	1			参上の都合伺い状	京橋 大竹喜助 方 伝田寅太郎	牛込区肴町 高橋吉六方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1407	9	明治26年	1893	3	8	状 封筒	1			令聞死去悔状	上田町 柳原鐵 太郎	牛込区肴町 高橋吉六方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1408	9	明治26年	1893	3	8	状 封筒	1	封筒表書) 親展		姉上病死悔状	小諸にて 神津 国助	牛込区肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1409	9	明治26年	1893	3	6	状 封筒	1			姉上病死悔状	杏雲堂にて 牧 野利兵衛	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1410	9	明治26年	1893	3	9	状 封筒	2			令聞病死悔状	須坂町 永井定 道	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1411	9	明治25年	1892	1	21	状 封筒	1	封筒表書) 親展		1月10日便りにて退院の御報 を祝い金銭出入の通知状	上田町 小諸銀 行 小林石三郎	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1412	9	明治26年	1893	3	9	状 封筒	1	封筒表書) 御悔状		妻君死去悔状	小諸町 小林石 三郎	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1413	9	明治26年	1893	1	2	官製葉書	1			年始状	東京 前川太郎 兵衛方 牧野剛	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1414	9	明治26年	1893	1	1	官製葉書	1			年始状	上田町 代言人 村上浩	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1415	9	明治26年	1893	1	1	官製葉書	1			-	戸倉町 坂井正 太郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1416	9	明治26年	1893	3	6	官製葉書	1			明日伺ふ通知状	麹町 小土肥政	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1417	9	明治26年	1893	3	5	官製葉書	1			明日第一列車にて帰郷の通知 状	京橋区 大竹虎 助方 伝田寅太 郎	牛込肴町 高 橋喜助方 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	1418	9	明治26年	1893	1	1	官製葉書	1			年始状	上田町 小諸銀 行出張所	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1419	9	明治26年	1893	1	11	官製葉書	1			1月9日退院祝状	下谷区御徒町 太田道一	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1420	9	明治26年	1893	1	14	官製葉書	1			移転通知状	上田原町 笹川 商店小林慶治	牛込肴町 牧 野成行	
牧野 八郎左衛門	1421	9	明治26年	1893	1	16	官製葉書	1			朔日定式総会に於て旧役員重 任の旨通知状	小諸町 小諸銀 行	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1422	9	明治26年	1893	1	31	官製葉書	1			時候伺い状	麹町区丸山名 政訴訟事務所 永井恭太	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1423	9	明治26年	1893	1	17	官製葉書	1			昨日馳走になった礼状	堀留 前川本店 より (牧野) 剛	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1424	9	明治26年	1893	2	4	官製葉書	1			三時頃迄在宿の旨返答状	神田鍛冶町 小 笠原久吉	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1425	9	明治26年	1893	2	10	官製葉書	1			寅太郎氏上京に付一日遅れに て上京する旨の通知状	小諸町 牧野欽 一郎	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1426	9	明治26年	1893	2	17	官製葉書	1			令聞病気見舞状	下谷区御徒町 太田道一	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1427	9	明治26年	1893	2	20	官製葉書	1			近火見舞の礼状	下谷区御徒町 太田道一	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1428	9	明治26年	1893	2	27	官製葉書	1			仲散家出行衛不明に付立寄つ たら通知依頼状	小諸町耳取町 小土肥信近	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1429	9	明治26年	1893	3	4	官製葉書	1			伺い度いので都合聞合せ状	依田	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1430	9	明治26年	1893	3	8	官製葉書	1			神津国助三女さだよ死去通知 状	志賀村 神津慎 吉	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1431	9	明治26年	1893	3	9	官製葉書	1			訪問挨拶状	浅草 岩田美知	牛込肴町 高 橋方 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1432	9	明治26年	1893	3	13	官製葉書	1			欽一郎君上洛されたら御出で 下さる様通知状	下谷区御徒町 太田道一	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1433	9	明治26年	1893	3	8	状 封筒	1			令聞死去悔状	赤坂区新町 石 塚重平	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1434	9	明治25年	1892	12	27	状 封筒	1			利金計算書	小諸銀行	小笠原久吉	
牧野 八郎左衛門	1435	9	不詳		6	16	状 封筒	2			牧野成行統録写送達状	小諸町 角田勝 威	上田町 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1436	9	明治25年12 月26日	1892	12	26	状 封筒	1			総会維持のため鳥居氏千葉の 株悉皆買取の筈等通知状	此花（大井利 助） 晴村（牧 野欽一郎）	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1437	9	（明治25 年）	1892	12	27	状 封筒	1			訴訟事件打合せ状	宮本町 小笠原 久吉	順天堂 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1438	9	不詳		6	28	状 封筒	1			病氣見舞状	秋田 松井吉二 郎	上田 牧野成 行	
牧野 八郎左衛門	1439	9	不詳		8	8	状 封筒	1			実歴起事第五編借用依頼状	麹町区飯田町 丸山名政	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1440	9	（明治26 年）	1893	3	10	状 封筒	1			妻君死去悔み並に病氣見舞状	上田 北川修平	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1441	9	不詳			25	状	1			交渉中の手続打合せ状	小笠原久吉	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1442	9	（明治25 年）9月8日	1892	9	8	状 封筒	1			事務連絡並に小笠原先生訴訟 用にし信州へ出向に付通知状	小笠原法律事 務所	順天堂 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1443	9	明治26年	1893	2	5	日本政府電 信送達紙	8			電報送達文 自明治26年2月 5日 迄明治26年3月21日	-	-	
牧野 八郎左衛門	1444	9	不詳		1	29	状 封筒	2			時務打合せ状	小網町 小野屋 方 松井吉二郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1445	9	明治25年	1892	12	19	状 封筒	1			進行中の裁判の様子手続き打 合せ状	此花（大井利 助） 晴村（牧 野欽一郎）	順天堂 牧野 成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1446	9	明治25年	1892	12	25	状 封筒	1			山本（清明）に対する一件に 付意見申上げ状	小諸町 牧野欽 一郎	順天堂 牧野 成行	
牧野 八郎左衛門	1447	9	明治25年	1892	12	21	状 封筒	1			鳥居大將取集めの材料は誰に も見せずに火中した旨の報知 状	此花（大井利 助） 晴村（牧 野欽一郎）	順天堂 柳花 （牧野成 行）	
牧野 八郎左衛門	1448	9	不詳				状 封筒	1			共報社借入金返済に付勘弁依 頼状	東京亀沢町 佐 野常直	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1449	9	明治26年	1893	3	10	状 封筒	2			成行妻死去悔み並に成行見舞 状	上田町 鈴木兼 吉方 木村たよ	牛込区岩戸 町 永楽屋方 岩松はな	
牧野 八郎左衛門	1450	9	明治26年	1893	2	23	状 封筒	1			成行妻病状報告書（長野今井 院長並に北村医師立会診療の 結集）	小諸町 牧野欽 一郎 牧野成 功	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1451	9	明治26年	1893	2	23	状 封筒	1			成行手許にある共社書類に付 連絡状	小諸 牧野欽一 郎	牛込肴町 高 橋喜四郎方 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1452	9	不詳				状	5			小諸銀行貸付金利息計算書 自明治19年3月19日 迄明治 23年6月30日	-	-	要検討
牧野 八郎左衛門	1453	9	不詳		3	4	状 封筒	1			時候 外 無沙汰詫状	かね	お千代	
牧野 八郎左衛門	1454	9	（明治25 年）	1892	12	29	状 封筒	1			岩村田へ出張の処行違いあり て軽井沢へ行き鳥居君と掛合 の次第報告状	軽井沢 小林 石三郎油屋に て	順天堂新室 牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1455	9	明治25年	1892	10	21	切紙	2			内国通運送金添付書	小諸町 牧野新 八	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1456	9	不詳		1	8	状 包紙	1			年始状（1456～1476一括）	ちよ	旦那様（牧 野成行）	
牧野 八郎左衛門	1457	9	不詳		7	15	状	1			返信 旁 病氣全快祈り状	ちよ	旦那様（牧 野成行）	
牧野 八郎左衛門	1458	9	不詳		7	23	状	1			母が上京して世話になった礼 と頂戴した手紙の礼状	ちよ	旦那様（牧 野成行）	
牧野 八郎左衛門	1459	9	不詳		8	10	状	1			病中見舞状	ちよ	旦那様（牧 野成行）	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1460	9	不詳		8	23	状	1			はつぽにて少しは楽になられたか伺い状	千代	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1461	9	不詳		4	29	状	1			当地雨にて汽車道損じ郵便新聞滞り居る旨の報知状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1462	9	不詳		9	14	状	1			背骨が曲る様な話ですが、入院前からのこと故心配せずに早く全快退院を願う見舞状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1463	9	不詳		9	19	状	1			はつぽの療治かかっているか伺い状	千代	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1464	9	不詳		10	16	状	1			病中へ諸事連絡状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1465	9	不詳		10	30	状	1			東京より母が帰り貴方様の御様子よろしいとのことでしたのでおかちゃん（鎌）を搦いて妙ちゃんさんと近所へ配りましたことの通知状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1466	9	不詳		11	17	状	1			病状お知らせ願い状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1467	9	不詳				状	1			少しでも病気が宜教いようになつたら少しも早く退院なされる様な見舞状（今日で入院三週間目になる由）	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1468	9	不詳				状	1			（牧野家で）たままつりをして紅白のおかちゃんを配った旨の報知状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1469	9	不詳				状	1			はつぽ（腫物につける薬）にてうみをとり少しは楽になられた由、又此の度芸者も十九日に鑑札を上げ芸名を百代としたことの報告書	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1470	9	不詳				状	1			便所へも行ける程良くなったことを慶ぶ見舞状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1471	9	不詳				状	1			暑中見舞状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1472	9	不詳				状	1			病気に負けない様はげまし状	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1473	9	不詳				状	1			くわしく知らせる様との事ですが、書置きもないので発狂と言はれても仕方がないことですが、その内世間の話をよく聞いてお知らせする旨の返答書	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1474	9	不詳				状	1			別所の観音さんにてごまをたき病氣平癒を祈りたる報告書	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1475	9	不詳				状	1			腫物が出来たように聞きましたが無事と大切に願う見舞状（今日で入院60日になる由）	ちよ	旦那様（牧野成行）	
牧野 八郎左衛門	1476	9	不詳				状	1			今は此地へ着いた旨の報告状	春川	中じま	
牧野 八郎左衛門	1477	9	不詳		11	5	状	1			裁判所所出張場所として町長の見込にて貴旧宅跡地と決定したので見込価格仰越されたい依頼状（1477～1487一括）	小林（石三郎）	牧野成行	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1478	9	不詳		11	6	状	1			彼の本人日上京した旨報知並に此頃差上げの愚書返送依頼状	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1479	9	不詳		11	8	状	1			旧宅地の件に付打合せ状	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1480	9	不詳		11	18	状	1			旧宅跡売渡値段打合せ状 午前10時	小林石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1481	9	不詳		11	18	状	1			旧宅跡地売渡しに付打合せの処更に追記申上げ状 午後5時	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1482	9	不詳		11	25	状	1			旧宅の実坪調査並に価格に付更に打合せ状	(小林) 石三郎	牧野(成行)	
牧野 八郎左衛門	1483	9	不詳				状	1			鹿島裏土地坪書図面	-	-	
牧野 八郎左衛門	1484	9	不詳		12	9	状	1			貴君に代り旧宅跡地450円にて売渡し手打ちをした旨の報告書	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1485	9	不詳		12	15	状	1			旧宅跡地小作人へ桑株引抜き料として一株に付一錢都合25、6円支払はれ度い願ひ状	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1486	9	不詳		12	18	状	1			桑株の件一株一錢宛に致し惣差引金15円74錢8厘にて小作人衆へ渡し済方となった旨報告状	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1487	9	不詳		12	28	状	1			旧宅跡地売上代金の始末並に馬場町土地売却外に付打合せ状	(小林) 石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1488	9	明治42年	1909	1	11	状	3			四株以上株主参集貴君に当行の重任を切望する事に一決の旨報知状	依田仙右衛門 小林石三郎 大塚宗助	(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1489	9	明治24年	1909	1	12	状	1			昨日株主総会の様子並に銀行業務に関する依田大塚両氏の話の内容報知状	牧野欽一郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1490	9	不詳		1	15	状	1			株主総会の次第報告状	此花(大井利助)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1491	9	不詳		1	16	状	1			有為社分配当金許甚へ割渡したる旨通知状	晴村(牧野欽一郎)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1492	9	不詳		1	17	状	2			株主総会の概況報告状	此花(小林利助) 晴村(牧野欽一郎)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1493	9	不詳		1	22	状	1			惣会の後辞職願差出した処貴君帰国迄預りとなっている故至急達って話し度い事がある通知状	小林石三郎	牧野成行	
牧野 八郎左衛門	1494	9	不詳		1	23	状	1			共報社関係取調べに付打合せ状	晴村(牧野欽一郎)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1495	9	不詳		9	9	状	1			業務連絡状	此花(小林利助)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1496	9	不詳		10	23	状	1			塩川一件に付打合せ状	(牧野) 欽一郎	牧野成行	要検討
牧野 八郎左衛門	1497	9	不詳		10	28	状	1			業務連絡並に上田佐々木氏辞職一件報告状(附 裁判所設置に関する件)	望嶽	花長王(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1498	9	不詳		10	28	状	3			商法施行を前にして銀行業務の徳策に付相談状(註 前部一枚欠損)	上田出張所 此花(小林利助)	柳花(牧野成行)	
牧野 八郎左衛門	1499	9	不詳		11	5	状	1			相談のため鳩眼子上京の筈の処急病にて見合せとなりたる旨通知状	此花(小林利助)	柳花(牧野成行)	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1500	9	不詳		12	5	状	1			上京せよとの御来示なれど今 月は見合はせて来春参り度い 返答状	此花（小林利 助）	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	1501	9	不詳		12	17	状	1			永い東京生活より帰郷挨拶状	上田にて（牧 野）欽一郎	柳花（牧野 成行）	
牧野 八郎左衛門	1502	9	不詳				状	1			（小諸銀行）損益勘定書上覧	-	-	
牧野 八郎左衛門	1503	9	不詳				状	1			成功 実名並花押	（太田）宇忠 太	（牧野）須 磨之丞	
牧野 八郎左衛門	1504	9	不詳				状 包紙	4			牧野代々藩主実名並に判形写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1505	9	不詳				状 包紙	1			牧野八郎左衛門家代々実名並 判形写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1506	9	寛延元年		10		状 包紙	3	包紙表書）牧野舎 人実名并書判 浅 草梅園院考		（浅草梅園院）実名並書判	法印慈 賛	牧野舎人載 成	
牧野 八郎左衛門	1507	9	安永6年	1777	10		状 包紙	2	包紙表書）五実名 並判形		成寿 実名並判形	百仙閣 竺雲	牧野須磨之 丞成寿	
牧野 八郎左衛門	1508	9	文化9年	1812	3	20	横長半 （折目下）	2		記	成澄 実名並判形	金亀山宝寿院 龍肝	牧野彦弥	
牧野 八郎左衛門	1509	9	不詳				横長半 （折目下）	1綴 10			（よし不幸）買物領収証	-	-	
牧野 八郎左衛門	1510	9	（明治19 年）	1886	6		横長半 （折目下）	1			與志不快見舞受（1510～ 1518一括）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1511	9	不詳				横長半 （折目下）	1		御悔帳	（よし不幸）悔受	-	-	
牧野 八郎左衛門	1512	9	不詳				横長半 （折目下）	1		埜帳	（よし不幸）野帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	1513	9	不詳				横長半 （折目下）	1		切餅控	（よし不幸）切餅控	-	-	
牧野 八郎左衛門	1514	9	不詳				横長半 （折目下）	1			（よし不幸）買物支払帳	-	-	
牧野 八郎左衛門	1515	9	不詳				横長半半 （折目下）	1	買物帳 紙数拾枚	記	（よし不幸）買物帳	牧野成行	-	
牧野 八郎左衛門	1516	9	不詳				横長半半 （折目下）	1	買物帳 紙数拾枚	記	（よし不幸）買物帳	牧野成行	-	
牧野 八郎左衛門	1517	9	不詳				状 封筒	1			電報送達紙	宮都宮警察署	小諸分署	
牧野 八郎左衛門	1518	9	不詳				状	17		記	（牧野成道20年祭）買物領 収証 一孔綴	-	-	
牧野 八郎左衛門	1519	9	不詳				状	1			牧野成道20年祭短歌一首 神垣はいとどふりけりはたと せのむかしかたらん今日のつ とひに（1519～1523一括）	-	-	
牧野 八郎左衛門	1520	9	明治20年	1887	10	8	横長半半 （折目下）	1	御買物記	記	（牧野成道20年祭）買物帳	馬場裏 牧野	-	
牧野 八郎左衛門	1521	9	明治20年	1887	11	吉	横長半半 （折目下）	1	現金兌換通	記	（牧野成道20年祭）買物帳	馬場裏 牧野	大和屋 岩蔵	
牧野 八郎左衛門	1522	9	不詳				横長半 （折目下）	1			（牧野成道20年祭）20年祭 献立	-	-	
牧野 八郎左衛門	1523	10	不詳				状 包紙	1	包紙表書）御嘉書		年甫祝詞	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 村井 平兵衛	
牧野 八郎左衛門	1524	10	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書）牧野八 郎左衛門殿 村井 平兵衛殿 遠江		年甫祝詞	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 村井 平兵衛	
牧野 八郎左衛門	1525	10	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書）牧野八 郎左衛門殿 牧野 勝兵衛殿 周防		年甫祝詞	周防康階	牧野八郎左 衛門 牧野 勝兵衛	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1526	10	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 年頭之 御書并為御取替		年甫祝詞	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 村井 平兵衛	
牧野 八郎左衛門	1527	10	不詳		1	1	状 包紙	1	包紙表書) 御嘉書		年甫祝詞	遠江康哉	牧野八郎左 衛門 牧野 主鈴	
牧野 八郎左衛門	1528	10	不詳		1	14	状	1			里衛(康満御部屋か) 相部屋 に付合せ状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1529	10	不詳		1	15	状 包紙	1			里瀬相部屋に付みのが立腹の 様子に付申出でたら宜しく話 して貰いたい依頼状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1530	10	不詳		3	11	状 包紙	1			拝借金の内多少によらず自分 手元へ渡されたい頼み状 尚々書に須磨之丞今頃は江戸 見物のことと思うとあり(写 書か)	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1531	10	不詳		3	21	状	1			此の間の内別紙の件は数も余 程になるので少しも早く片付 けられ度い進め状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1532	10	(安永2年)	1773	3	16	状 包紙	1			呉服屋残金等支払多く難渋に 付無尽等にて二、三百金頼み 状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1533	10	不詳		4	6	状 包紙	1			内入用金調達依頼状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1534	10	不詳		4	13	状 包紙	1			手元入用金に付頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1535	10	不詳		4	24	状 包紙	2			内用金至急渡されたい頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1536	10	不詳		4	26	状 包紙	1			返済すべき金子五両余調達頼 み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1537	10	不詳		4	26	状 包紙	1			借用先六角越前へ返すべき金 子明日迄に頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1538	10	不詳		5	3	状 包紙	1			支払金内訳説明書	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1539	10	不詳		5	6	状 包紙	1			納戸金繰越し渡されたい頼み 状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1540	10	不詳		5	14	状 包紙	1			太田二兵衛方により馬があっ て見せ度い由であるが其之下 見内談の上極め度い通知状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1541	10	不詳		6	25	状 包紙	1			里衛病気の節の薬札調達依頼 状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1542	10	不詳		7	8	状 包紙	2			手元入用金(召仕共への臨時 手当金を含む)に付説明並に 頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1543	10	不詳		7	11	状 包紙	2			借入金(奥の通帳の分共) 済 し方に付頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1544	10	不詳		7	14	状 包紙	1			昨日払済の勘定洩れとなった 呉服物の代金支払依頼状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1545	10	不詳		7	14	状 包紙	1			(真木) 権左衛門、(山中) 軍太夫商人よりの借入金確か に返済したか問合せ状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1546	10	不詳		8	13	状 包紙	1			召仕召抱へ頼み状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1547	10	不詳		8	19	状 包紙	1			側仕召抱えに付依頼状	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	
牧野 八郎左衛門	1548	10	不詳		9	1	状 包紙	1			明後3日奥向他行の予定に付 人配り差支えないか尋ね状	遠州(牧野康 満)	用人共	
牧野 八郎左衛門	1549	10	不詳		11	7	状 包紙	1			越後長岡へ出立との事自分の 手紙明晩迄に案文認め置く返 答書	遠州(牧野康 満)	牧野八郎左 衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1550	10	不詳		11	22	状 包紙	1			牧野頼母（長岡牧野家家老） 方倉沢又左衛門（頼母組の番頭）へ殺生の野鷲一羽宛遣す 故手配指図状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1551	10	不詳		11	24	状 包紙	1			時候挨拶状	根（恨か）翠	園青（牧野八郎左衛門か）	
牧野 八郎左衛門	1552	10	不詳		11	24	状 包紙	1			金子借用依頼状	遠州（牧野康満）	園青（牧野八郎左衛門か）	
牧野 八郎左衛門	1553	10	不詳		11	27	状 包紙	1			請書の趣承知の旨通知状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1554	10	（宝暦12年）	1762	12	25	状 包紙	1			秀弥（康満四男）の箱揃えの 祝儀に付頼み状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門 石黒 武兵衛	
牧野 八郎左衛門	1555	10	不詳		6	18	状 包紙	1			口入金借入懇請手配報告状 写 附 殿様承知の旨の附紙共	一列	上（牧野藩主）	
牧野 八郎左衛門	1556	10	不詳		2	4	状 包紙	1			牧野軍兵衛並に河合宇右衛門 退役願書写 附 牧野軍兵衛 申附河合宇右衛門差留の附紙	一列	上（牧野康満）	
牧野 八郎左衛門	1557	10	不詳				状	1			五畿七道 日本国別色絵図	牧野八郎左衛門成季	-	
牧野 八郎左衛門	1558	10	不詳				状	1			塩時の図	牧野八郎左衛門成季	-	
牧野 八郎左衛門	1559	10	不詳		8	12	状	2			当年は厄年に付月見は（真木） 権左衛門宛にて祝い度い 打合せ状 附 側仕一人召抱 へ度い頼み状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1560	10	（安永2年）	1773	3	6	状 包紙	1			召抱（伊佐）に暇を遣したら 処月経が滞り二、三ヶ月になる ので再勤申付け度い頼み状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1561	10	不詳		3	26	状 包紙	1			此の間申出での件請になる様 頼み状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1562	10	不詳		12	23	状 包紙	1			納戸金五両渡され度い頼み状	遠州（牧野康満）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1563	10	未年		9		状 包紙	1			（直書写）俵約達し書写	-	-	
牧野 八郎左衛門	1564	10	（安永6年）	1777	5	19	状	1			吉田藤五左衛門養子嘉進病身に 付宛行差上再応願書写 附 願の通り申付けられたる附紙	一列	-	
牧野 八郎左衛門	1565	10	不詳		5	5	状 包紙	2			内用の大望成就致したい頼み 状	萃紅（牧野康満）	花柳（牧野八郎左衛門か百茎の親成季か）	
牧野 八郎左衛門	1566	10	不詳		(5)	11	状	2			内用一件に付き相談頼み状 （上田さうどうとは宝暦11 年12月の騒動のことか）	萃紅（牧野康満）	花柳（牧野八郎左衛門か）	
牧野 八郎左衛門	1567	10	（享保6年）	1777	4	9	状	1			病身に付役儀赦免隠居願状写	牧野八郎左衛門	真木要人	
牧野 八郎左衛門	1568	10	（享保6年）	1777	5	14	状	1			役儀赦免隠居再願書下書	牧野八郎左衛門	真木要人	
牧野 八郎左衛門	1569	10	（元治2年）	1865	3		状 包紙	1	包紙表書）覚		幡隨院本堂再建に付寄附依頼 状	幡隨院役者 謙 有 外一名	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1570	10	（明和9年）	1772	5	8	状	1			参勤近習御供人数に付窺書写	一列	上（牧野康満）	
牧野 八郎左衛門	1571	10	（明和9年）	1772	5	9	状 包紙	1			参勤供方窺に対する申付書	遠州（牧野康満）	一列	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1572	10	(寛延3年)	1750	4	20	状	1			稲垣源太左衛門跡家老職として其方に内存に付御請滞りなき様念のため通知状	真木権左衛門	牧野庄左衛門	
牧野 八郎左衛門	1573	10	(寛延3年)	1750	4	20	状	1			稲垣源太左衛門230石用人へ、稲垣伝之助分知100石中小姓右仰せ渡されるに付通知状	(真木) 権左衛門	(牧野) 庄左衛門	
牧野 八郎左衛門	1574	10	不詳		4	12	状 包紙	1			手元入用金才覚難しい旨の受書下書	牧野八郎左衛門	上(牧野康満か)	
牧野 八郎左衛門	1575	10	不詳		7	2	状	1			側仕おりゑ出府させるについての取計い方打合せ請け状	牧野八郎左衛門	上(牧野康満か)	
牧野 八郎左衛門	1576	10	(寛永7年)	1630	3	19	状	1			佐々木伊三郎御暇申渡し覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1577	10	(宝永7年)	1630			状	1			不勝手に付簡略申渡覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1578	10	(宝永7年)	1630			状	2			江戸表より伺い事の簡条下書	-	-	
牧野 八郎左衛門	1579	10	不詳		12		状	1			俟約仰せ渡されの簡条	-	-	
牧野 八郎左衛門	1580	10	(宝永7年)	1630	4	7	状	1			暮し向俟約に付伺い書	鳥居勘兵衛 外2名	加藤六郎兵衛 外3名	
牧野 八郎左衛門	1581	10	不詳				状	1			草案(勝手向の見積りか) 下見依頼状	(加藤六郎兵衛)	(牧野) 八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1582	10	不詳		7	28	状 包紙	1			奥の者達の引越並に中段の普請に付き指図状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1583	10	不詳		3	21	状	1			明日奥他行の節里衛(側室)も供致したいと言っているので面倒起らない様取計い頼み状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1584	10	不詳		7	14	状 包紙	1			里衛が成就寺へ燈籠見物の節本町太田喜一郎方へ立寄りたいたのこと故評議頼み状	遠州(牧野康満)	一列	
牧野 八郎左衛門	1585	10	不詳		3	21	状 包紙	1			奥他行の節里衛の供断られたが別に差支へ無いものと思はれる故明白なる理由聞き度い旨の請書催促状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1586	10	不詳				状 包紙	1			善光寺参詣に付召仕相士頼み申付け書	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1587	10	不詳				状 包紙	1			御役の返礼黄金並に文筒金(?) 渡すべき覚書	(遠州牧野康満)	牧野八郎左衛門 石黒武兵衛	
牧野 八郎左衛門	1588	10	不詳		12	22	状 包紙	1			御役に付金納の口上覚書	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門 石黒武兵衛	
牧野 八郎左衛門	1589	10	不詳		12	25	状 包紙	1			御役に付き納った金子は別段に付渡され度い通知状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1590	10	未年		1		状 包紙	1			御役に付納められた金子の取扱に付評議の上取極むべき指図書	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門 石黒武兵衛	
牧野 八郎左衛門	1591	10	不詳		4	5	状	1			平野当伯年寄尋ね方知らせ状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1592	10	不詳		4	8	状	1			秀弥(康満三男) 初節句の飾物指図覚書	(遠州牧野康満)	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1593	10	不詳		4	16	状 包紙	1			(秀弥)の初節句の飾り紙でなくせめて木綿に致し度い故納戸金の渡し方早く申出でに従い取極められたい指図状	遠州(牧野康満)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1594	10	(天明6年)	1786	5	1	状 包紙	1			小諸より持参の名産届け状	内膳(牧野康陞)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1595	10	不詳		8		状 包紙	1			金子借用方取計い頼み状 附露井へ宜教くとあり	露恵(景か) 内膳(牧野康陞)	園芝(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1596	10	不詳		8	15	状 包紙	1			当年は都雀丈の世話になる故宜教く頼み状	露景内膳(牧野)	白室(牧野)八郎左衛門 露井(子)	
牧野 八郎左衛門	1597	10	(寛政2年)	1790	9	5	状 包紙	1			江戸雑用金並に琴(康満六女)縁談に付面談致し度い打合せ状	内膳(牧野康陞)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1598	10	不詳		2	21	状 包紙	1			頼みの件内密に取計い依頼状	内膳(牧野康陞)	牧野八郎左衛門 牧野勝兵衛	
牧野 八郎左衛門	1599	10	(天明7年)	1787	11	11	状 包紙	1			遠州様合力増しの件、弥尾様(康周五女、先達で離縁)、弥吉、お房等住居の件等に付評議頼み状	内膳(牧野)	(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1600	10	不詳		5	12	状 包紙	1			先日他行同道の礼並に明日来亭の誘い状	内膳(牧野)	(牧野)八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1601	10	(慶応3年)	1867	7	10	状 包紙	1			7月4日城中にて殿様暇年ではあるが將軍上洛中故御暇下されざる旨申渡されたことの通知状(統徳川実紀五巻215頁)	牧野信之助	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1602	10	不詳		4	18	状 包紙	1			用状並に秘書返済礼状	牧野一夢	牧野信之助(舟水)	
牧野 八郎左衛門	1603	10	不詳		11	7	状 包紙	1			時候見舞進上挨拶状	牧野信之助(舟水)	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1604	10	不詳		9	19	状	1			明日の速乗に馬一匹不足に付借用依頼状	(牧野信之助)	-	
牧野 八郎左衛門	1605	10	不詳		2	28	状 封筒	1			到来品に対する礼状	牧野信之助(舟水)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1606	10	不詳		3	28	状 封筒	1			持病見舞状	牧野信之助	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1607	10	(慶応2年)	1866	8	15	状 封筒	1			任務到来の祝として鹿品進上挨拶状(牧野一夢慶応2年8月13日家政向諸事相談役仰付かる)	牧野信之助(舟水)	牧野一夢	
牧野 八郎左衛門	1608	10	(慶応2年)	1866	4	23	状 包紙	1			牧野隼之進、加藤六郎兵衛(江戸より)帰国到着の様子旧浪(臘)の一件についてであらうが、貴殿には迷惑にならないければ良いが時情伺い状	牧野信之助(三●堂)	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1609	10	不詳				状 包紙	1			土用中近況挨拶の返書	西丸下(水野)留代	神田橋(水野)清	
牧野 八郎左衛門	1610	10	不詳				状	1			呉服屋買物に付相談の書状(別紙とあるが見当らない)	神田橋(水野)清	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1611	10	不詳		(9)	12	状 包紙	2			9月15日の御祭りの打合せ状(代筆の本書は難読にて意味不明)	神田橋(水野)清	牧野八郎左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門	1612	10	不詳				状	1			柳糸並びにとゆ（桐油か）の品々に付き扱い方通知状（No.1609の（留代よりお清宛）手紙を同封してある）	神田橋（水野清）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1613	10	不詳		12	23	状	1			年末手元不如意に付金子借用依頼状	神田橋（水野清）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1614	10	不詳				状	1			御出での節申上げたい事がある旨の通知状	神田橋（水野清）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1615	10	不詳				状	1			此の間大勢にて参り馳走旁々世話になった礼状	神田橋（水野清）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1616	10	不詳				状	2			子供達の病氣元束に診せているが元意にも診て貰いたい依頼状	神田橋（水野清）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1617	10	不詳				状 包紙	1			近況伺い旁愚痴ごぼし状 註美代 牧野康満三女、安永8年高家大嶋義珍に嫁し天明7年離縁となる。寛政11年剃髪	（大島）美代	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1618	10	不詳				状 包紙	1			借用金並に利息の事に付いて打合せ頼み入れ状	美代	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1619	10	不詳		4		状 包紙	1			家来の哥月が不始末を仕出し、その勅命に付依頼状	とてふ（都蝶）	園芝（牧野八郎左衛門）	
牧野 八郎左衛門	1620	10	不詳				状 包紙	1			弟内蔵（牧野康周四男）の養子縁組の下話してであろうか	龍之口	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1621	10	不詳				状	1			申越しのちぢみの反物に付商人よりの様子通知状	龍之口	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1622	10	不詳				状 包紙	1			明日権左衛門殿御誘いなされて来訪されたい招待状	龍之口	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1623	10	不詳				状	1			神田橋（お清）は奥向の苦労をして居る様子であるが、お里衛は奥向のことはあまり話していないので、神田橋へ出向く折はその辺、心得のため報知状	頼（牧野康重五女）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1624	10	不詳				状 包紙	1			召仕に致したいので然るべきもの一人世話依頼状	八千（牧野康濟室 笠間牧野貞通女）	牧野八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門	1625	10	不詳				状	1			金子借用依頼状か	花酔	萃紅（牧野康満）	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 1	11	不詳	不詳			状	1			金額と品目 通貨単位「円」			
牧野 八郎左衛門 追加	追加 2	11	不詳	不詳	3	22	状	2		御改札	改札文		-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 3	11	明治22年	1889	1		花押型	5		領収証	領収書		小諸町戸長 西岡信義殿	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 4	11	不詳	不詳			包紙	1		凶歳御取締又年限明御割弛書類	御料地人口帰申申渡渡他二関スル要書 文書ナシ		-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 5	11	寛政6年	1794	10	19	状	1			松浦越前守差出文 服装規約	-	坪井忠左衛門	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 追加	追加 6	11	不詳	不詳			罫紙 状	1		来ル御指揮之レナク 飽キ向書ヲ以テ本縣 出張歎願スルハ如何	第六〜七條 共有金の事、懐 古園に出勢日当の事	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 7	11	不詳	不詳			折紙	1		月日と金額		-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 8	11	不詳	不詳			包紙 包袋	2	包紙表書) 膏圓丹 散丸	和漢薬	信州小諸荒町柳田五兵衛の和 漢薬	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 9	11	不詳	不詳			包紙 状	3		博物館・・・	練習書き 状1枚白紙	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 10	11	不詳	不詳			折紙	1			品名と金額	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 11	11	不詳	不詳			包紙 状	3	長野県令檜崎寛直 殿		中身なし	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 12	11	不詳	不詳			包袋 切紙	2			風邪気味で悪寒がするという メモ書き	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 13	11	不詳	不詳			包紙 状	3		春風解氷 他	漢詩文	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 14	11	不詳	不詳			罫紙 状	1		意見問題	字陵神曲輪并二字城裏拝借地 開鑿ノ件 他第二〜五條	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 15	11	不詳	不詳			状	1			金額	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 16	11	不詳	不詳			折紙	1			白紙	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 17	11	不詳	不詳			罫紙 断	1			金額	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 18	11	不詳	不詳			罫紙	1			数字の羅列と引き算筆算	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 19	11	不詳	不詳			罫紙	1			手書罫線	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 20	11	明治	不詳			状	1		金券	金券用紙未記入	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 21	11	不詳	不詳			切紙	1		家系	メモ書きのみ	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 22	11	不詳	不詳	12		状	1		一家督証文似二而も 切金に相来候儀御座 候代右之趣御問合申 上口上	趣意口上書き	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 23	11	不詳	不詳			切紙	1				-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 24	11	不詳	不詳			横半半 (折目下)	1			白紙	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 25	11	不詳23年	不詳	10	29	封筒	1	東京本郷区湯島 牧野成行様 親展		小諸町小林吉三郎より順天堂 病院に入院している牧野成行 宛の書簡封筒	-	牧野成行様	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 26	11	不詳25年	不詳	5	16	封筒	3	信州北佐久郡小諸 町牧野成行様御内 へ		東京麹町区亀井恭太拝	-	牧野成行様	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 27	11	不詳	不詳			シール	2 PL			シール未記入	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 28	11	明治23年	1890	11	3	包紙	1		不要（手書）	包紙として使用していたと考 えられる新聞紙	-	-	
牧野 八郎左衛門 追加	追加 29	11	不詳	不詳			状	1		記	御手当金拾円也	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 1	12	天保11年	1841	11	26	横長半半 (折目下)	1	江戸 掌中冊	十一月廿六日 御帳 注忠	牧野成澄江戸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 2	12	天保13年	1843	正月	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元日天条目書	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 3	12	万延元年	1860	8月	1	横長半半 (折目下)	1	日記	八月朔日天条	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 4	12	天保10年	1840	7月	晦日	横長半半 (折目下)	1	日記 御着城	七月晦日	牧野成澄殿様御着城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 5	12	天保9年	1839	7月	21	横長半半 (折目下)	1	日記	七月二十一日曇	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 6	12	天保11年	1841	6月	1	横長半半 (折目下)	1	日記	六月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 7	12	天保10年	1840	正月	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日曇	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 8	12	天保12年	1842	7月	24	横長半半 (折目下)	1	日記	七月二十四日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 9	12	慶應3年	1867	5月	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成道日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 10	12	慶應元年	1865	7月	1	横長半半 (折目下)	1	東都 日記	七月朔日	牧野成道東都日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 11	12	慶應2年	1866	5月	1	横長半半 (折目下)	1	東都 日記	5月朔日	牧野成道東都日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 12	12	慶應2年	1866	正月	1	横長半半 (折目下)	1	東都 日記	正月元旦	牧野成道東都日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 13	12	明治2年	1869	11	7	横長半半 (折目下)	1	雑記	十一月七日	雑記帳	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 14	12	明治2年	1869			横長半半 (折目下)	1	日々雑記 壺	六月廿三日	七十一翁成澄雑記帳	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 15	12	元治2年	1865	9		横長半半 (折目下)	1	日々雑記 式	九月三日	七十一翁成澄雑記帳	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 16	12	元治元年	1864	7		横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 17	12	元治2年	1865	4		横長半半 (折目下)	1	無尽加入覚	覚	無尽金の覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 18	12	元治2年	1865	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成道日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 19	12	元治2年	1865	4	17	横長半半 (折目下)	1	東都日記	四月十七日暖風	牧野成道日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 20	12	天保9年	1838	7	24	横長半半 (折目下)	1	東都日記	七月廿四日曇	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 21	12	文久元年	1861	11		横長半半 (折目下)	1	御道國出張心得	行列禁令	御道國出張規約心得の牧野成 澄の扣	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 22	12	嘉永6年	1853	5	18	横長半半 (折目下)	1	日記	五月十八日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 23	12	文久3年	1863	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 24	12	慶應2年	1866	5	15	横長半半 (折目下)	1	掌中冊	五月十五日風二而		-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 25	13	天保8年	1837	10		横長半 (折目下)	1	江戸 御取締一件 帳 御用部屋	御直意	取締御用部屋日記 ほか	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 26	13	万延2年	1861	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄江戸日記	-	牧野成行様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 27	13	天保2年	1831	7	1	横長半半 (折目下)	1	江戸日記	七月朔日	牧野成澄江戸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 28	13	天保14年	1843	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄江戸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 29	13	天保7年	1836	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野□□(欠損)江戸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 30	13	天保5年	1834	1	1	横長半半 (折目下)	1	御在城日記	正月元旦	牧野成澄江戸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 31	13	天保8年	1837	8	1	横長半半 (折目下)	1	日記	八月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 32	13	天保2年	1831	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 33	13	天保6年	1835	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 34	13	寛政10年	1798	1		横長半半 (折目下)	1	御本丸廻状見出	一 上之部	牧野成壽廻状記録	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 35	13	天保9年	1838	1		横長半半 (折目下) 断	1	日記		牧野成澄日記 表紙のみ	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 36	13	不詳		1	1	横長半半 (折目下)	1		正月元旦	牧野成澄日記 表紙欠	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 37	13	文政12年	1829	1		横長半半 (折目下) 断	1	日記		牧野成澄日記 表紙のみ	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 38	13	文政10年	1827	7	7	横長半半 (折目下)	1	東都日記	七月七日御帳	牧野成澄東都日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 39	13	文政10年	1827	1	11	横長半半 (折目下)	1	日記	正月十一日 曇	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 40	13	文政12年	1829	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日 曇	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 41	13	文政13年	1830	1		横長半半 (折目下)	1	御滞府 日記		牧野成澄日記 表紙のみ	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 42	13	文政11年	1828	6	8	横長半半 (折目下)	14	日記	六月八日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 43	13	文政13年	1830	12	16	横長半半 (折目下)	15	十二月十六日天保 改元 日記	十月十五日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 44	14	寛政元年	1789	3	25	豎半 (折)	16	日記 二 御留守	三月廿后日	牧野八郎座衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 45	14	寛政元年	1789	6	1	豎半 (折)	1	日記 三	六月朔日	牧野八郎座衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 46	14	寛政元年	1789	9	9	豎半 (折)	1	日記 四 御立味	九月九日	牧野八郎座衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 47	14	寛政2年	1790	6	1	豎半 (折)	1	日記 式 御留守	六月朔日	牧野八郎座衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 48	14	寛政2年	1790	11	23	豎半 (折)	1	日記 三 御留守	十一月廿三日	牧野八郎座衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 49	14	寛政3年	1791	1	1	豎半 (折)	1	日記 一 御留守	正月元旦	牧野八郎座衛門御留守日記	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 50	14	寛政3年	1791	5	1	豎半 (折)	1	日記 二 御留守	五月朔日	牧野八郎座衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 51	14	寛政3年	1791	8	6	豎半 (折)	1	日記 三 御在城	八月七日	牧野八郎座衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 52	14	寛政3年	1791	11	10	豎半 (折)	1	日記 四	十一月十日	牧野八郎座衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 53	14	寛政4年	1792	1	1	豎半 (折)	1	日記 一 御在城	正月元旦	牧野八郎座衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 54	14	寛政4年	1792	9	13	豎半 (折)	1	日記 四 御留守	九月十三日	牧野八郎座衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 55	14	天保13年	1842	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 56	14	安政4年	1857	7	3	横長半半 (折目下)	1	東都 日記	七月三日	牧野成澄東都日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 57	14	安政5年	1858	1	1	横長半半 (折目下)	1	御中目附 手日記	正月元旦	中目附牧野成道手日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 58	14	安政7年	1860	1	17	横長半半 (折目下)	1	大目付加役中日記	見出	大目付牧野成道加役中日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 59	14	嘉永3年	1850	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 60	14	嘉永2年	1849	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 61	14	嘉永3年	1850	5	21	横長半半 (折目下)	1	在府中日記	七月廿一日	牧野成澄在府中日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 62	14	嘉永3年	1850	5	17	横長半半 (折目下)	1	御道中御共日記	五月十七日	牧野成澄御道中御供日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 63	14	嘉永3年	1850	11	1	横長半半 (折目下)	1	日記	十一月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 64	14	嘉永7年	1854	9	29	横長半半 (折目下)	1	東都日記	九月廿九日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 65	14	嘉永6年	1853	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 66	14	嘉永6年	1853	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 67	14	嘉永6年	1853	11	17	横長半半 (折目下)	1	日記	十一月十七日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 68	14	嘉永7年	1854	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 69	14	元治元年	1864	8	8	横長半半 (折目下)	1	日記	八月八日	牧野成道日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 70	14	享和元年	1801	5	3	横長半半 (折目下)	1	江戸日記 二	五月三日	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 71	14	文化元年	1804	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 72	15	文化5年	1808	9	4	横長半半 (折目下)	1	掌記冊	九月四日	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 73	15	慶應4年	1866	3	15	横長半半 (折目下)	1	状況雜費覚	覚	上京時の出納覚書	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 74	15	明治10年	1935	4	18	横長半半 (折目下)	1	諸拂覚 湯治中	覚	湯治日記と出納覚書	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 75	15	享和2年	1802	8	20	横長半半 (折目下)	1	日記	八月廿日	牧野 日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 76	15	享和2年	1802	8	20	横長半半 (折目下)	1	日記	五月十一日	牧野 日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 77	15	寛政3年	1791	4		横長半半 (折目下)	1	日光御役方扣	道中附	牧野須磨光の日光道中附日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 78	15	寛政3年	1791	4		横長半半 (折目下)	1	日光手扣	日光手扣	牧野事壽の日光手記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 79	15	寛政12年	1800	12		横長半半 (折目下)	1	小諸 日記一	十二月二十一日	牧野成壽小諸日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 80	15	享和3年	1803	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野 日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 81	15	享和3年	1803	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 82	15	享和4年	1804	1		横長半半 (折目下)	1	日記 御留守	元旦	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 83	15	天明8年	1788	5	27	豎半 (折)	1	日記 三 御留守	五月廿七日	牧野八郎左衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 83	15	天明8年	1788	5	27	豎半 (折)	1	日記 四 御留守	八月十日	牧野八郎左衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 85	15	天明8年	1788	5	27	豎半 (折)	1	日記 二 御在城	三月廿日	牧野八郎左衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 86	15	天明9年	1789	1	1	豎半 (折)	1	日記 一 御留守	正月元旦	牧野八郎左衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 87	15	天明8年	1788	5	27	豎半 (折)	1	日記 五 御在城	十月十九日	牧野八郎左衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 88	15	天明5年	1785	7	6	豎半 (折)	1	日記 三 御在城	七月六日	牧野八郎左衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 89	15	天明8年	1788	1	1	豎半 (折)	1	日記 一	正月朔日	牧野八郎左衛門日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 90	15	天明4年	1784	11	7	豎半 (折)	1	日記 二	十一月七日	牧野八郎左衛門御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 91	15	天明6年	1786	10	8	豎半 (折)	1	日記 弐	十月八日	牧野八郎左衛門大坂御留守日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 92	15	寛政11年	1799	1		横長半半 (折目下)	1	御本丸廻状見出	一 上之段	牧野成壽本丸廻状の見出し	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 93	15	天明4年	1784	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記 一 御在城	正月朔日	牧野八郎座衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 94	15	天明3年	1785	11	1	横長半半 (折目下)	1	日記 三 御在城	十一月朔日	牧野八郎座衛門御在城日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-0	15	不詳				包袋	1	屋為買入		包袋のみ中身なし	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-1	15	明治18年	1885	6		横長長半 (折目下)	5		屋為買入進物買物引 積一切出	金額と名前			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-2	15	明治20年	1887	4		状	1		惣高六尺六寸拾分巻 之圖	石碑の設計図	差出人 新町 石工下嶋米吉	牧野様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-3	15	明治20年	1887			状	1		惣高七尺三寸中心直 径貳寸ノ鉄棒三寸	石碑の設計図			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-4	15	不詳				状	1		牧野八郎座衛門成道 の墓 永井違作子之 墓	墓碑の設計図			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-5	15	明治20年	1887	4	12	状	1		拾壹之圖窓高五尺九寸	先日設計図	小諸新町石工 下嶋米吉	木村様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-6	15	明治20年	1887	4	29	切紙	1		請取証	石碑の領収証	新町石工下嶋 米吉	牧野成行様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-7	15	明治20年	1887	10	31	切紙	1		請取証	石碑の領収証	新町石工下嶋 米吉	牧野様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-8	15	明治20年	1887	11	4	状	1		請取証	石碑の領収証	新町石工下嶋 米吉	牧野様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 95-9	15	不詳		11	22	切紙	1		請取証	石碑代の領収証	差出人 石工 下嶋米吉	牧野様	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 96	15	寛政4年	1792	閏2	22	豎半(折)	1	日記 二 御立時	閏二月廿二日	牧野八郎座衛門御立時日記		-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 97	15	寛政4年	1792	5	29	豎半(折)	1	日記 三 御留守	五月廿九日	牧野八郎座衛門御留守日記		-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 98	15	天保14年	1843	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 99	15	天保10年	1839	10	13	横長半半 (折目下)	1	(欠)	吉部	吉部・山部・祭部・賞部・罰 部・雅部・他所者部の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 100	15	文化4年	1807	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成壽日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 101	16	明治元年	1868	10		横長半半 (折目下)	1	東京御幸二付	御達御書付寫	明治改元に付、東京に御幸関 連下達文の写	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 102	16	文久元年	1861	7	12	横長半半 (折目下)	1	和宮様御下向一件 帳	寿明君様中山道御下 向二付	七月十日 八幡宿より御休宿 より始まり、十月三日までの 諸事扣	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 103	16	不詳	不詳	6	1	横長半半 (折目下)	1		六月朔日	日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 104	16	明治元年	1868	10		横長半半 (折目下)	1	東宮 行幸二付被 仰出御書付写	別紙	鎮守府よりの下達文	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 105	16	文久4年	1864	1		横長半半 (折目下)	1	御番頭 御足輕頭 藝事掛日記	正月元旦晴風	牧野成道御番頭日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 106	16	明治100年	1967			横長半半 (折目下)	1	日記	記	御手当金拾円也	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 107	16	不詳	不詳			横長半半 (折目下)	1	規定留并配下取扱 規定書	規定之事	規定書の扣	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 108	16	文久2年	1862	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 109	16	文久2年	1862	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-0	16	不詳	不詳			括り紐	2			No.110を括っていた	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-1	16	文久2年	1862	1	13	横長半半 (折目下)	1	御番頭頭 御足輕 頭 頭用留		御用留め日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-2	16	万延元年	1860	5	16	横長半半 (折目下)	1	御側御用人諸事扣	五月十六日	牧野成道の御側御用人諸事扣書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-3	16	安政7年	1860	1	24	横長半半 (折目下)	1	御側御用人御留守 中留	正月廿四日	牧野成道の御側御用人留守中留 め書き			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-4	16	安政5年	1858	6	21	横長半半 (折目下)	1	御養者版御役中御 刀番手日記 在府 中	六月廿一日	牧野成道の御刀番日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110-5	16	安政6年	1859	1	1	横長半半 (折目下)	1	御役中 御刀番手 日記 在府中	正月朔日	牧野成道の御刀番日記			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 110－ 6	16	安政3年	1856	6	5	横長半半 (折目下)	1	御奏者版御役中 御刀番手日記 在 府中	六月五日	牧野成道の御刀番日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 111	16	嘉永4年	1851	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成純の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 112	16	天保3年	1832	11	10	横長半半 (折目下)	1	日記	十一月十日	牧野成純の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 113	16	慶應3年	1867	9	11	横長半半 (折目下)	1	日記	九月十一日	牧野成道の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 114	16	文久3年	1863	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 115	16	不詳	不詳			横長半半 (折目下)	1	達五月写 新聞	伝聞記録	四月二日南方にて大砲声数十	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 116	16	嘉永	1851	8	1	横長半半 (折目下)	1	日記	八月朔日	牧野成純の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-0	16	不詳	不詳			括り紐	1				-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-1	16	不詳	不詳			横長半半 (折目下)	1	見聞せし事	中仙道列餞之事 他	牧野成澄伝聞録	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-2	16	寛政6年	1794			横長半半 (折目下)	1	御目付諸扣	大目付江戸之諸 他	牧野昌左衛門の目附扣帳	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-3	16	文久3年	1863	1	1	横長半半 (折目下)	1	御番頭 御足輕頭 藝時掛 日記	正月元旦	牧野成道の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-4	16	不詳	不詳			横長半半 (折目下)	1	卯歳御金積	卯歳御金子積	牧野成澄の金子積帳	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-5	16	不詳	不詳	11	14	横長半 (折目下)	1	御出陣先諸扣	十一月十四日新代官 余八郎右衛門様より	出陣先の諸事日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-6	16	宝暦10年	1760	1	1	横長半 (折目下)	1	茶往来	正月元旦	茶往来日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 117-7	16	天保11年	1840	1	1	横長半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 118	16	文久4年	1864	1	1	横長半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 119	16	文久元年	1861	7	1	横長半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄の日記 和宮様御下 向の件 各村調べ			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 120	16	天保5年	1834	7	1	横長半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 121	17	不詳	不詳			横長半半 (折目下)	1	預付覚	二月廿八日	牧野成寿の各村人への預り金 覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 122	17	宝暦3年	1753	1	1	横長半 (折目下)	1		宝暦三癸酉年	日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 0	17	不詳	不詳			括り紐	1			括り紐	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 1	17	弘化元年	1844	1	1	横長半半 (折目下)	1	弘化元年	正月元旦	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 2	17	弘化2年	1845	7	22	横長半半 (折目下)	1	江戸小諸日記	七月廿二日曇	牧野成澄の江戸小諸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 3	17	弘化3年	1846	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 4	17	弘化4年	1847	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄の日記			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 123－ 5	17	弘化5年	1848	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 0	17	不詳	不詳			括り紐	1			括り紐			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 1	17	安政3年	1856	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 2	17	安政7年	1860	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 3	17	安政7年	1860	3	1	横長半半 (折目下)	1	東都日記	三月朔日	牧野成澄の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 4	17	安政5年	1858	6	24	横長半半 (折目下)	1	東都日記	六月廿四日	牧野成澄の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 5	17	安政6年	1859	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 6	17	安政2年	1855	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 7	17	安政2年	1855	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 8	17	安政6年	1859	7	1	横長半半 (折目下)	1	日記	七月朔日	牧野成澄の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 124－ 9	17	安政5年	1858	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記	正月朔日	牧野成澄の日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 125	18	天明2年	1782	9	22	豎半 (折)	1	日記 三 御当主	九月廿二日	牧野八郎左衛門御当主日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 126	18	天明7年	1787	1	1	豎半 (折)	1	日記 壱 大坂御 留守	正月元旦	牧野八郎左衛門 大阪御留守 日記	-	-	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 127	18	天明7年	1787	7	6	豎半 (折)	1	日記 弐 大坂御 留守	七月六日	牧野八郎左衛門 大阪御留守 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 128	18	天明7年	1787	8	15	豎半 (折)	1	日記 参 大坂御 留守	八月十五日	牧野八郎左衛門 大阪御留守 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 129	18	天明2年	1782	6	1	豎半 (折)	1	日記 二 御留主	六月朔日	牧野八郎左衛門 御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 130	18	天明2年	1782	1	1	豎半 (折)	1	日記 一 御在城	正月朔日	牧野八郎左衛門 御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 131	18	天明元年	1781	7	11	豎半 (折)	1	日記 二 御在城	七月十一日	牧野八郎左衛門 御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 132	18	安永9年	1780	6	26	豎半 (折)	1	日記 二	六月廿六日	牧野八郎左衛門 1日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 133	18	天保11年	1840	9	22	横長半半 (折目下)	1		天保十一年	日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 134	18	天保8年	1837	2	2	横長半半 (折目下)	1	天保八年酉年二月 二日 ㍊ 一 七日	覚	2月2～17日の病難祈禱村々 よりの集め藁数一覧			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 135	18	明和7年	1770	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 一 小 諸御在城	正月朔日	牧野八郎左衛門 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 136	18	明和7年	1770	5	26	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 二	五月廿六日	牧野八郎左衛門 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 137	18	明和8年	1771	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 御留守	正月元旦	牧野八郎左衛門 御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 138	18	明和4年	1767	7	8	横長半半 (折目下)	1	日記頭附	七月八日	百茎 日記			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 139	18	宝暦12年	1762	1	1	横長半半 (折目下)	1	宝暦日記頭付	正月元旦	百茎 宝暦日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 140	18	宝暦12年	1762			横長半半 (折目下)	1	大己垂日記	朔日	日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 141	18	宝暦11年	1761	7	1	横長半 (折目下)	1	寶暦十一辛巳年七 月ヨリ	七月朔日	日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 142	18	宝暦10年	1760	6	13	横長半半 (折目下)	1	東都 寶暦拾 三	六月十三日	百茎の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 143	18	天明8年	1788	6	3	横長半半 (折目下)	1	江府誌覚帳	卯出覚	牧野成壽の江府誌			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 144	18	明和5年	1768	1	1	横長半半 (折目下)	1	明和五戌子日記頭 付 耆 御在城	正月朔日	百茎の御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 145	18	明和元年	1764	7	1	横長半半 (折目下)	1	明和元甲申年 小 諸日記書抜	七月朔日	小諸日記の書抜き帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 146	18	明和2年	1765	1	1	横長半半 (折目下)	1	明和二年正月日記 小諸一 御留守	正月朔日	百茎の小諸御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 147	18	明和2年	1765	6	22	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 二 小 諸御在城	六月廿二日	百茎の小諸御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 148	18	宝暦10年	1760	1	1	横長半半 (折目下)	1	寶暦十 一	正月元旦	百茎の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 149	18	宝暦8年	1758	1		横長半半 (折目下)	1	江戸 日記頭付 一	正月	江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 150	18	天明5年	1785	10	19	豎半 (折下)	1	日記 四 御在城	十月十九日	牧野八郎左衛門の御在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 151	19	天明7年	1787	11	1	豎半 (折下)	1	日記 四	十一月朔日	牧野八郎左衛門の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 152	19	天明6年	1786	7	1	豎半 (折下)	1	日記	七月朔日	牧野八郎左衛門の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 153	19	天明6年	1786	8	4	豎半 (折下)	1	日記 耆 大阪御 留守	八月四日	牧野八郎左衛門の大坂御留守 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 154	19	天明5年	1785	1	1	豎半 (折下)	1	日記一 御留守	正月朔日	牧野八郎左衛門の御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 155	19	天明5年	1785	5	25	豎半 (折下)	1	日記二 御留守	五月廿五日	牧野八郎左衛門の御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 156	19	明和9年	1772	1	1	横長半 (折目下)	1	日記	正月元旦	牧野八郎左衛門の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 157	19	明和9年	1772	5	27	横長半 (折目下)	1	明和九壬辰日記頭 付	五月廿七日	牧野八郎左衛門の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 158	19	明和9年	1772	11	1	横長半 (折目下)	1	明和九壬辰十月の 日記頭付 十一月 廿五日安永ト改元	十一月朔日	牧野八郎左衛門の日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 159	19	寛延2年	1749	1	3	横長半 (折目下)	1	寛延二己巳歳日記	正月三日	寛延二年日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 160	19	寛延3年	1750	1	21	横長半 (折目下)	1	寛延三庚午年正月 日記	正月廿一日	寛延三年正月日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 161	19	延享3年	1746	2	18	横長半 (折目下)	1	延享三年丙寅年日 記	二月十八日	正月～5月御在所 7月～極 月 御在江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 162	19	延享4年	1747	1	1	横長半 (折目下)	1	延享四丁卯年日記	正月朔日	正月～6月20日御在府 6月 21日～極月 御在所日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 163	19	元文3年	1738	1	5	横長半 (折目下)	1	公儀の御触書御同 席様の御家来迄御 扣	正月五日	御触書扣			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 164	19	延享3年	1746	9	23	横長半 (折目下)	1		延享三年内寅年九月 二十三日 若殿様御 袖二向留以て□御祝 義扣	名前と御祝儀品目			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 165	19	元文3年	1738	1	1	横長半 (折目下)	1	日記	正月元旦	正月～6月3日御留守中 6月 4日～12月御在江戸			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 166	19	天明8年	1788	10	17	横長半半 (折目下)	1	手扣 一 江戸	御側御用人	牧野成壽の手扣江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 167	19	天明9年	1789	1	1	横長半半 (折目下)	1	手扣 二 江戸	御側御用人	牧野成壽の手扣江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 168	19	寛政2年	1790	6	3	横長半半 (折目下)	1	手扣 五 江戸	御側御用人 牧野須 磨光	牧野成壽の手扣江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 169	19	寛政4年	1792	1	1	横長半半 (折目下)	1	手扣 八 江戸	御側御用人	牧野成壽の手扣江戸日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 170	19	寛政2年	1790	6	10	横長半半 (折目下)	1	江府誌覚帳	外出覚	牧野成壽の江府誌帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 171	19	寛政7年	1795	3	10	横長半半 (折目下)	1	出役先手扣	三月十日	牧野昌左衛門の出役先手扣 八幡村八幡神社境内絵図アリ			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 172	19	寛政5年	1793	1	3	横長半半 (折目下)	1	書覚附	正月三日	牧野八郎左衛門の諸覚日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 173	19	明和3年	1766	1	1	横長半半 (折目下)	1	日記 一 御在城	正月元旦	百茎の五在城日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 174	19	明和3年	1766	5	27	横長半半 (折目下)	1	日記 三 小諸御 留守	五月廿七日	百茎の小諸御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 175	19	明和3年	1766	10	1	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 三 小 諸御留守	十月朔日	百茎の小諸御留守日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 176	19	明和6年	1769	6	1	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 二 殿 様九月御在城之事	六月朔日	牧野八郎左衛門の殿様九月御 在城之事			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 177	19	宝暦11年	1761	9	1	横長半半 (折目下)	1	宝暦十一年己 日 記書拔	九月朔日	百茎の日記書拔			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 178	20	宝暦12年	1762	6	8	横長半半 (折目下)	1	日記頭付 東都	同八日	百茎の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 179	20	宝暦10年	1760	6	1	横長半半 (折目下)	1	宝暦拾庚辰年日記 二	六月朔日	百茎の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 180	20	宝暦13年	1763	7	17	横長半半 (折目下)	1	日記書拔 信陽	七月十七日	百茎の信陽書拔日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 181	20	宝暦10年	1760	12	1	横長半 (折目下)	1	宝暦拾年庚辰臘月 日記 東都	十二月朔日	百茎の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 182	20	宝暦10年	1760	11	1	横長半 (折目下)	1	宝暦拾年庚辰十一 月日記 東都	十一月朔日	百茎の東都日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 183	20	宝暦9年	1759	7	11	横長半半 (折目下)	1	宝暦九己卯閏七月 日記	閏七月十一日雨	百茎の閏七月日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 184	20	寛政元年	1789	6	29	横長半半 (折目下)	1	手扣 三 小諸	御側御用人	牧野成壽の側用人名簿と小諸 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 185	20	寛政3年	1791	1	1	横長半半 (折目下)	1	手扣 六 江戸	正月元旦	牧野成壽の側用人名簿と江戸 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 186	20	寛政2年	1790	1	1	横長半半 (折目下)	1	手扣 四 小諸	正月元旦	牧野成壽の側用人名簿と小諸 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 187	20	寛政3年	1791	6	26	横長半半 (折目下)	1	手扣 七 小諸	六月廿六日	牧野成壽の側用人名簿と小諸 日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-0	20	不詳				括り紐	1			No.188を一括する			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-1	20	不詳				包袋	1	包袋表書) 金粉御 積り帳二冊		末年の江戸御登りと御下り金 の見積帳が入っていた様子			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-2	20	安永5年	1776	10		横長半 (折目下)	1	申之十月ヨリ酉十 月迄御金積	覚	金子見積もり帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-3	20	不詳		12		横長半 (折目下)	1		十二月	金額・払い先・月日 支払い 帳簿			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-4	20	不詳				折紙	1		覚	金額と内容の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-5	20	不詳				折紙	1		御借金	借入金の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-6	20	不詳				横長半 (折目下)	1		覚	金額と支払先の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-1-7	20	不詳				横長半 (折目下)	1		覚	江戸の御積り覚書帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-2	20	不詳				横長半 (折目下)	1		御足種割引帳 三郎 左衛門与	初与え俵数と名前			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-3	20	不詳				横長半 (折目下)	1		覚	支払い金と名前の覚書帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-4	20	不詳		3		横長半 (折目下)	1		覚	下達文の写 俵約令			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-5	20	不詳				横長半 (折目下)	1		裏判惣代添覚	日当たりの金額と名前			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-6	20	明和3年	1766	3		横長半 (折目下)	1	御俵約申達書付扣	覚	俵約達書の扣			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-7	20	不詳		1		横長半 (折目下)	1	未之正月の同十月 迄金	未之正月の同十月迄 金	支払い通帳扣			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-8	20	不詳				横長半 (折目下)	1	御中間組人高	覚	人名と初俵数 33名で13両3分			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-9	20	寛延4年	1751	1		横長半 (折目下)	1	御物成ヲ以年中請 入用大圖り	覚	年物也による予算書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-10	20	寛延4年	1751	1		横長半半 (折目下)	1	御借金済口帳	借金覚	借入金台帳 金額 町名 人 名			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-11	20	安政5年	1858	11		横長半半 (折目下)	1	割引覚	割引覚	出費覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-12	20	不詳				横長半 (折目下)	1		當時御基所者惣高	130人の役人名と惣高			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-13	20	寛政年間				横長半半 (折目下)	1	寛政年間分御借口 一件帳		表紙のみ			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-14	20	不詳				横長半半 (折目下)	1		大坂	金子帳簿覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-15	20	寛延4年	1751	1		横長半 (折目下)	1	江戸小諸金沢図り	覚	初三万七百五俵の江戸・小諸 の内訳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-16	20	寛延3年	1750			横長半 (折目下)	1	江戸小諸御借金	御借金之覚	借入金の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-17	20	不詳				横長半 (折目下)	1		十二月十七日改	支払金の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-18	20	不詳				横長半 (折目下)	1	御役料御扶持方御 取上ヶ御分覚	御役料五ヶ年之内御 取上ヶ人数左の通	御役料之取上げ初数と人名			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 188-19	20	不詳				横長半 (折目下)	1		配符之内引方覚	配符俵数と名前			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	188- 20	20	不詳				横長半 (折目下)	1		江戸御借金	借入金の覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 21	20	明和3年	1766	3	17	横長半 (折目下)	1	於江戸御俵約被 仰渡諸書附写	惣士江書付達	俵約の仰せ付書写			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 22	20	不詳				横長半 (折目下)	1		御足持与	出納覚書 金額と人名			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 23	20	延享3年	1746	3	27	横長半 (折目下)	1		延享三庚年三月廿七 日御書付 覚	書付の覚書 俵約定書・出納 書・引越料など			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 24	20	寛延4年	1751	1		横長半 (折目下)	1	御物成ヲ以年中御 入用図り	定	物成三万七百五匁の入用内訳			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 25	20	天明8年	1788	11		横長半 (折目下)	1	御取メニ付被 仰 出候書付	御意書付	天明八年より五ヶ年間の俵約 申し達書			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 26	20	寛延3年	1750	7		横長半 (折目下)	1	寛延三庚午七初御 役替一斗包御納之 写	御役替之覚	役人名と役職内容			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 27	20	不詳				横長半 (折目下)	1		下目付定番割引	初俵数と引数 人名			
牧野 八郎左衛門 G類	188- 28	20	明和3年	1766	3	17	横長半 (折目下)	1	御俵約被 仰出覚	御意書	百匁による俵約令の写			
牧野 八郎左衛門 G類	189	20	不詳				縦半 (折)	1	革甲秘訣	革甲秘訣 革目利之 事	武具などの革品質についての 秘伝書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	190	20	不詳				縦半 (折)	1	握寄八陣集鮮 上	握寄八陣集鮮	中国黄帝の世に伝わる軍にお ける陣法の伝書写			
牧野 八郎左衛門 G類	191	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 二十一 戦格	兵要録卷二十一 戦 格 攻守四	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	192	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 一二 兵 談	兵要録卷之一 兵談 話上	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	193	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 三四 兵 談	兵要録卷之三 将畧 上	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	194	20	不詳				縦半 (折)	1	接戦之巻 全	秘伝接戦之巻	秘伝接戦之巻の写			
牧野 八郎左衛門 G類	195	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 二十下 戦格	兵要録卷二十	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	196	20	不詳				縦半 (折)	1	騎射秘抄	騎射秘抄序	小笠原満長(興元) 著 騎射秘抄の写			
牧野 八郎左衛門 G類	197	20	不詳				縦半 (折)	1	太唐庭之圖	太庭圖	従太唐惠遠法師傳の太唐庭之 圖の写			
牧野 八郎左衛門 G類	198	20	不詳				縦半 (折)	1	海防臆測 全	海防臆測目次 卷之 上	古賀侗庵の海防臆測の写 国土防衛論			
牧野 八郎左衛門 G類	199	20	不詳				縦半 (折)	1	百口小鳥		牧野旦馬 日本画集			
牧野 八郎左衛門 G類	200	20	不詳				縦半 (折)	1	谷仕惣根付庭敷次第	二	松の山姓梅軒洞水居士の庭敷 の義			
牧野 八郎左衛門 G類	201	20	不詳				縦半 (折)	1	四条之半数寄屋寸 法	三	牧野八郎左衛門による宗庵洞 水軒居士著の三巻写			
牧野 八郎左衛門 G類	202	20	不詳				縦半 (折)	1	数寄屋道具蔵次第	一	牧野八郎左衛門による松野山 姓梅宗軒洞水居士著の一巻写			
牧野 八郎左衛門 G類	203	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 戦格 二 十二大尾	兵要録卷二十二 戦 格 攻守五	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	204	20	不詳				縦半 (折)	1	兵要録 陳宮下一 十八	兵要録卷十八上	長沼流兵書の写			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 205	20	不詳				豎半（折）	1	操練秘訣	操練秘訣 他見警之	操練秘訣 写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 206	20	天保5年	1834			豎半（折）	1	井伊直孝公御教示 全	政房公江井伊拜部頭 直孝御物語御教語之 覚	牧野成澄による井伊直孝の御 教語覚書き			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 207	20	不詳				豎半（折）	1	兵要録九 白文 練心膳	兵要録巻四上 練心 膳 兵要録九	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 208	20	不詳				豎半（折）	1	兵要録七 懸令上	練兵三上 懸令 兵 要録七	長沼流兵書の写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 209	20	不詳				横長半半 （折目下）	1	御番所扣 半蔵口 御門	蔵置馬	御番所の扣			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 210	20	文化15年	1818	1		横長半半 （折目下）	1	年中色々覚帳	正月	覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 211	20	不詳				状	1		寸法入り図	絵図			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 212	20	不詳				状	1		絵図	絵図			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 213	20	不詳				豎半（折）	1	鐘数	鐘数目録	槍の数と槍の構え型絵図解説			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 214	20	不詳				折紙	1		席之持高之定	役職と持高一覧表			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 215	20	不詳				豎半（折）	1	日置流吉田派弓術 射方辨談	日置流吉田派 弓術 射方辨談	日置流吉田派の弓術射方の写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 216	20	不詳				豎半（折）	2	馬書	甚明一卷書	馬術の指南書 写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 217	20	嘉永7年	1854	1		豎半（折）	1	両表年中衣服留 下書		牧野成道による小諸、江戸表 の衣服・側用人・小納戸・近 習の人名一覧下書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 218	20	不詳				豎半（折）	1		隣病臆議	屠龍居士稿の写			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 219	20	不詳				豎半半 （折）	1	鐘数 天	鐘数目録	槍の数と槍の構え型絵図解説			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 220	20	不詳				折紙	1		席之持高之定	役職と持高一覧表			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 221	20	不詳				豎半半半 （折）	1	御側御用人	安政五戊午年六月廿 四日	側用人規約			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 222	20	不詳				折紙	1		九 加之蔵	御茶の作法道具絵と作法			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 223	20	天保15年	1844	5	17	豎半半半 （折）	1	御刀番御□□	御供	御刀番の記録			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 224	20	正徳3年	1713	9	吉	状	1		書簡題目		正成（花押）	神戸彦右衛 門殿	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 225	20	不詳				豎半（折）	1	武役教令 全	武役教令	武役名と内容			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 226	20	不詳				豎半（折）	1	夢想流居合	夢想流居合 勝直 成峯 賢降 口傳書	牧野氏の家臣口伝書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 227	20	不詳				豎半半半 （折）	1	□思令□注会釈	見出	身内心得			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 228	20	不詳				豎半半半 （折）	1	分限帳	江戸小諸役高割	役職名と石高			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 229	21	不詳				豎半（折）	1	武備根元	武備根元	武将武士の心得			

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 G類	G類 230	21	不詳				豎半（折）	1	軍扇注文	扇之事	軍扇についての規定と意味。 絵図面入り			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 231	21	不詳				豎半半半 （折）	1	御規定書 全	見出目録	文書作成などの規定書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 232	21	不詳				豎半（折）	1	地方凡例録 九	地方凡例録巻之九 目録 普請方之事	普請についての地方凡例			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 233	21	不詳				豎半（折）	1	地方凡例録 八	地方凡例録巻之八 目録 切支丹類族一 件之事 穢多非人引 上ケ之事	切支丹 穢多非人の扱につ いての凡例（個人名ナシ）			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 234	21	享保19年	1734			豎半（折）	1		香道瀧之録	大技流芳編集の香道の図入り 解説版木本			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 235	21	不詳				豎半（折）	1	地方凡例録 七	地方凡例録巻之七 目録 郷帳祭之事	郷帳祭 村役 庄屋名につ いて			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 236	21	不詳				豎半（折）	1	地方凡例録 三	地方凡例録巻之三 目録 町引検見之事 定免之事など	検見 定免などについて			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 237	21	寛政10年	1798	2		横長半半 （折目下）	1	大目付手扣		牧野為左衛門による大目付の 覚書			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 238	21	不詳				横長半半 （折目下）	1		御内調二付御目付江 被成御達御書付之票	御役達し票 役名・人数・氏 名			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 239	21	不詳				豎半半 （折）	1	武教全書	武教小學序	山鹿素行子著の武士の教え			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 240	21	不詳				豎半半半 （折）	1	公用拔筆 天		公用行事の内容について			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 241	21	文化13年	1815			豎半半 （折）	1	諸御番所御勤番中 御会釈拔書	半蔵御門	半蔵門の御番日記帳			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 242	21	不詳				豎半半 （折）	1	抜思令撥住分自叙 天	抜思令撥住分自序 天	日記			
牧野 八郎左衛門 G類	G類 243	21	寛文4年	1664			状	1		目録	所領分の村名と石高帳面改め 報告	永井伊賀守 小金原山城守	牧野進三郎 殿	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 244	21	不詳		9		状	1		覚	御縁女様より八郎左衛門様へ 贈られた品書	御縁女	八郎左衛門	
牧野 八郎左衛門 G類	G類 245	21	不詳				豎半半 （折）	1	諸届書請書案詞全	届書目録	届書と受書の写記録			
牧野 八郎左衛門 印類	印類 0	11	不詳	不詳			包布 ハンカチ	1			ハンカチ			
牧野 八郎左衛門 印類	印類 1	11	不詳	不詳			包袋 印判	2	牧野成行印判壹個 外判壹個	村	包袋封入り印鑑 未開封	-		
牧野 八郎左衛門 印類	印類 2	11	不詳	不詳			花押型	5			花押型 木彫	-		
牧野 八郎左衛門 印類	印類 3	11	不詳	不詳			包布 小物入れ	1			金蒔絵・螺鈿模様 小物入れ	-		
牧野 八郎左衛門 印類	印類 4	11	不詳	不詳			包紙 印鑑	2	五代八郎左衛門載 城印 六代目八郎左衛門 成壽印		五代目・六代目八郎左衛門の 印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 5	11	不詳	不詳			印鑑	1	四代目庄左衛門重 城印		四代目庄左衛門の印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 6	11	不詳	不詳			印鑑	1			印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 7	11	不詳	不詳			包紙 印鑑入れ	1	包紙表書）成行 文字細ク 裏印		印鑑入れ	-	-	

文書名	管理番号		年 代				形態	数量	文書名		内容	認人	宛名	公開
	文書No.	箱No.	和暦	西暦	月	日			表題	内題				
牧野 八郎左衛門 印類	印類 8	11	不詳	不詳			印鑑 包紙	5	包紙表書) 先代 <small>カ</small> 印判		初代・貳代目・三代目八郎左 衛門印鑑 花押型	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 9	11	不詳	不詳			印鑑 包紙	1	包紙表書) 一夢成 澄印		成澄の印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 10	11	不詳	不詳			印鑑 包紙	1	包紙表書) 八郎左 衛門成道印		八郎左衛門成道の印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 11	11	不詳	不詳			印鑑	1	平四郎種成印		平四郎種成の印鑑	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 12	11	文政10年	1827			包紙 印鑑	1				-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 13	11	不詳				金属製品	1			刀部品 <small>カ</small>	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 14	11	不詳				金属製品	2			刀部品 <small>カ</small>	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 15	11	不詳				折紙 (断)	1			金額と品名 包紙に使われていた模様だが 中身ナシ	-	-	
牧野 八郎左衛門 印類	印類 16	1	文久元年	1861			包紙 印鑑2 印鑑入れ	4	包紙表書) 外神田 和泉橋通藤堂様表 御門前 佐々木兼 廣 御印判師 廣 井清吉	文久元辛酉年十一月 十六日出来十二月朔 日改印届差出之	角印の古印鑑と改印、寛書	-	-	